

Canon

POWER
PROJECTOR

WUX5000

WUX4000

WX6000

SX6000

使用説明書 / 設置説明書



HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Link™

ご使用の前に、必ずこの使用説明書 / 設置説明書をお読みください。

特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。

またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

設置する

ネットワークに接続する

メンテナンス

付録

索引

使用
説明書

設置
説明書

付
録

JPN

本書の読みかた

キヤノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。

パワープロジェクター WUX5000 / WUX4000 / WX6000 / SX6000（以下、本機）は、高解像度コンピュータの画面や高画質デジタル映像を、高精細で大画面に投写可能な高性能プロジェクターです。

使用説明書（操作編） / 設置説明書（設置とメンテナンス編）（本書）

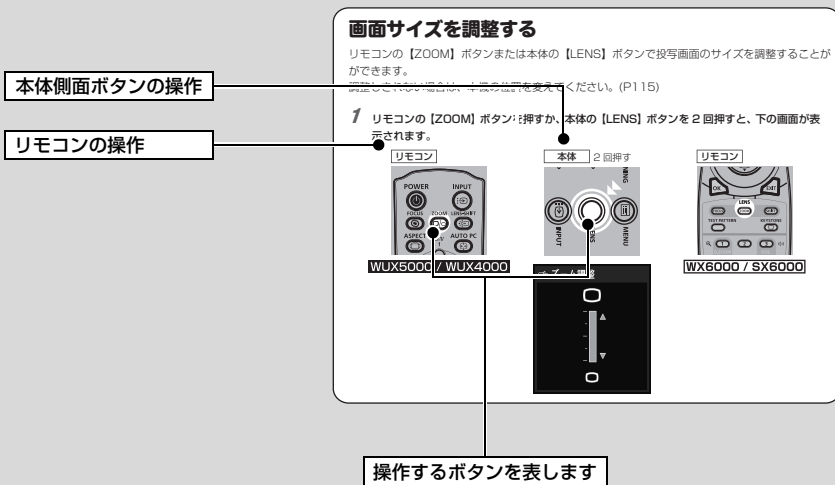
本書はパワープロジェクター WUX5000 / WUX4000 / WX6000 / SX6000 共通の使用説明書および設置説明書です。使用説明書には、本機の使いかたが説明されています。設置説明書には、本機の設置方法およびネットワーク接続方法とメンテナンスについて説明されています。本機の機能を十分に活用していただくため、お使いになる前に本書をよくお読みください。また、設置作業については必ず専門の技術者または販売店が行ってください。

ボタン操作を表す記号

本機は、付属のリモコンまたは本体側面のボタンを使って操作します。

なお、リモコンではすべての機能が操作できます。

本書では、ボタン操作の次のように表記しています。



説明の内容を表す記号

本文中マークがついた欄は、次のような内容となっています。

❗ 操作上の注意事項や制限事項が記載されています。

WUX5000 / WUX4000 WUX5000 および WUX4000 を対象とした記載です。

WX6000 / SX6000 WX6000 および SX6000 を対象とした記載です。

WUX4000 WUX4000 を対象とした記載です。

WX6000 WX6000 を対象とした記載です。

著作権についてのご注意

本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

商標について

- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac、Mac OS、および Macintosh は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- PjLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。

知りたいこと早引きガイド

本機をもっと便利に使いこなしたい時や、プレゼンテーションでスマートに見せたい時は、こちらから機能を探してください。

接続する

コンピューターを接続する (P39～P43)

AV機器を接続する (P44～P47)

投写する

電源を入れる (P48～P50)

入力信号を選ぶ (P51～P52)

画面を調整する

画面サイズやピントを調整する (P63、P64)

台形ひずみを調整する (P67)

横縦比を調整する (P55～P62)

コンピューター画面のちらつきや位置ずれを調整する (P88、P89)

色味や画質を調整する

黒板に投写する (P94)

映像に合わせてイメージモード設定から選ぶ (P100)

細かく色を調整する (P104)

ノイズを除去する (P105)

プレゼンテーションを演出する

映像を一時的に消す (P74)

映像を静止させる (P74)

音量を調節する (P75)

音声を一時的に消す (P75)

映像を拡大する (P76)

WUX5000 / WUX4000

経過時間を表示する (P77)

リモコンのチャンネルを変更する (P113)

設定をリセットする

パスワードをリセットする (P116)

ネットワーク設定の初期化 (P163)

購入時の状態に戻す (P127)

その他の機能

省電力モードを使う (P109)

電源コードの接続で電源を入れる (P110)

操作時の電子音を消す (P111)

ボタン操作を禁止する (P112)

ガイドメッセージを表示させない (P114)

パスワードを設定する (P116)

WUX4000

ランプの光量を落とす (P108)

WX6000 / SX6000

テストパターンを表示する (P126)

音声入力端子を選択する (P126)

本書の読みかた	2
知りたいこと早引きガイド	4
安全にお使いいただくために	12
安全上の注意を表す記号	12
使用上のご注意	13
設置のときのご注意	14
ランプについての安全上のご注意	16
リモコンの電池に関するご注意	17
はじめに	19
付属品の確認	20
■ リモコンへの電池の入れかた	21
リモコンの準備	22
■ リモコンで操作できる範囲	22
■ リモコンをケーブルで接続して使う場合（WX6000 / SX6000）	23
各部のなまえ	24
本体（イラストは WUX5000 です）	24
■ 前面	24
■ 背面	24
■ 底面	25
リモコン	26
■ RS-RC04	26
■ RS-RC05	28
本体操作部	30
■ LED インジケーターの表示について	31
接続端子	32
使用説明書（操作編）	35
投写する	37
接続から投写までの手順	38
接続する	39
コンピューターと接続する	39
■ RGB モニター出力端子と接続（アナログ接続）	39
■ DVI モニター出力端子と接続（デジタル接続）	42
■ HDMI ケーブルで接続（入力信号の種類 [HDMI] P51）	43
■ 音声を外部に出力する	43
AV 機器と接続する	44
■ デジタル映像出力端子と接続（デジタル接続）	44
■ アナログ映像出力端子と接続（アナログ接続）	45
■ 音声を外部に出力する	47

電源を入れる	48
■ 言語を選ぶ画面が表示されたとき	49
■ パスワード入力画面が表示されたとき	49
■ 「入力信号がありません」と表示されたとき	50
■ ノート型コンピュータの画面が表示できないとき	50
■ 画面を調整するとき	50
ノート型コンピュータの画面出力を切り換える	50
■ 外部モニター切り換え操作	50
入力信号を選ぶ (INPUT)	51
■ 入力信号の種類	51
■ 入力信号を選ぶ	52
画面を調整する	53
コンピュータの表示解像度を設定する	53
■ Windows 7 の場合	53
■ Windows Vista の場合	53
■ Windows XP の場合	53
■ Mac OS X の場合	54
オート PC	54
■ オート PC を行う	54
スクリーンアスペクトとアスペクトを選ぶ	55
■ スクリーンアスペクトを選ぶ	55
■ アスペクトを選ぶ	61
画面サイズを調整する	63
ピントを合わせる	64
画面の位置を調整する	65
■ 位置をリセットする	66
台形ひずみを調整する	67
■ 補正をリセットする	68
画質 (イメージモード) を選ぶ	69
■ イメージモードの種類	69
■ イメージモードの選びかた	70
本機の電源を切る	71
プレゼンテーションで使える便利な機能	73
プレゼンテーションで使える便利な機能	74
映像を一時的に消す	BLANK
映像を静止させる	FREEZE
音量を調節する	VOL
音声を一時的に消す	MUTE
映像を拡大する	D.ZOOM
経過時間を表示する (WUX5000 / WUX4000)	P-TIMER

メニューによる機能設定	79
メニューの使いかた	80
■ メニューの構成	80
■ メニューの基本操作	82
表示状態を設定する	85
映像の投写モードを選ぶ	85
表示の自動調整 (WX6000 / SX6000)	86
入力信号の形式を選ぶ (アナログ PC)	86
入力信号の形式を選ぶ (コンポーネント) (WUX5000 / WUX4000)	87
入力信号の形式の調整 (アナログ PC) 総ドット数	87
入力信号の形式の調整 (アナログ PC) トラッキング	88
入力信号の形式の調整 (アナログ PC) 水平位置	88
入力信号の形式の調整 (アナログ PC) 垂直位置	89
入力信号の形式の調整 (アナログ PC) 水平表示ドット数	89
入力信号の形式の調整 (アナログ PC) 垂直表示ドット数	90
HDMI 入力レベル	90
HDMI カラーフォーマット	91
HDMI オーバースキャン	91
プログレッシブ処理	92
メニューの表示位置	93
スクリーンの色補正	94
映像の反転	95
無信号時の画面	96
BLANK 時の画面	96
電源を入れたときの画面	97
スクリーンの横縦比を選ぶ	98
台形ひずみを調整する (WX6000 / SX6000)	99
イメージシフトの調整 (WX6000 / SX6000)	99
画質を調整する	100
画質を選ぶ	100
好みの画質を保存する	101
明るさの調整	102
コントラストの調整	102
シャープネスの調整	103
ガンマ補正	103
色の調整	104

アンビエントライト（環境光にあわせた調整）.....	104
ノイズリダクション.....	105
ダイナミックガンマ.....	106
記憶色補正.....	106
6 軸色調整（きめ細かい色調整）.....	107
ガンマ詳細調整.....	107
ランプの光量を落とす（WUX4000）.....	108
イメージ調整のリセット.....	108
動作を設定する	109
パワーマネージメントモードを選ぶ.....	109
POWER ボタン操作の省略.....	110
電子音の入 / 切.....	111
キーリピート（WX6000 / SX6000）.....	111
操作の禁止.....	112
本体とリモコンの チャンネルの設定.....	113
表示言語を選ぶ.....	114
ガイド画面の表示 / 非表示.....	114
入力状態の表示 / 非表示.....	115
HDMI の接続機器を選ぶ.....	115
パスワードの設定.....	116
パスワードの登録.....	117
レンズ操作の禁止（WUX5000 / WUX4000）.....	118
レンズシフトのリセット.....	119
メニューの表示時間の延長.....	120
高温注意アイコンの表示 / 非表示.....	121
ちらつきを低減する（WUX5000 / WUX4000）.....	122
ガンマリストア（WX6000 / SX6000）.....	122
ランプ交換警告表示（WX6000 / SX6000）.....	123
ランプカウンターのリセット.....	123
■ ランプカウンターの表示について.....	124
フィルター清掃警告表示（WX6000 / SX6000）.....	125
エアフィルターカウンターのリセット（WX6000 / SX6000）.....	125
テストパターンの表示（WX6000 / SX6000）.....	126
音声入力端子の選択（WX6000 / SX6000）.....	126
設置関連機能のロック（WX6000 / SX6000）.....	127

購入時の状態に戻す	127
本機の情報を確認する	129

設置説明書 (設置とメンテナンス編) 131

設置する 133

設置時のご注意 134

持ち運びのご注意 134

設置のときのご注意 134

本機を運搬、輸送するときのご注意 134

■ 天井から吊り下げてご使用になる場合 136

■ 正しい方向に設置してください 136

設置の手順 137

投写方式と設置場所を選ぶ 138

■ 天井 / リア投写について 138

■ 床置き時の投写位置の調整について 138

レンズユニットの取り付け・取り外し 139

■ レンズユニットを取り付ける 139

■ レンズユニットを取り外す 143

本機を設置する 144

■ スクリーンの正面に置く 144

■ 画面サイズと投写距離の関係 144

■ レンズシフト機能について 148

機器と接続する 150

■ 接続できる機器と接続端子 150

■ 接続端子と接続ケーブル 152

ネットワークに接続する 153

接続の準備 154

接続方法について 154

IP アドレスの設定 155

■ Windows 7 の場合 155

■ Windows Vista の場合 156

■ Windows XP の場合 157

■ Mac OS X の場合 158

■ コンピューターの IP アドレスの設定を戻すとき 158

プロジェクターでネットワークを設定する 159

ネットワーク設定変更をロックする 159

ネットワーク機能の入 / 切 160

ネットワークパスワードを設定する.....	160
ネットワークパスワードを登録する.....	161
PJLink 機能の入 / 切.....	161
DHCP 機能の入 / 切.....	162
TCP / IP の設定.....	163
ネットワーク設定の初期化.....	163
コンピューターからネットワークを設定する	164
■ ネットワーク設定画面の表示と設定.....	164
■ 工場出荷時の設定に戻すとき.....	167
■ 設定時のエラーについて.....	167
ネットワークを設定する	169
■ 基本情報の設定 [Network].....	169
■ メールを設定する [Mail].....	170
■ メール認証を設定する [Mail auth].....	171
■ テストメールを送信する [Send test mail].....	172
■ SNMP を設定する [SNMP].....	172
■ プロジェクター情報を設定する [Projector info.].....	173
■ PJLink を設定する [PJLink].....	174
コンピューターからプロジェクターを制御する	175
エラーメール	177
メンテナンス	179
本体を清掃する	180
エアフィルターを交換・清掃する	181
エアフィルターの交換.....	181
エアフィルターの清掃.....	182
ランプを交換する	183
交換用のランプについて.....	184
ランプ交換手順.....	184
付録	187
付録	189
困ったときには	190
LED インジケーターの見かた.....	190
困ったときのアドバイス.....	191
■ 電源が入らない.....	191
■ 映像が投写されない.....	191
■ 音声がでない.....	192

■ 映像が鮮明でない	193
■ 映像が正しく表示されない	193
■ 電源が切れてしまう	193
■ リモコンの操作ができない	194

アスペクトとスクリーンアスペクトの関係 195

WUX5000 / WUX4000 の場合 196

■ 16 : 10 のスクリーンいっぱいに投写するとき	196
■ 16 : 9 のスクリーンいっぱいに投写するとき	196
■ 4 : 3 のスクリーンいっぱいに投写するとき	197
■ 16 : 10 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき	197
■ 16 : 9 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき	198
■ 4 : 3 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき	198

WX6000 の場合 199

■ 16 : 10 のスクリーンいっぱいに投写するとき	199
■ 16 : 9 のスクリーンいっぱいに投写するとき	199
■ 4 : 3 のスクリーンいっぱいに投写するとき	200
■ 16 : 10 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき	200
■ 16 : 9 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき	201
■ 4 : 3 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき	201

SX6000 の場合 202

■ 4 : 3 のスクリーンいっぱいに投写するとき	202
■ 16 : 10 のスクリーンいっぱいに投写するとき	202
■ 16 : 9 のスクリーンいっぱいに投写するとき	203
■ 4 : 3 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき	203
■ 16 : 10 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき	204
■ 16 : 9 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき	204

表示できるテストパターンについて 205

対応信号 206

製品の仕様 207

■ 本体	207
■ リモコン	209
■ 各レンズユニットの仕様 (別売品)	209
■ 外観図	211
■ アナログ PC (WUX5000/WUX4000)、アナログ PC-1 (WX6000 / SX6000) / COMPONENT IN 端子	211
■ サービス用端子 (CONTROL)	212

索引 214

保証とアフターサービス 217

メニューの構成 218

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書および設置説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 分解禁止  接触禁止  水ぬれ禁止  ぬれ手禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。
 アース線を接続する  電源プラグをコンセントから抜く	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。

電波障害自主規制について

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

⚠ 警告

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- 煙が出ている。
- 変なにおいや音がする。
- 大きな音がしてランプが消えた。
- 水など液体が本機に入った。
- 金属類や異物が本機に入った。
- 本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。

⚠ 警告

電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁止



感電注意

- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。コードが破損します。
- 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。
- 電源コードを細かく曲げたり、巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は新たに電源コードを販売店から購入してください。
- 付属している電源コード以外は使わないでください。



アース線を接続する



感電注意

- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

安全にお使いいただくために

警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁止



感電注意

- 表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。
- 電源プラグやコネクタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。コードが傷つきます。
- 電源プラグやコネクタの接点部に金属類を差し込まないでください。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



ぬれ手禁止



感電注意

- めれた手で電源プラグやコネクタを抜き差ししないでください。



注意



感電注意

- 電源プラグやコネクタは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。



注意

- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。

設置のときのご注意

警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



水ぬれ禁止



感電注意

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺で使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。



接触禁止



感電注意

- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。

警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



電源プラグをコンセントから抜く



感電注意



禁止



分解禁止



禁止

- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。
- レンズユニットを取り付け・交換するときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電やけがの原因になります。
- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があり、感電ややけどの原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機（消耗品を含む）・リモコンを分解や改造をしないでください。
- 吸気口や排気口等の穴から物などを差し込まないでください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- 投写中に本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。

注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



電源プラグをコンセントから抜く



接触禁止



禁止

- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因となることがありますので手で触れたりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。また、金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



禁止



注意

- ・本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・動作中、レンズの前に物をおかないでください。火災の原因となることがあります。
- ・本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となることがあります。
- ・本機はレンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因となることがあります。
- ・レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、1 時間以上経過し、本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。
- ・長年のご使用で内部にホコリがたまると火災や故障の原因となることがあります。定期的なメンテナンスをお勧めします。費用などは販売店にご相談ください。
- ・本機を天井から吊るしている場合は、本機を床や作業台に下ろしてからレンズユニットの取り付け・交換を行ってください。部品等が落下し、けがや故障の原因になることがあります。

ランプについての安全上のご注意

⚠ 警告

ランプ交換および破損したときは以下の点にご注意ください。感電やけがの原因になります。



電源プラグをコンセントから抜く



感電注意



注意

- ・ランプ交換のときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ランプが破損した場合は本機の内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。

⚠ 注意

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。



禁止

- ランプを取り出す際は、本機の電源を切った後、1 時間以上経過し、ランプと本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。



注意

- ランプ交換の指示（LAMP インジケーターが点滅（P31））が出た場合、ランプが破損する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプが破損した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。万一、ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。
- 使用済み水銀ランプを捨てるときは蛍光灯と同じ取り扱いで各自治体の条例に従って廃棄してください。

安全にお使いいただくために

リモコンの電池に関するご注意

⚠ 警告

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。



禁止

- 電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。



注意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは2本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。
- +と-の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

正しくお使いいただくために

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。



注意

- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因になることがあります。
 - レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。レンズユニットの故障の原因となります。
 - ご購入時の梱包材や緩衝材を本機の運搬、輸送に再利用しないでください。使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。
 - 本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送して下さい。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットの故障の原因になることがあります。
- なお、レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。

設置または使用に際しては、以下の点にご注意ください。



注意

- 本機の吸気口、排気口から壁まで50cm以上離して設置してください。排気の影響で故障の原因となることがあります。
- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となることがあります。
- レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因となることがあります。
- 低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。
- 高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお使用温度と保管温度の範囲は次の通りです。
使用温度範囲 +5℃～+35℃・湿度85%まで
保管温度範囲 -10℃～+60℃
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、本機の故障の原因になることがあります。
- 冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり故障の原因となることがあります。
- 本機を誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となることがあります。左右の傾きは各10°以内としてください。
- 熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。
- 海拔2,300m以上の高地、または上向き / 下向き投写でご使用されるお客様へ
海拔2,300m以上の高地でご使用される場合や上向き投写、下向き投写でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

はじめに

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

設置する

ネットワークに接続する

メンテナンス

付録

索引

使用
説明書

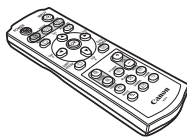
設置
説明書

付
録

付属品の確認

次の付属品が揃っていることを確認してください。

・リモコン



(品番: RS-RC04)

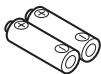
WUX5000 / WUX4000



(品番: RS-RC05)

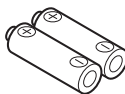
WX6000 / SX6000

・リモコン用乾電池



(単4形2本)

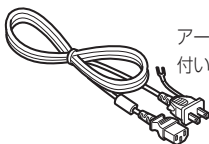
WUX5000 / WUX4000



(単3形2本)

WX6000 / SX6000

・電源コード (1.8m)



アース線にはキャップが
付いています。

・コンピューター接続 VGA ケーブル (1.8m) (ミニ D-sub15 / ミニ D-sub15 ピン用)



・使用説明書 / 設置説明書 (本書)

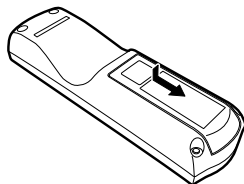


・保証書

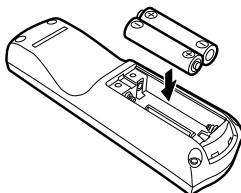
■リモコンへの電池の入れかた

WUX5000 / WUX4000

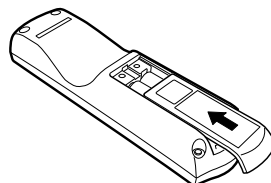
- 1** 電池カバーを開く。
押しながらスライドさせて外します。



- 2** 電池を入れる。
新しい単 4 乾電池 2 本を
＋プラスと－マイナスの
向きに注意して入れます。

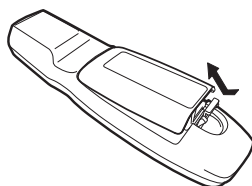


- 3** 電池カバーを閉じる。
スライドさせ、パチンと音
が出るまでしっかり閉じ
ます。

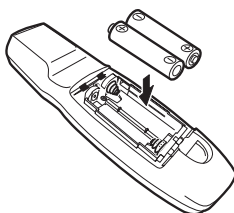


WX6000 / SX6000

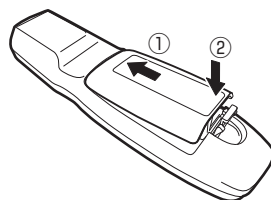
- 1** 電池カバーを開く。
電池カバーのつまみを押
しながら上に持ち上げま
す。



- 2** 電池を入れる。
新しい単 3 乾電池 2 本を
＋プラスと－マイナスの
向きに注意して入れます。



- 3** 電池カバーを閉じる。
ツメをリモコンの切り欠
けに入れ(①)、電池カバ
ーを押し下げます(②)。



- ⚠
- リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
 - リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
 - リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因となります。

⚠ 警告



禁止



注意

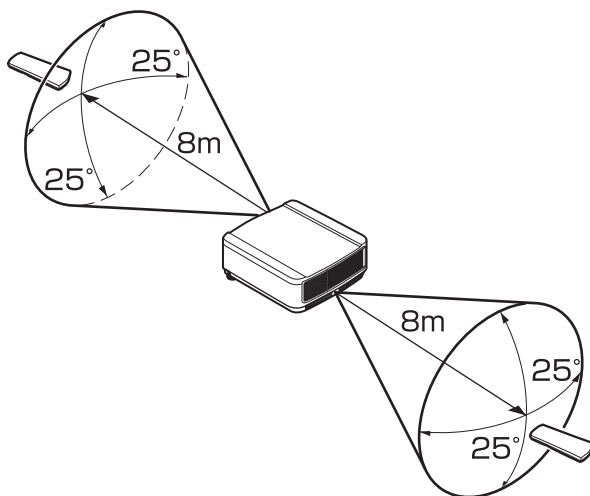
電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。

- 電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。
- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは2本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンの準備

■リモコンで操作できる範囲

リモコンは赤外線方式です。本体の前面または背面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

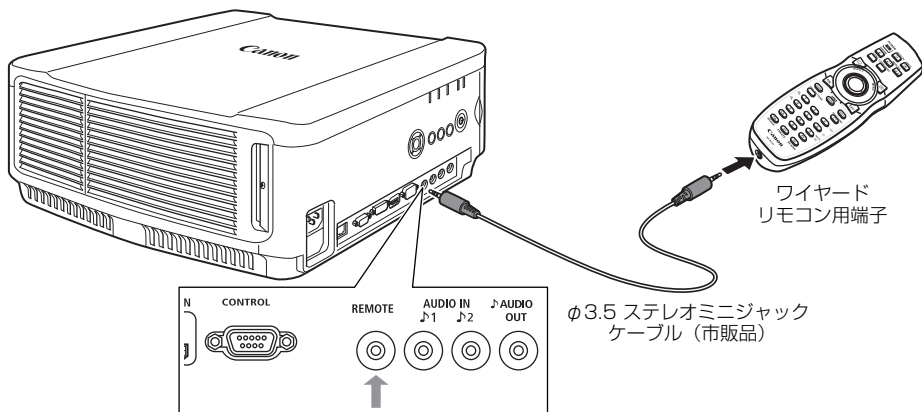


- リモコンは本体から 8m 以内で使用してください。
- リモコンは本体の受光部の正面から 25° の範囲で使用してください。
- 本体との間に障害物があるときや、本体の受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているときは、リモコンが操作できないことがあります。
- 2 台以上のプロジェクターを使用する場合は、リモコンが干渉合わないようにチャンネル設定を切り換えてください。(P113)

■リモコンをケーブルで接続して使う場合（WX6000 / SX6000）

WX6000 / SX6000 用のリモコン（RS-RC05）は、本体とケーブルで接続して操作することもできます。

ケーブルは、市販品の $\phi 3.5$ ステレオミニジャックケーブルをご使用ください。



はじめに



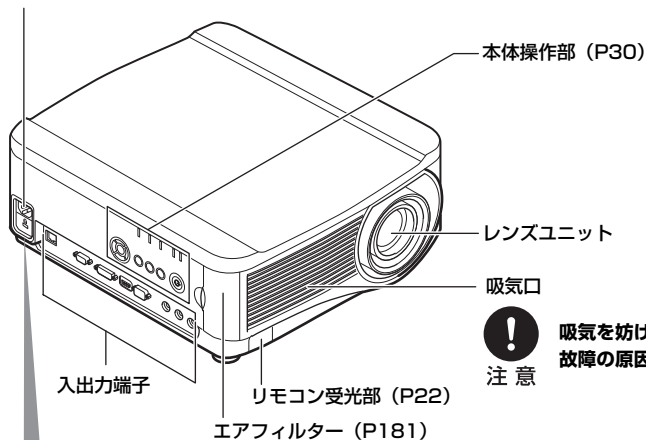
- 本体、またはリモコンにケーブルを接続している場合は、赤外線での操作ができません。
- $\phi 3.5$ ステレオミニジャックケーブル（市販品）は、長さ 30m 以下を使用してください。

各部のなまえ

本体（イラストは WUX5000 です）

■前面

電源コード接続部（P48）



盗難防止用ロック穴

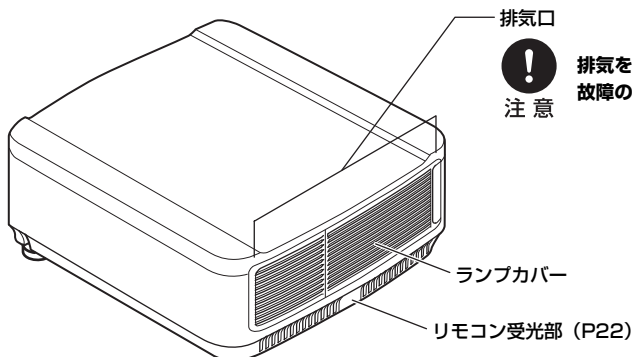
市販の盗難防止用ワイヤケーブルを接続できます。



吸気を妨げないようにしてください。
故障の原因となることがあります。

注意

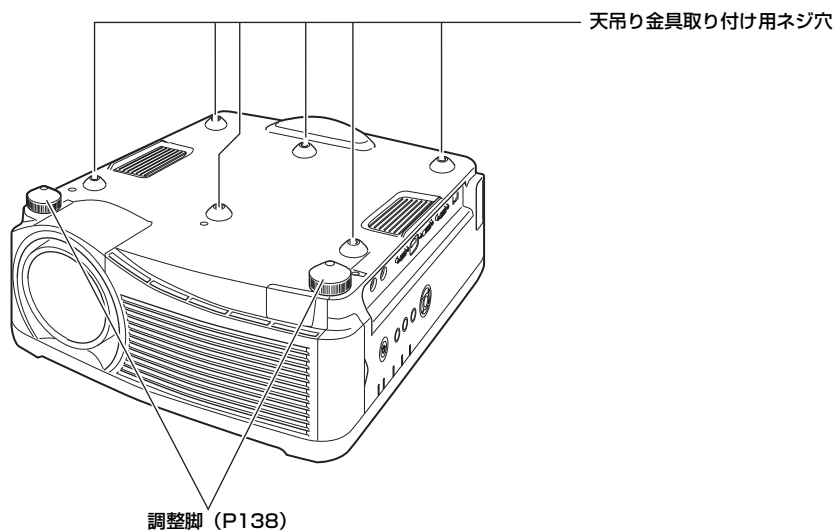
■背面



排気を妨げないようにしてください。
故障の原因となることがあります。

注意

■底面



はじめに

吊り下げ型の設置について

本機は天井から吊り下げてご利用いただくこともできます。

吊り下げには、オプションの天吊り金具（品番：RS-CL11）が必要です。更に、設置環境に合わせて、延長パイプ（品番：RS-CL08、またはRS-CL09）が必要になる場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。



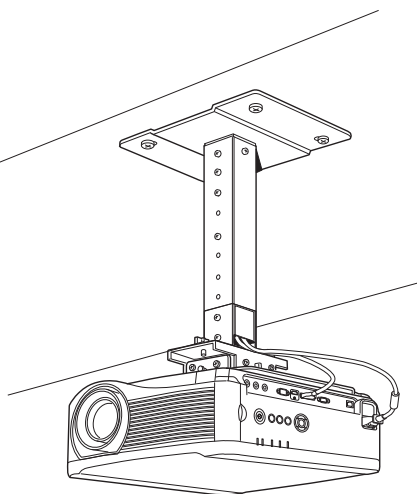
• 必ず専用の天吊り金具を使用してください。

注意

• お客様による天吊り金具の設置は絶対におやめください。



本機を吊り下げてご使用になる際は、メニューの「反転表示」で映像を反転する必要があります。（P95）



リモコン

本機は、リモコンまたは本体操作部のボタンを使って操作します。

WUX5000 / WUX4000 にはリモコン RS-RC04 が、WX6000 / SX6000 にはリモコン RS-RC05 がそれぞれ付属されています。付属しているリモコンで本機のすべての操作ができます。

■RS-RC04

WUX5000 / WUX4000

パワー

POWER ボタン (P48、P71)

電源を入 / 切します。

フォーカス

FOCUS ボタン (P64)

画面のピントを合わせます。

【▲】 【▶】 ボタン ピントの位置を遠くにします。

【▼】 【◀】 ボタン ピントの位置を近くにします。

アスペクト

ASPECT ボタン (P62)

映像の横縦比 (アスペクト) を切り換えます。

デジタルイメージシフト / キーストーン

D.SHIFT/KEYSTONE ボタン (P67)

台形ひずみを調整します。

【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 ボタン ひずみを調整します。

【D.SHIFT / KEYSTONE】 を押すと台形ひずみを補正します。

- スクリーンアスペクトの設定が [16 : 9 D イメージシフト]、[4 : 3 D イメージシフト] 時は画面を上下または左右に移動します。(P59、P60)

- 画面の移動は 【▲】 【▼】 または 【◀】 【▶】 ボタンで行います。

デジタルズーム

D. ZOOM ボタン (P76)

映像をデジタルズームで拡大縮小します。

【+】 ボタン 拡大 (最大 12 倍)

【-】 ボタン 縮小 (最小 1 倍)

【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 ボタン 拡大場所を移動します。

フリーズ

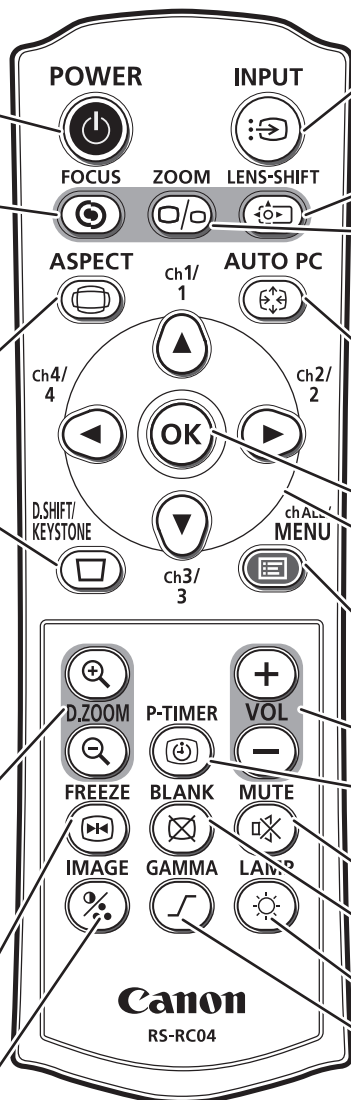
FREEZE ボタン (P74)

映像を静止させます。

イメージ

IMAGE ボタン (P70)

イメージモード (画質) を切り換えます。



インプット

INPUT ボタン (P52)

投写する入力信号を選びます。

ズーム

ZOOM ボタン (P63)

画面サイズを調整します。

【▲】 【▶】 ボタン 画面サイズを拡大します。

【▼】 【◀】 ボタン 画面サイズを縮小します。

オートピーシー

AUTO PC ボタン (P54)

アナログ PC 入力時に、コンピューターの信号に合わせて本機を最適な状態に調整します。

レンズシフト

LENS-SHIFT ボタン (P65)

レンズを上下左右に移動します。

【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 ボタン レンズを移動します。

オーケー

OK ボタン (P84)

メニューなどで選んだ項目を確定します。

方向ボタン (P82)

メニューなどで上下左右の方向を指定します。また、リモコンのチャンネル設定を行います。(P113)

メニュー

MENU ボタン (P80)

投写画面にメニューを表示します。また、リモコンのチャンネル設定を行います。(P113)

ピータイマー

P-TIMER ボタン (P77)

ボタンを押したときからの経過時間が表示されます。

ボリューム

VOL ボタン (P75)

音量を調節します。

【+】 ボタン 音量を上げます。

【-】 ボタン 音量を下げます。

ミュート

MUTE ボタン (P75)

音声を一時的に消します。

ブランク

BLANK ボタン (P74)

映像の表示 / 非表示を切り換えます。

ランプ

LAMP ボタン (WUX4000) (P108)

ランプモード（標準 / 静音）を切り換えます。

ガンマ

GAMMA ボタン (P103)

ガンマを調整します。

【▶】 ボタン 暗い部分を見やすく補正します。

【◀】 ボタン 明るい部分を見やすく補正します。

各部のなまえ

■RS-RC05

WX6000 / SX6000

パワー

POWER ボタン (P48、P71)

電源を入 / 切します。

アスペクト

ASPECT ボタン (P62)

映像の横縦比 (アスペクト) を切り換えます。

方向ボタン (P82)

メニューなどで上下左右の方向を指定します。
また、リモコンを赤外線で使用する場合のチャンネル設定を行います。(P113)

オーケー

OK ボタン (P84)

メニューなどで選んだ項目を確認します。

ズーム

ZOOM ボタン (P63)

画面サイズを調整します。

【▲】【▶】 ボタン 画面サイズを拡大します。

【▼】【◀】 ボタン 画面サイズを縮小します。

フォーカス

FOCUS ボタン (P64)

画面のピントを合わせます。

【▲】【▶】 ボタン ピントの位置を遠くにします。

【▼】【◀】 ボタン ピントの位置を近くにします。

テストパターン

TEST PATTERN ボタン (P126、P205)

テストパターンを表示します。

デジタルズーム

D. ZOOM ボタン (P76)

映像をデジタルズームで拡大縮小します。

【1】 ボタン 拡大 (最大12倍)

【4】 ボタン 縮小 (最小1倍)

【▲】【▼】【◀】【▶】 ボタン 拡大場所を移動します。

チャンネル

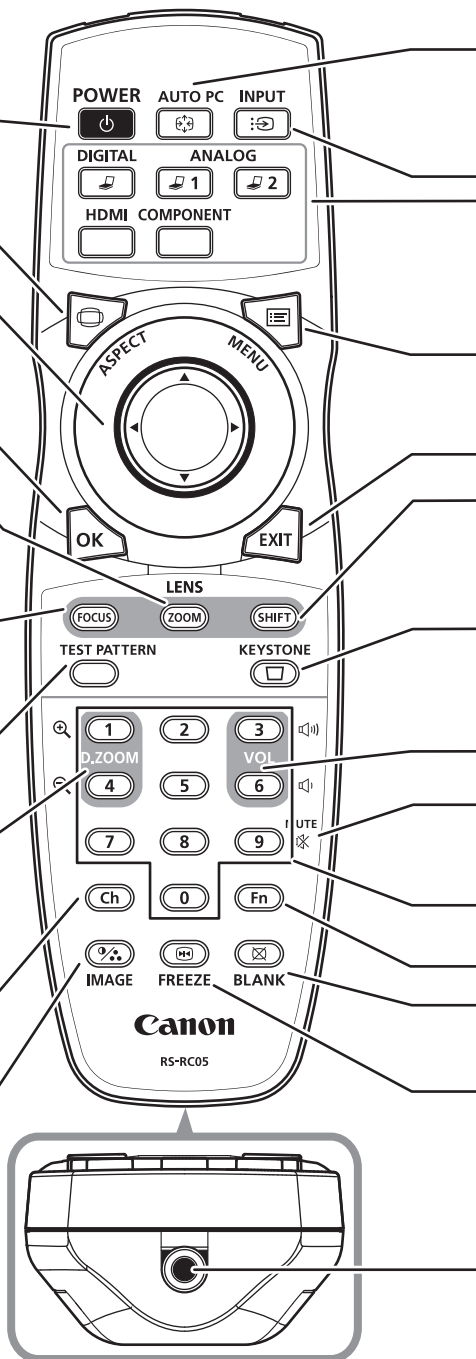
Ch ボタン (P113)

リモコンを赤外線で使用する場合のチャンネルを切り替えます。

イメージ

IMAGE ボタン (P70)

イメージモード (画質) を切り換えます。



オートピーシー

AUTO PC ボタン (P54)

アナログ PC 入力時に、コンピューターの信号に合わせ
て本機を最適な状態に調整します。

インプット

INPUT ボタン (P52)

投写する入力信号を選びます。

入力信号切替えボタン (P52)

入力信号をデジタル PC、アナログ PC-1、
アナログ PC-2、HDMI、コンポーネント
に切り替えます。

メニュー

MENU ボタン (P81)

投写画面にメニューを表示します。
また、リモコンを赤外線を使用する場合のチャンネル
設定を行います。(P113)

エグジット

EXIT ボタン (P84)

メニューの表示や、テストパターンなどの使
用中の機能を解除し、映像の表示に戻ります。

シフト

SHIFT ボタン (P65)

レンズを上下左右に移動します。
【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン レンズを移動します。

キーストーン

KEYSTONE ボタン (P67)

台形ひずみを調整します。
画面の移動は【▲】【▼】または【◀】【▶】ボタンで行います。

ボリューム

VOL ボタン (P75)

音量を調節します。
【3】ボタン 音量を上げます。
【6】ボタン 音量を下げます。

ミュート

MUTE ボタン (P75)

音声を一時的に消します。

数字ボタン (P117、P160、P163)

パスワードや TCP / IP の設定値などの入力をします。

ファンクション

Fn ボタン

本機では使用しません。

ブランク

BLANK ボタン (P74)

映像の表示 / 非表示を切り換えます。

フリーズ

FREEZE ボタン (P74)

映像を静止させます。

ワイヤードリモコン用端子 (P23)

本機をケーブルで接続して、操作します。

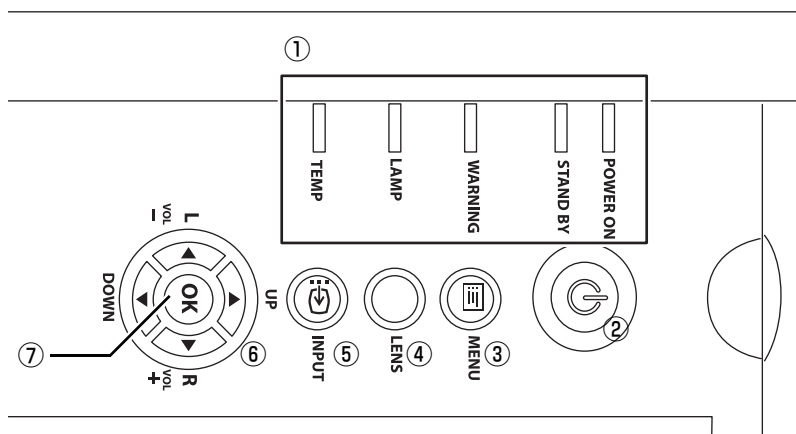
本体操作部

①LEDインジケータ（P31）

LEDの表示（消灯 / 点灯 / 点滅）で本機の状態を知らせます。

インジケータの状態については「LED インジケータの表示について」（P31）を参照してください。

- POWER ON（緑）：通電中に点灯または点滅します。
- STAND BY（赤）：スタンバイ中、終了時に点灯または点滅します。
- WARNING（赤）：エラー発生時に点灯または点滅します。
- LAMP（橙）：ランプの交換時期が近づいたときに点滅します。ランプカバー異常時は、さらに、[WARNING] インジケータが点滅します。ランプの異常時には[WARNING] インジケータとともに点灯します。
- TEMP（赤）：内部が高温状態になったときに点滅します。さらに内部の温度が上昇した場合には、温度エラーとなり [WARNING] インジケータとともに点灯します。



パワー

②POWERボタン（P48、P71）

電源を入 / 切します。

メニュー

③MENUボタン（P80、P81）

投写画面にメニューを表示します。

レンズ

④LENSボタン

押すごとに、フォーカス（ピント）調整（P64）、ズーム（画面サイズ）調整（P63）、レンズシフト（画面位置）調整（P65）の画面に切り換わります。調整は【▲】【▼】または【◀】【▶】で行います。

インプット

⑤INPUTボタン（P52）

投写する入力信号を選びます。

ボリューム

⑥方向 / VOLボタン（P82）

音量を調整します。

【◀】ボタン 音量を下げます。

【▶】ボタン 音量を上げます。

メニューなどでは上下左右の方向を指定します。




オーケー










⑦OKボタン（P84）

メニューなどで選んだ項目を確定します。

■LED インジケーターの表示について

本機の動作状態を各LED インジケーターの点滅または点灯で示します。

: 消灯 : 点灯 : 点滅

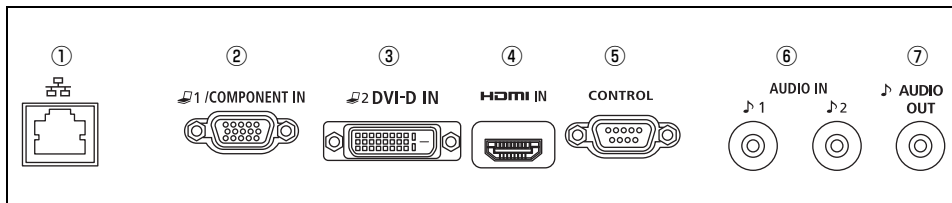
LED インジケーター					動作状態
POWER ON (緑)	STAND BY (赤)	WARNING (赤)	LAMP (橙)	TEMP (赤)	
					電源が接続されていません
					電源を入れることができます (スタンバイ)
					電源が入っています
					節電中です
					ランプの交換時期が近づいています
					内部の温度が高くなっています
					ランプのエラーが発生しています
					内部の温度が高いので電源を切りました
					ランプカバーが開いています
					その他のエラーが発生しています

※ 電源の状態により [POWER ON]、[STAND BY]のどちらかのインジケーターが点灯します。

はじめに

接続端子

WUX5000 / WUX4000



① LAN接続端子 (P154)

LANケーブルを接続します。

本機をネットワークに接続できます。

② アナログPC / コンポーネント入力端子 (1/COMPONENT IN) (P39、P45)

アナログPC 信号 (アナログPC) の入力端子です。

コンポーネントケーブルを使用して、コンポーネント映像 (コンポーネント) を入力することもできます。

③ DVI-D IN入力端子 (2 DVI-D IN) (P42)

コンピューターの外部モニター出力と接続します。

デジタル信号 (デジタルPC) の入力端子です。

④ HDMI入力端子 (HDMI IN) (P43)

デジタルコンテンツの映像信号 (HDMI) の入力端子です。

映像と音声をひとつのケーブルで入力できます。

⑤ サービス用端子 (CONTROL)

サービスマン用の端子です。通常は使用しません。

⑥ 音声入力端子 (AUDIO IN) (P39、P42、P45)

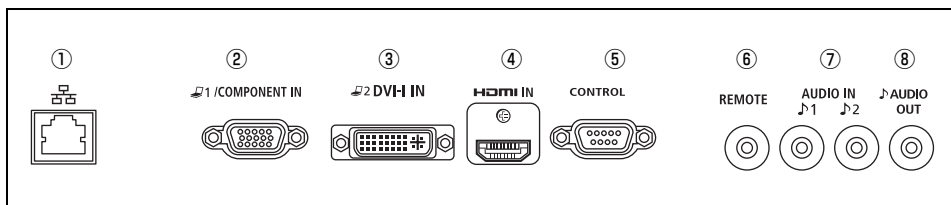
HDMI IN 以外の2系統の映像入力に対応する音声信号の入力端子です。

選択した映像信号の音声が入蔵スピーカーから出力されます。

⑦ 音声出力端子 (1 AUDIO OUT) (P43、P47)

外部 AV 機器に音声を出力するための出力端子です。投写中の映像信号の音声信号が出力されます。

WX6000 / SX6000



① LAN接続端子 (P154)

LANケーブルを接続します。
本機をネットワークに接続できます。

② アナログPC-1 / コンポーネント入力端子
(1 / COMPONENT IN) (P39、P45)

アナログPC 信号（アナログPC-1）の入力端子です。
コンポーネントケーブルを使用して、コンポーネント映像（コンポーネント）を入力することもできます。

③ アナログPC-2 / DVI-I IN入力端子 (2 DVI-I IN) (P42)

コンピューターの外部モニター出力と接続します。
デジタルPC信号（デジタルPC）またはアナログPC信号（アナログPC-2）の入力端子です。

④ HDMI入力端子 (HDMI IN) (P43)

デジタルコンテンツの映像信号（HDMI）の入力端子です。
映像と音声をひとつのケーブルで入力できます。

⑤ サービス用端子 (CONTROL)

サービスマン用の端子です。通常は使用しません。

⑥ ワイヤードリモコン用端子 (REMOTE) (P23)

リモコンをケーブルで接続するとき使用する端子です。

⑦ 音声入力端子 (AUDIO IN) (P39、P42、P45)

HDMI IN以外の2系統の映像入力に対応する音声信号の入力端子です。
選択した映像信号の音声が入蔵スピーカーから出力されます。

⑧ 音声出力端子 (AUDIO OUT) (P43、P47)

外部 AV 機器に音声を出力するための出力端子です。投写中の映像信号の音声信号が出力されます。

**POWER
PROJECTOR
WUX5000
WUX4000
WX6000
SX6000**

**使用説明書
(操作編)**



投写する

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

設置する

ネットワークに接続する

メンテナンス

付録

索引

使用
説明
書

設置
説明
書

付
録

接続から投写までの手順

⚠ 設置作業はお買い上げの販売店または専門の技術者で行ないます。

プロジェクターと機器を接続する (P150)



電源を入れる (P48)



ノート型コンピューターの映像を投写しますか？

No

Yes

ノート型コンピューターの場合、画面出力を切り換えた後 (P50)、次に進みます。

機器に合った入力信号を選ぶ (P51)

画面が正常に投写されましたか？

No

Yes

投写作業は完了です。

画面を調整する (P53)

次の調整を行ってください。

- コンピューターの表示解像度を設定する (P53)
- スクリーンアスペクトとアスペクトを選ぶ (P55、P61)
- オートPCで映像の表示のずれや画面のちらつきを調整する (P54)
- 画面サイズを調整する (P63)
- ピントを合わせる (P64)
- 画面の位置を調整する (レンズシフト) (P65)
- 台形ひずみを調整する (P67)

さらに細かく調整する

- 画質 (イメージモード) を選ぶ (P69)

コンピューターと接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

高画質で投写するときは、デジタル接続（P42）をおすすめします。

HDMI出力端子付きのコンピューターの場合は、HDMIケーブルを使ったデジタル接続（P43）も可能です。



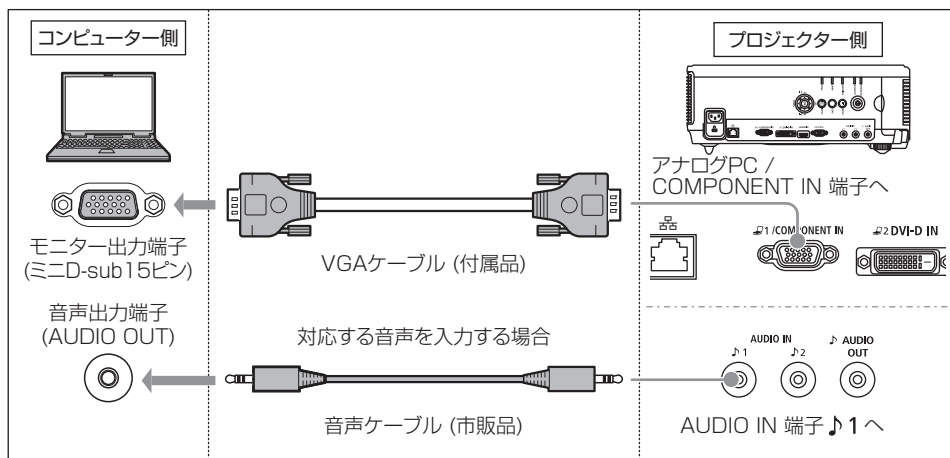
プロジェクターとコンピューターの両方の電源を切ってから接続してください。

注意

■RGB モニター出力端子と接続（アナログ接続）

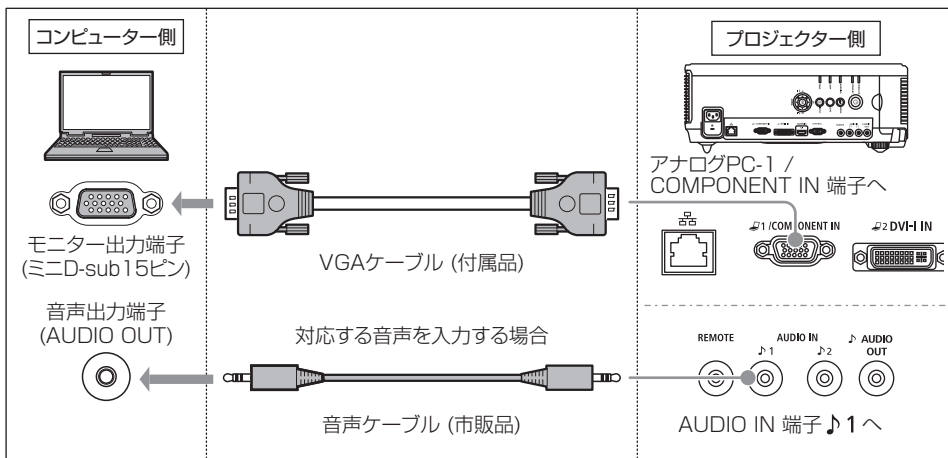
VGAケーブルで接続（入力信号の種類【アナログPC】（WUX5000 / WUX4000）、【アナログPC-11】（WX6000 / SX6000）P51）

WUX5000 / WUX4000



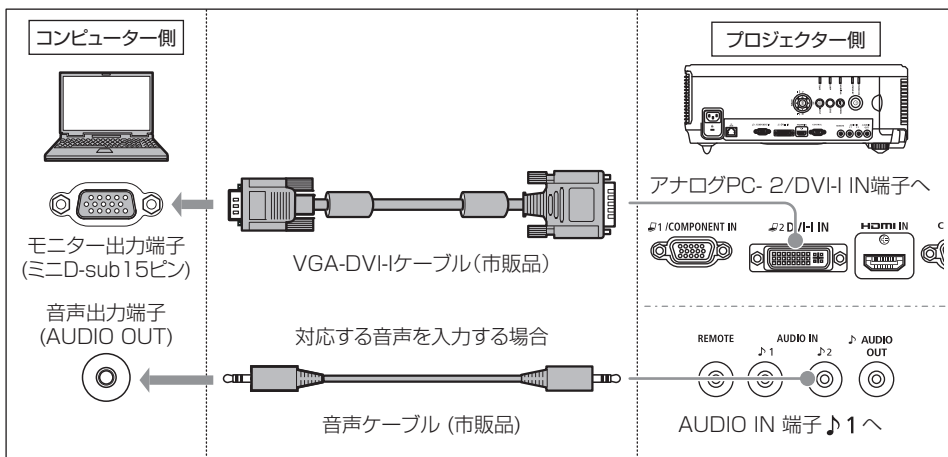
接続する

WX6000 / SX6000



VGA-DVIケーブルで接続 (入力信号の種類 【アナログPC-2】 P51)

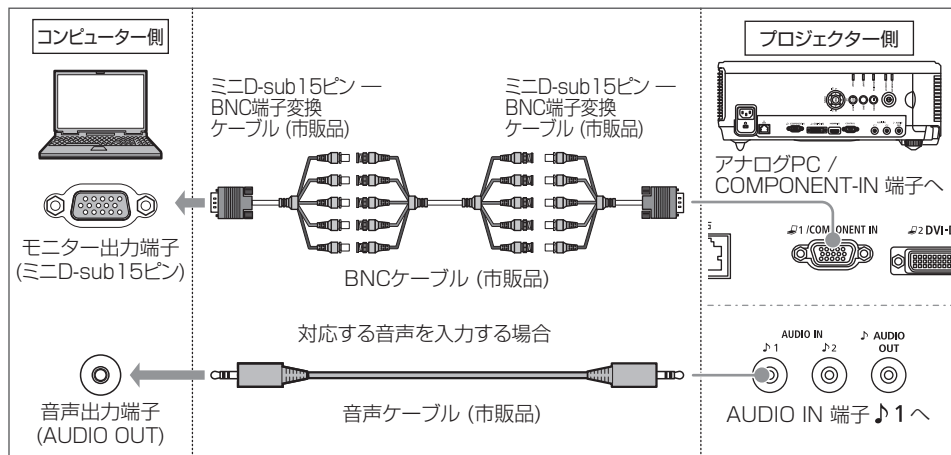
WX6000 / SX6000



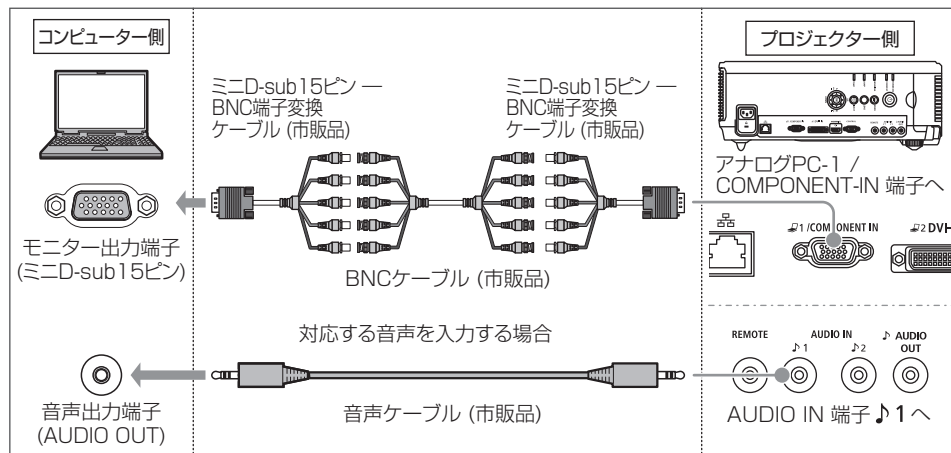
- 全てのピンが結線された (全結線) VGA ケーブルを使用してください。全結線でないタイプでは、映像が正しく表示されない場合があります。
- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P126) で切り替えることができます。(WX6000 / SX6000)

BNC ケーブルで接続（入力信号の種類 【アナログ PC】（WUX5000 / WUX4000）、【アナログ PC-1】（WX6000 / SX6000） P51）

WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000



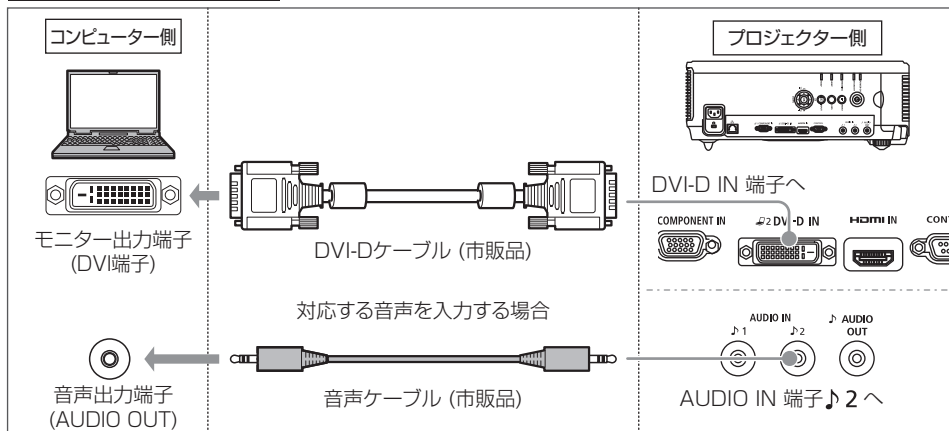
- ドットクロックが 162MHz を越える信号は投写できません。
- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面（P126）で切り替えることができます。（WX6000 / SX6000）

接続する

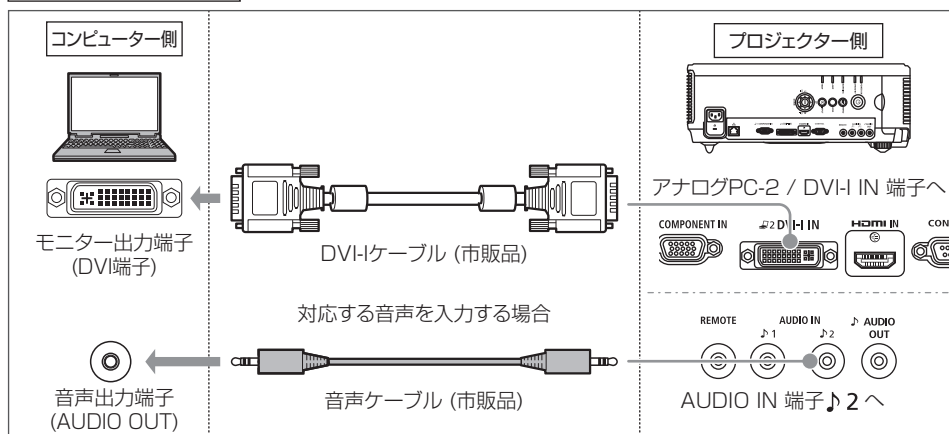
■DVI モニター出力端子と接続（デジタル接続）

DVIケーブルで接続（入力信号の種類 【デジタルPC】 P51）

WUX5000 / WUX4000

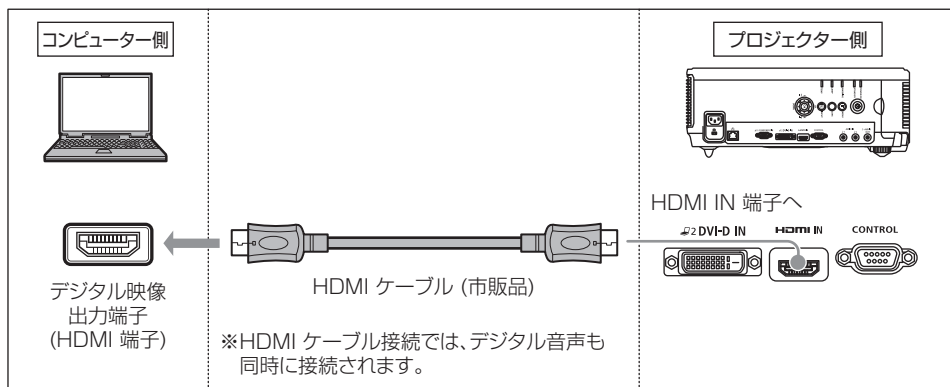


WX6000 / SX6000



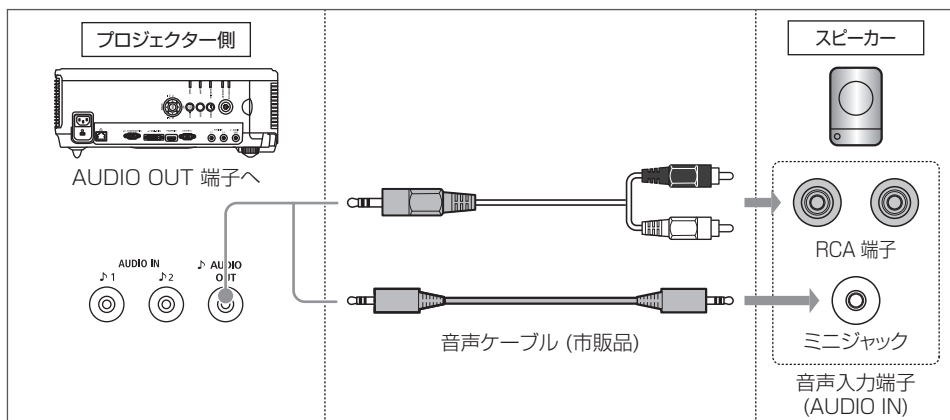
- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面（P126）で切り替えることができます。（WX6000 / SX6000）

■HDMI ケーブルで接続（入力信号の種類【HDMI】 P51）



■音声を外部に出力する

投写中の映像の音声をアンプ内蔵スピーカーに出力できます。



音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

AV 機器と接続する

プロジェクターと、各種 AV 機器を接続します。

ここで説明する接続方法は一例です。詳しくは各 AV 機器の取扱説明書を参照してください。

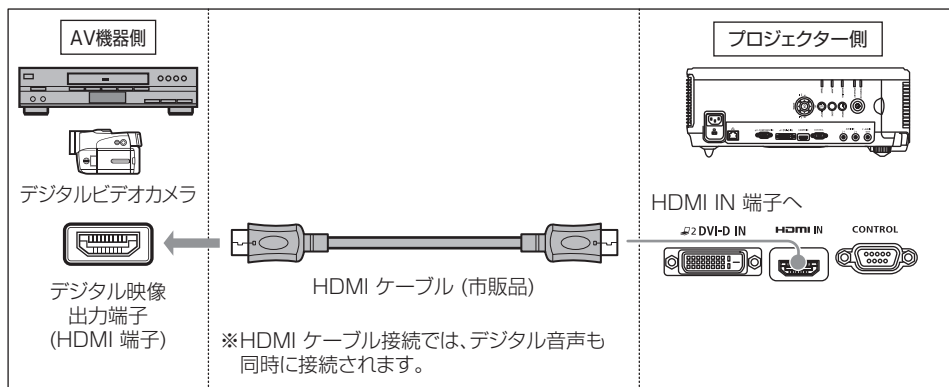


プロジェクターと AV 機器の両方の電源を切ってから接続してください。

注 意

■デジタル映像出力端子と接続（デジタル接続）

HDMI ケーブルで接続（入力信号の種類【HDMI】 P51）



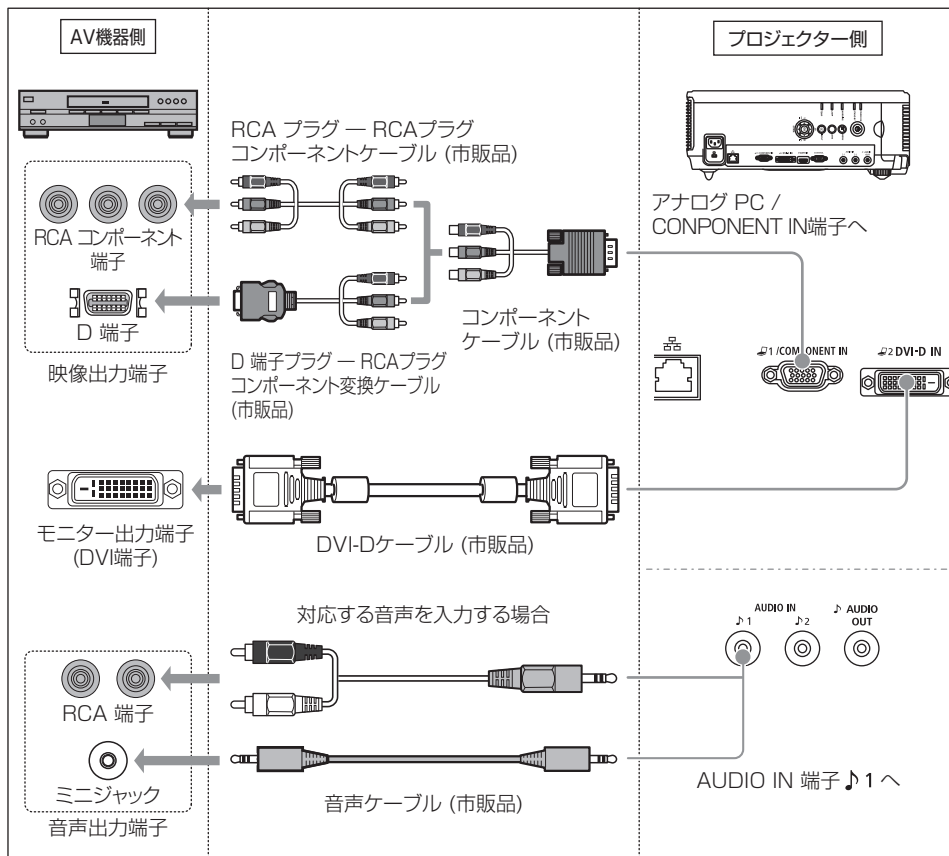
■アナログ映像出力端子と接続（アナログ接続）

コンポーネントケーブルで接続（入力信号の種類【コンポーネント】 P51）

コンポーネントケーブルをプロジェクターの「COMPONENT IN 端子」に接続することで、AV 機器のコンポーネント映像信号を入力することができます。

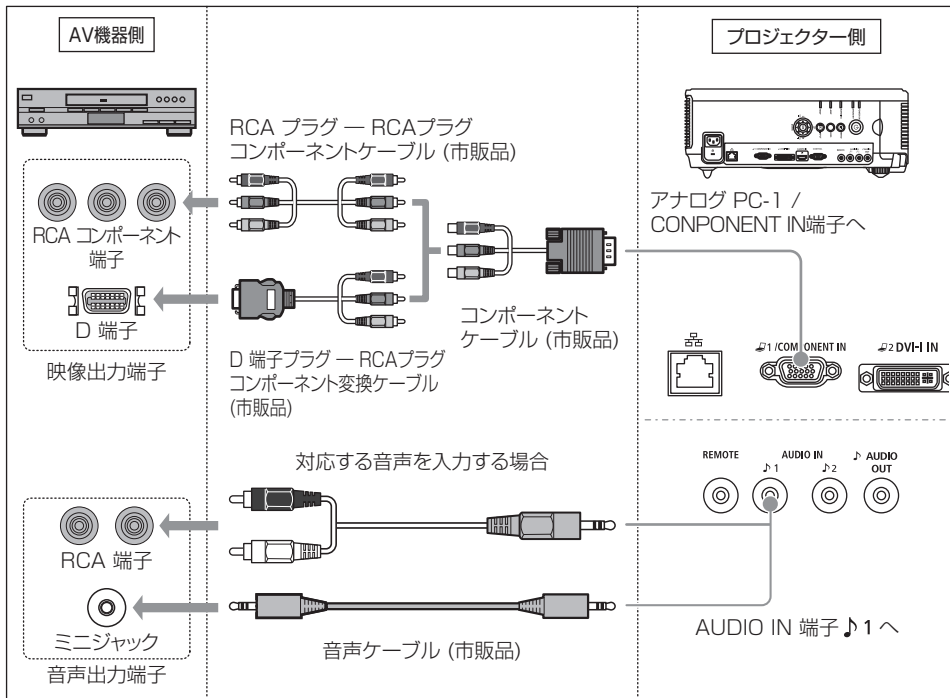
AV 機器側の端子形状に合ったコンポーネントケーブル（市販品）で中継接続してください。

WUX5000 / WUX4000



接続する

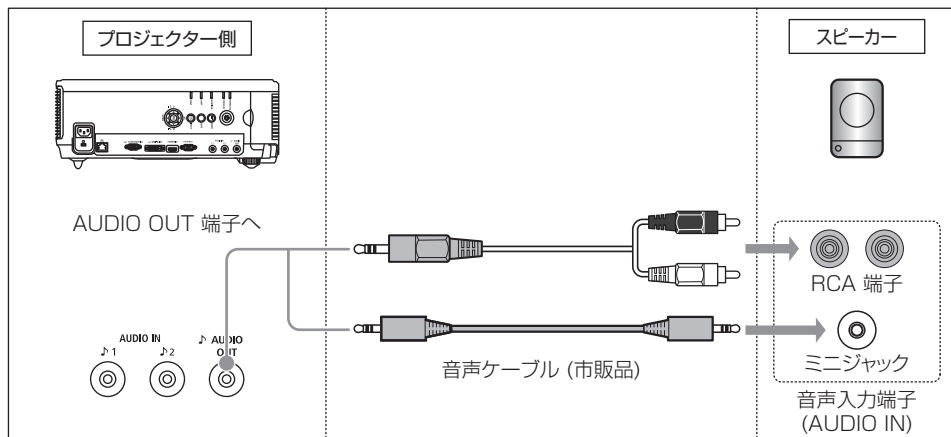
WX6000 / SX6000



- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P126) で切り替えることができます。(WX6000 / SX6000)

■音声を外部に出力する

投写中の映像の音声を AV 機器やアンプ内蔵スピーカーに出力できます。



使用説明書

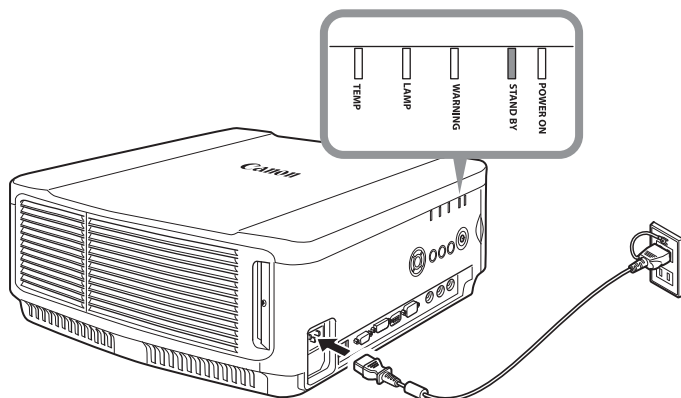
投写する



音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

電源を入れる

- 1 コンピューターまたは AV 機器との接続を確認します。(P44 ~ P47)
- 2 プロジェクターの電源コードを接続し、[STAND BY] インジケーターが赤く点灯することを確認してください。



電源プラグのアース端子を接続してください。アース端子を接続しないと、感電の原因となります。また、コンピューターの電波障害やテレビ・ラジオの受信障害となることがあります。

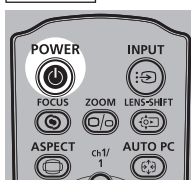


- コネクターは奥までしっかりと差し込んでください。
- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。
- 長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜いてください。

3 【POWER】 ボタンを押してください。

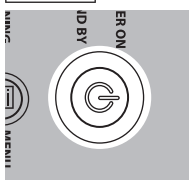
[POWER] インジケーターが緑色に点滅し、点灯に変わります。

リモコン

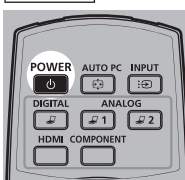


WUX5000 / WUX4000

本体



リモコン



WX6000 / SX6000

カウントダウン表示 (約 20 秒間) が行われた後、投写をはじめます。なお、カウントダウン表示は【OK】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押すと消えます。

4 コンピューターまたは AV 機器の電源を入れます。

起動時の動作を変更するには

起動時の動作を、次のように変更できます。

- 【POWER】 ボタンを使わずに、電源コードを接続するだけで電源を入れることができます。(P110)
- カウントダウン中の表示を変えられます。(P97)
- カウントダウン表示を消すことができます。(P48)

省電力のモードを使うには (パワーマネージメント)

パワーマネージメントモードに設定すると、入力信号がない状態が続いたときにランプを自動的に消すことができます。(P109)

使用説明書

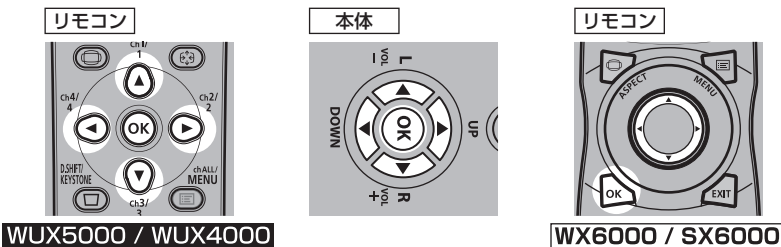
投写する

■言語を選ぶ画面が表示されたとき

ご購入後に初めて電源を入れたときは、メッセージやメニューの言語を選ぶ画面が表示されます。方向ボタンで言語を選び、【OK】 ボタンを押してください。

なお、言語は後からメニューを使って変更することもできます。(P114)

ピントがずれていて言語を選ぶ画面が読めないときは、【FOCUS】 ボタンを押してピントを合わせてください。(P64)



言語		
English	Русский	Čeština
Deutsch	Nederlands	Dansk
Français	Suomi	إنجليزي
Italiano	Norsk	中文简体
Español	Türkçe	中文繁體
Português	Polski	한국어
Svenska	Magyar	日本語

オレンジの項目が選ばれます

■パスワード入力画面が表示されたとき

パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。(P116)

電源を入れる

■「入力信号がありません」と表示されたとき

ノート型コンピューターの場合は、出力切り換えが必要です。(P50)

【INPUT】ボタンを押して入力信号を選びます。(P52)

■ノート型コンピューターの画面が表示できないとき

ノート型コンピューターの画面を、外部モニターに出力できるよう切り換えます。詳しくは、次の「ノート型コンピューターの画面出力を切り換える」を参照してください。

■画面を調整するとき

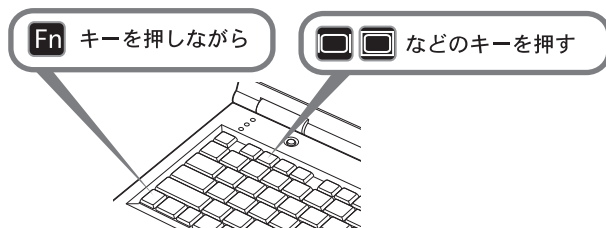
- コンピューター側の表示解像度を最大解像度、または最も近い解像度に設定してください。(P53)
- コンピューターの映像の表示のずれや画面のちらつきは、オートPCで調整してください。(P54)
- 投写画面のサイズは【ZOOM】ボタンで調整してください。(P63)
- ピント調整が不十分なときは【FOCUS】ボタンで調整してください。(P64)
- 台形ひずみの補正が不十分なときは【D.SHIFT/KEystone】ボタン(WUX5000 / WUX4000)または、【KEystone】ボタン(WX6000 / SX6000)で調整してください。(P67)
- スクリーンの横縦比、入力信号の種類などに合わせて、スクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。(P55～62)
- 投写する映像の内容に合わせてイメージモード(画質)を選んでください。(P69)

ノート型コンピューターの画面出力を切り換える

ノート型コンピューターを使用する場合は、コンピューター側で画面出力の切り換えが必要です。デスクトップ型コンピューターではこの操作は不要です。

■外部モニター切り換え操作

ノート型コンピューターの画面出力は、キーボード操作で外部モニターへ切り換えることができます。一般的には、[Fn]キーを押しながら、外部モニターを表すアイコンや文字が表記されているファンクションキー([F1]～[F12])を押すと、外部モニターへ切り換わります。



- 機種により使用するファンクションキーや切り換え方法が異なります。ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書を参照してください。
- Windows 7 では Windows ロゴキーを押しながら [P] キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。




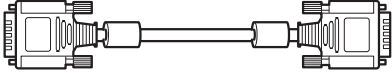

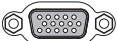
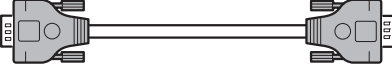

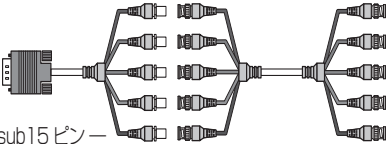


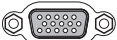
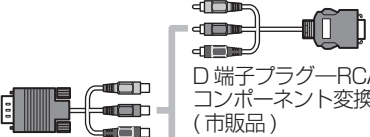
入力信号を選ぶ(INPUT)

デジタル信号のコンピューターやAV機器で投写するとき、複数のコンピューター、AV機器などを接続して投写を切り換えるときは、[INPUT]メニューで入力信号を選びます。

前回と同じ信号を投写するときは、この操作は不要です。

■入力信号の種類

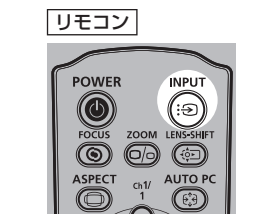
本機で対応している入力信号と入力端子、接続ケーブルの関係は次の通りです。

入力信号	対応機種	入力端子	接続ケーブルの種類
HDMI	WUX5000 WUX4000 WX6000 SX6000	HDMI IN 	HDMI ケーブル (市販品) 
デジタル PC	WUX5000 WUX4000	 DVI-D IN	DVI ケーブル (市販品) 
	WX6000 SX6000	 DVI-I IN	
アナログ PC アナログ PC-1	WUX5000 WUX4000 WX6000 SX6000	 1 / COMPONENT IN	VGA ケーブル (付属品) 
	WUX5000 WUX4000 WX6000 SX6000	 1 / COMPONENT IN	BNC ケーブル (市販品)  ミニ D-sub15 ピン BNC 端子変換ケーブル (市販品) BNC ケーブル (市販品)
アナログ PC-2	WX6000 SX6000	 DVI-I IN	VGA-DVI ケーブル (市販品) 
コンポーネント	WUX5000 WUX4000 WX6000 SX6000	 1 / COMPONENT IN	コンポーネントケーブル (市販品)  D 端子プラグーRCA プラグ コンポーネント変換ケーブル (市販品) RCA プラグーRCA プラグ コンポーネントケーブル (市販品)

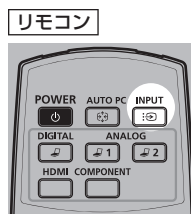
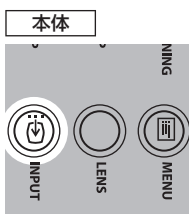
入力信号を選ぶ (INPUT)

■入力信号を選ぶ

1 [INPUT] ボタンを押すと、下の画面が表示されます。



WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000



現在投写中の信号に○が点き、オレンジ色で表示されます。

また、投写可能な状態の信号は白で表示され、入力のない信号はグレーで表示されます。ただし [HDMI]、[DVI-D] (WUX5000 / WUX4000) (デジタル PC)、または [デジタル PC] (WX6000 / SX6000) は、投写可能な状態でもグレーで表示されることがあります。

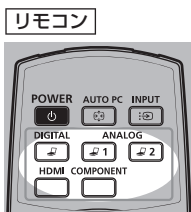
2 [INPUT] ボタンを押すたびに、入力信号が切り換わります。

- [▲] [▼] ボタンでも入力信号が切り換わります。
- 白で表示された信号のみ切り換わります。

3 [OK] ボタンを押して、入力信号を決定します。

入力信号切替ボタンで切り替える (WX6000 / SX6000)

WX6000 / SX6000 では、投写したい入力信号のボタンを押しても切り換えることができます。



WX6000 / SX6000

画面を調整する

コンピューターの表示解像度を設定する

本機の最大解像度 に合わせて、コンピューター側の表示解像度を最も近い解像度に設定してください。(P206)

最大解像度

WUX5000 / WUX4000 : 1920 × 1200 ドット

SX6000 : 1400 × 1050 ドット

WX6000 : 1440 × 900 ドット

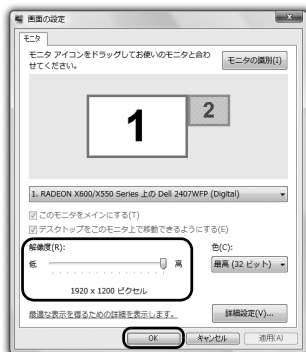
■Windows 7 の場合

- 1 スタートメニューから [コントロールパネル] を選び、[コントロールパネルホーム] の [デスクトップのカスタマイズ] から [画面の解像度の調整] を選びます。
- 2 [解像度] 欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。



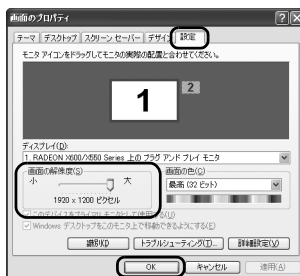
■Windows Vista の場合

- 1 スタートメニューから [コントロールパネル] を選び、[コントロールパネルホーム] の [デスクトップのカスタマイズ] から [画面の解像度の調整] を表示します。
- 2 [解像度] から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。



■Windows XP の場合

- 1 デスクトップ上を右クリックして表示されたメニューから [プロパティ] を選び、[画面のプロパティ] を表示します。
- 2 [設定] タブをクリックして [画面の解像度] から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。



画面を調整する

■Mac OS X の場合

- 1 アップルメニューを開き、[システム環境設定] を選びます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの [ディスプレイ] アイコンをクリックし、ディスプレイの画面を表示します。
- 3 [ディスプレイ] タブを選び、[解像度] の一覧から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
- 4 [システム環境設定] のウィンドウを閉じます。



オート PC

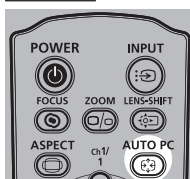
入力信号が [アナログ PC] (WUX5000 / WUX4000) や、[アナログ PC-1] [アナログ PC-2] (WX6000 / SX6000) の場合、映像の表示位置が上下左右にずれていたり、画面がちらつくようなときに、【AUTO PC】ボタンを押すと、本機が最適な状態に調整されます。

調整結果は記憶されますので、同じコンピューターに接続して使用する場合は、入力信号を選ぶだけで前回調整された状態で投写できます。

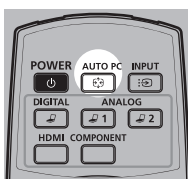
■オート PC を行う

【AUTO PC】ボタンを押すと、本機の調整が行われます。

リモコン



WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000



[AUTO PC] での調整が不十分なときは、次の操作を行ってください。

- [入力信号選択] からコンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。(P86)
- 上記の操作でも調整が不十分なときは、[入力信号設定] から、[総ドット数]、[トラッキング]、[水平 / 垂直位置]、[水平 / 垂直表示ドット数] を調整してください。(P87 ~ P90)
- 本機が対応している信号形式については、206 ページの表を参照してください。

スクリーンアスペクトとアスペクトを選ぶ

スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの横縦比、入力信号の種類などに合わせて、最適なスクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。

【スクリーンアスペクト】 お使いのスクリーンの横縦比と同じものを選んでください。

【アスペクト】 基本的に【オート】を選んでください。

ただし、コンピューターなどの入力機器の解像度によっては設定を変更したほうが良い場合もあります。希望通りの横縦比で投写されないときは、195 ページの「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

■スクリーンアスペクトを選ぶ

使用するスクリーンの横縦比に合わせて選びます。

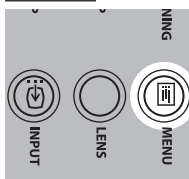
スクリーンアスペクトは、次の手順で選びます。

1 【MENU】 ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

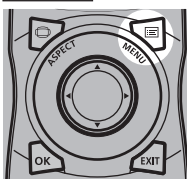
リモコン



本体



リモコン



WUX5000 / WUX4000



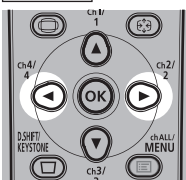
WX6000 / SX6000



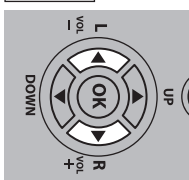
画面を調整する

- 2** 【◀】 【▶】 ボタンで [表示設定] タブ (WUX5000 / WUX4000) または [設置設定] タブ (WX6000 / SX6000) を選びます。

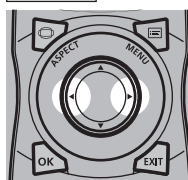
リモコン



本体



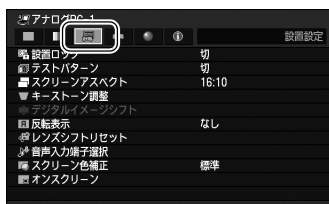
リモコン



WUX5000 / WUX4000

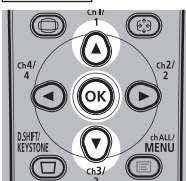


WX6000 / SX6000

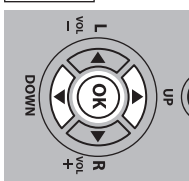


- 3** 【▲】 【▼】 ボタンで [スクリーンアスペクト] を選び、【OK】 ボタンを押します。

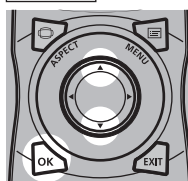
リモコン



本体



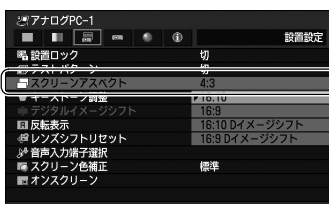
リモコン



WUX5000 / WUX4000

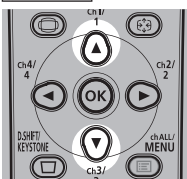


WX6000 / SX6000

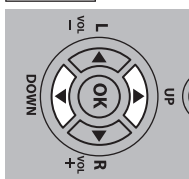


4 【▲】【▼】ボタンで内容を選びます。

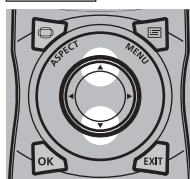
リモコン



本体



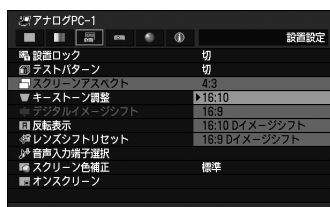
リモコン



WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000



各機種に対応するスクリーンアスペクトは次の通りです。

	WUX5000	WUX4000	WX6000	SX6000
16:10	○	○	○	○
16:9	○	○	○	○
4:3	○	○	○	○
16:10D イメージシフト	—	—	○	—
16:9D イメージシフト	○	○	○	○
4:3D イメージシフト	○	○	—	○

○：対応 —：非対応

16:10

スクリーンの横縦比が16:10のときに選びます。壁に投写するときも、このスクリーンアスペクトを選んでください。このモードは台形ひずみの補正ができます。(P67)



16:10のスクリーン

画面を調整する

16:9

スクリーンの横縦比が16:9のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができます。(P67)



16:9のスクリーン

4:3

スクリーンの横縦比が4:3のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができます。(P67)



4:3のスクリーン

16:10 Dイメージシフト (SX6000)

スクリーンの縦横比が16:10のときに選びます。このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。
映像の移動方法は59ページを参照してください。

16:9 Dイメージシフト

スクリーンの横縦比が16:9のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。
映像の移動方法は59ページを参照してください。

4:3 Dイメージシフト (WUX5000 / WUX4000 / WX6000)

スクリーンの横縦比が4:3のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を左右方向に移動できます。
映像の移動方法は60ページを参照してください。

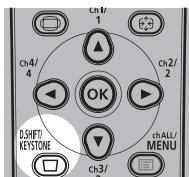
5 【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

16:9 D イメージシフト/16:10 D イメージシフト(SX6000)時に映像を移動する

WUX5000、WUX4000、WX6000は、16 : 10 D イメージシフトが使えません。

- 1** WUX5000 / WUX4000 では、スクリーンアスペクトが [16:9 D イメージシフト] のときに [D.SHIFT/KEYSTONE] ボタンを押すと右下の画面が表示されます。

リモコン



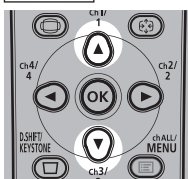
WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000 では、スクリーンアスペクトが [16:9D イメージシフト] のとき、また SX6000 では、スクリーンアスペクトが [16:10 D イメージシフト] のときに [MENU] ボタンを押し、[◀] [▶] ボタンで [設置設定] タブを選び、[▼] [▲] ボタンで [デジタルイメージシフト] を選びます。(P99)

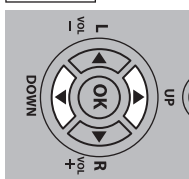
- 2** [▼] [▲] ボタンで映像の上下位置を調整します。

リモコン

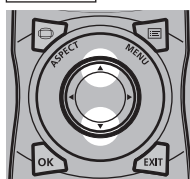


WUX5000 / WUX4000

本体



リモコン



WX6000 / SX6000

スクリーン

[▲] ボタン
上に移動します。



[▼] ボタン
下に移動します。



- 3** スクリーンに合わせたら、[OK] ボタンを押します。

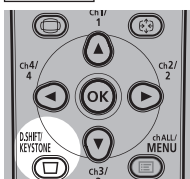
画面を調整する

4:3 D イメージシフト (WUX5000 / WUX4000 / WX6000) 時に映像を移動する

SX6000は、4 : 3 D イメージシフトが使えません。

- 1** WUX5000 / WUX4000 では、スクリーンアスペクトが [4:3 D イメージシフト] のときに [D.SHIFT/KEYSTONE] ボタンを押すと右下の画面が表示されます。

リモコン



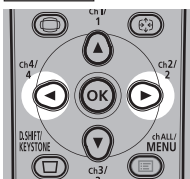
WUX5000 / WUX4000



WX6000 では、スクリーンアスペクトが [4:3 D イメージシフト] のときに [MENU] ボタンを押し、[◀] [▶] ボタンで [設置設定] タブを選び、[▼] [▲] ボタンで [デジタルイメージシフト] を選びます。(P99)

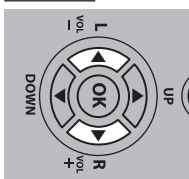
- 2** [◀] [▶] ボタンで映像の左右位置を調整します。

リモコン

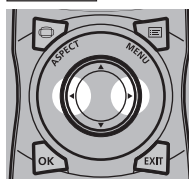


WUX5000 / WUX4000

本体



リモコン



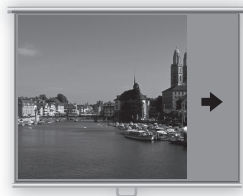
WX6000

スクリーン

[◀] ボタン
左に移動します。



[▶] ボタン
右に移動します。



- 3** スクリーンに合わせたら、[OK] ボタンを押します。

移動をリセットする

次の手順で、移動をリセットできます。

【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタン（WUX5000 / WUX4000）を2回押して[Dイメージシフトリセット]画面を表示させます。

次に【◀】ボタンで「はい」を選び、【OK】ボタンを押します。

■アスペクトを選ぶ

入力信号の種類、横縦比、解像度に合わせて「アスペクト」を選びます。

アスペクトについて詳しくは、195ページの「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

アスペクトの種類

オート

入力信号の横縦比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。

フル（WUX5000 / WUX4000）

入力信号の横縦比を16:10にして投写します。

横縦比が16:10の解像度（WUXGA、WSXGA+、WXGA+および1280×800のWXGA）のコンピューター画面をスクリーンいっぱいに投写するときに選んでください。

⚠ スクリーンアスペクトが16:10のときにのみ選択できます。

16:10（WX6000 / SX6000）

入力信号の横縦比を16:10にして投写します。

横縦比16:10の映像ソフトが「オート」で正しく投写できないときに選んでください。

16:9

入力信号の横縦比を16:9にして投写します。横縦比16:9の映像ソフトが「オート」で正しく投写できないときに選んでください。

4:3

入力信号の横縦比を4:3にして投写します。横縦比4:3の映像ソフトが「オート」で正しく投写できないときに選んでください。

ズーム

スクリーンアスペクトに合わせて画面の上下または左右をカットし、中央部分を拡大縮小して投写します。映像ソフトで上下に黒帯があるときに選んでください。

⚠ 入力信号や解像度により選択できない場合があります。

リアル

入力信号の解像度そのまま投写します。WUXGA以下の解像度のコンピューター画面をより鮮明に投写するときに選んでください。

⚠ 入力信号や解像度により選択できない場合があります。

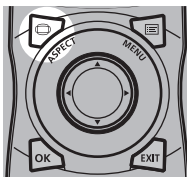
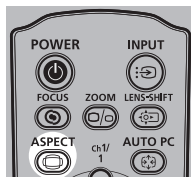
画面を調整する

アスペクトの選びかた

リモコンの【ASPECT】ボタンを押して選びます。【ASPECT】ボタンを押すたびに、アスペクトの種類が切り換わります。

アスペクトについて詳しくは、195 ページの「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

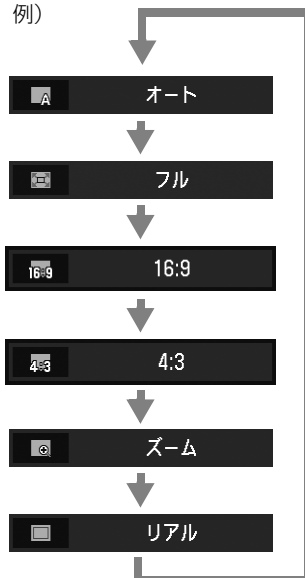
リモコン



WUX5000 / WUX4000

WX6000 / SX6000

例)



メニューの「アスペクト」からも選べます。(P85)



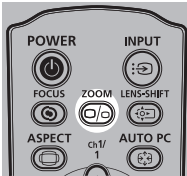
入力信号によっては、表示されないアスペクトの種類があります。

画面サイズを調整する

リモコンの【ZOOM】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで投写画面のサイズを調整することができます。調整しきれない場合は、本機の設置位置を変えてください。(P144)

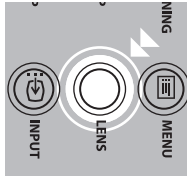
- 1** リモコンの【ZOOM】ボタンを押すか、本体の【LENS】ボタンを2回押すと、下の画面が表示されます。

リモコン

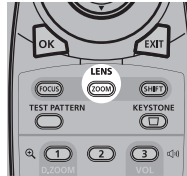


WUX5000 / WUX4000

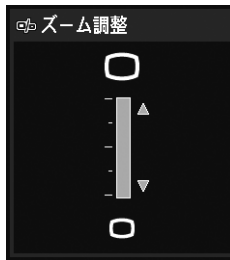
本体 2回押す



リモコン

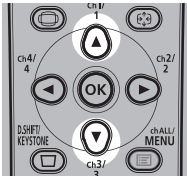


WX6000 / SX6000



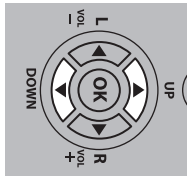
- 2** 方向ボタンで画面サイズを調整します。

リモコン

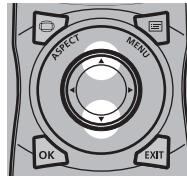


WUX5000 / WUX4000

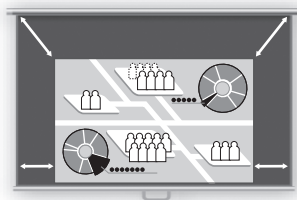
本体



リモコン



WX6000 / SX6000



スクリーン

リモコンの【▲】、本体のUPボタンで画面サイズを拡大します。
リモコンの【▼】、本体のDOWNボタンで画面サイズを縮小します。

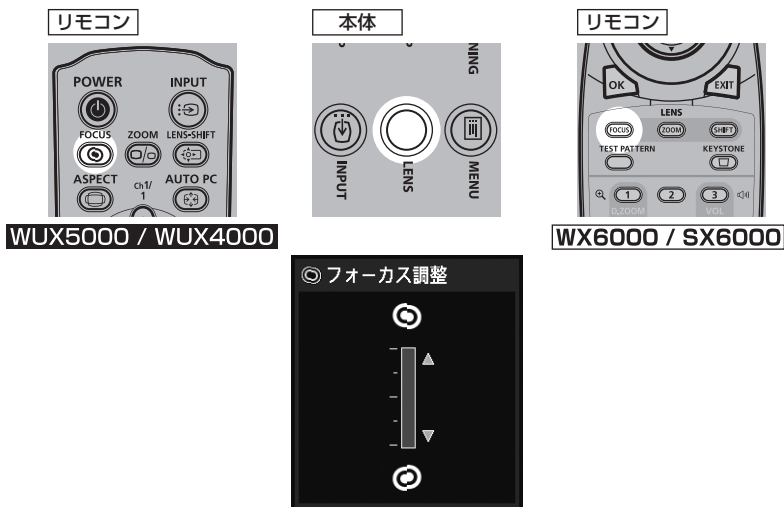
- 3** 画面サイズが決定したら【OK】ボタン、または【ZOOM】ボタンを押します。

⚠ 固定短焦点レンズ (RS-IL03WF) を装着の場合、ズーム調整はできません。

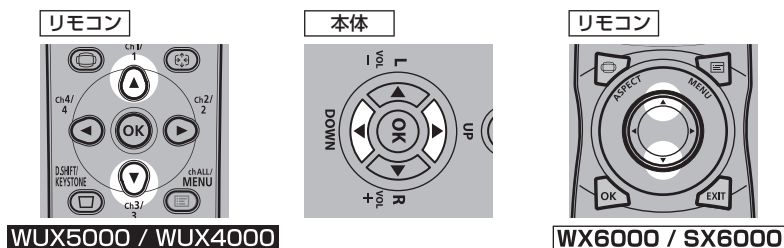
ピントを合わせる

リモコンの【FOCUS】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンでピント合わせができます。
レンズユニットごとの投写距離は、144ページの「画面サイズと投写距離の関係」を参照してください。

- 1 リモコンの【FOCUS】ボタンを押すか、本体の【LENS】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。



- 2 方向ボタンでピントを合わせます。



リモコンの【▲】、本体のUPボタンでピントの位置を調整します。
リモコンの【▼】、本体のDOWNボタンでピントの位置を微調整します。

- 3 ピントが合ったら【OK】ボタン、または【FOCUS】ボタンを押します。

画面の位置を調整する

リモコンの【LENS-SHIFT】ボタン（WUX5000 / WUX4000）、【SHIFT】ボタン（WX6000 / SX6000）または本体の【LENS】ボタンで画面の位置を上下左右に調整できます。これは、「レンズシフト」といい、レンズの位置を上下左右に移動させることで、投写画面を最適な位置に変えられる機能です。（P148）

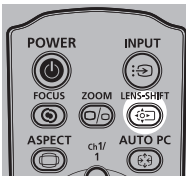


- レンズシフト量（画面サイズに対する移動量のパーセンテージ）の範囲は、使用するレンズユニットによって異なります。（P149）
- 固定短焦点レンズ（RS-IL03WF）では四隅に、それ以外のレンズは左上と右下に、レンズを移動できない領域があります。（P149）

1 リモコンの【LENS-SHIFT】ボタン（WUX5000 / WUX4000）または【SHIFT】ボタン（WX6000 / SX6000）を押すか、本体の【LENS】ボタンを 3 回押すと、下の画面が表示されます。

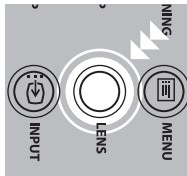
* 固定短焦点レンズ（RS-IL03WF）を装着の場合は、本体の【LENS】ボタンを 2 回押すと、下の画面が表示されます。

リモコン

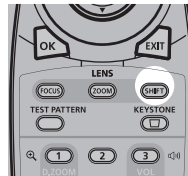


WUX5000 / WUX4000

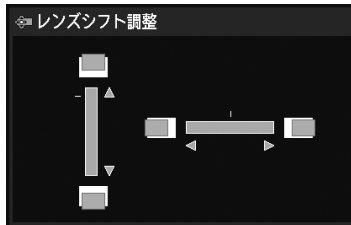
本体 3 回押す*



リモコン

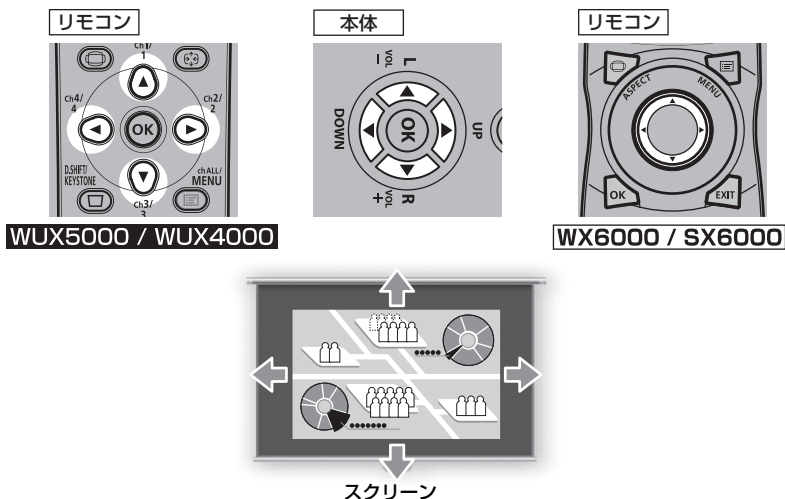


WX6000 / SX6000



画面を調整する

2 方向ボタンで調整します。



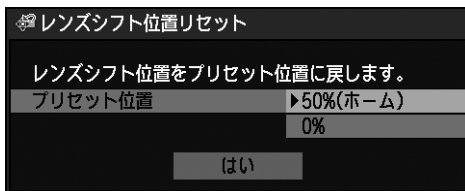
3 位置が決まったら【OK】ボタンを押します。

■位置をリセットする

レンズシフトで移動したレンズの位置は、電源を切っても戻りません。元に戻すには、リセットの操作を行ってください。

まず、画面位置の調整中にリモコンの【LENS-SHIFT】ボタン（WUX5000 / WUX4000）、【SHIFT】ボタン（WX6000 / SX6000）または本体の【LENS】ボタンを長押しして、[レンズシフト位置リセット] 画面を表示させます。

使用しているレンズに応じた選択肢が表示されるので、方向ボタンでいずれかを選んで【OK】ボタンを押します。



レンズユニットの種類	選択できる項目
標準ズームレンズ RS-IL01ST	
長焦点ズームレンズ RS-IL02LZ	50%（ホームポジション）： 上 50%、左右 0% 0%： 上下左右とも 0%
超長焦点ズームレンズ RS-IL04UL	
固定短焦点レンズ RS-IL03WF	0%（ホームポジション）： 上下左右とも 0%

台形ひずみを調整する

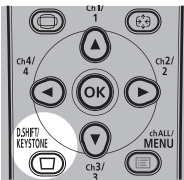
【D.SHIFT/KEystone】ボタン（WUX5000 / WUX4000）または【KEystone】ボタン（WX6000 / SX6000）で台形ひずみの補正ができます。



- 補正量は最大で約 $\pm 20^\circ$ です。補正しきれないときは、本機の設置位置をまっすぐにしてください。
- 補正の状態は記憶されます。設置場所が同じであれば調整し直す必要はありません。
- 補正時に信号がデジタル処理されるため、元の映像と見えかたが異なることがあります。また、画面の横縦比が変わることがあります。
- 台形ひずみの補正は、レンズシフト位置をホームポジションでご利用ください。ホームポジション以外では正しく補正できません。

1 【D.SHIFT/KEystone】ボタン（WUX5000 / WUX4000）または【KEystone】ボタン（WX6000 / SX6000）を押すと真ん中の画面が表示されます。

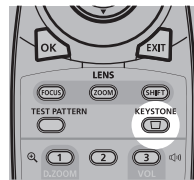
リモコン



WUX5000 / WUX4000



リモコン

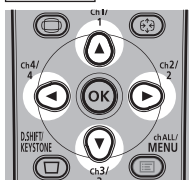


WX6000 / SX6000

画面を調整する

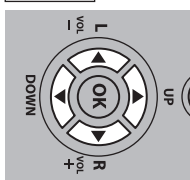
2 方向ボタンで調整します。

リモコン

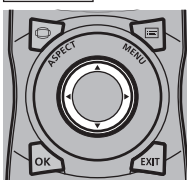


WUX5000 / WUX4000

本体



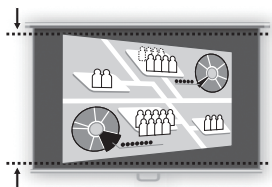
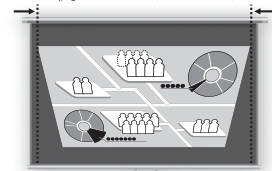
リモコン



WX6000 / SX6000

【▲】ボタン

上側がせまくなります。

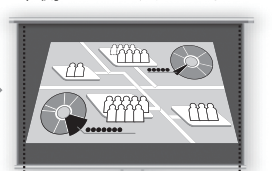


【▼】ボタン

下側がせまくなります。

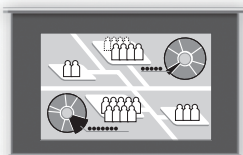
【▼】ボタン

下側がせまくなります。



【▶】ボタン

右側がせまくなります。



スクリーン

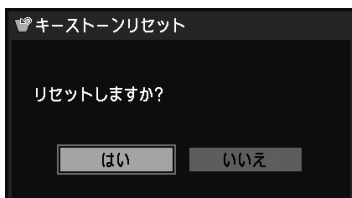
3 補正が終わったら、【OK】ボタンを押します。

■補正をリセットする

次の手順で、補正をリセットできます。

まず、【D.SHIFT/KEYSTONE】ボタン（WUX5000 / WUX4000）または【KEYSTONE】ボタン（WX6000 / SX6000）を2回押して「キーストーンリセット」画面を表示させます。

次に【◀】ボタンで「はい」を選び、【OK】ボタンを押します。



画質(イメージモード) を選ぶ

投写する映像の内容に合わせてイメージモード（画質）を選べます。
各イメージモードでは、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、色調整、高度な調整とランプモード（WUX4000）の設定ができます。（P100）

■イメージモードの種類

選択されている入力信号により、選択できるイメージモードは一部異なります。

イメージモード	対応する入力信号		説明
	デジタル PC アナログ PC (WUX5000 / WUX4000) アナログ PC-1、2 (WX6000 / SX6000) HDMI ([HDMI 入力] が [PC])	コンポーネント HDMI ([HDMI 入力] が [オート])	
スタンダード	○	○	やや明るい部屋でコンピューター画面 や映像ソフト（動画）の観賞などに適 しています。 白の色味を重視しています。
プレゼンテーション	○	—	やや明るい部屋で文字を中心とした画 像に適しています。
ダイナミック	—	○	やや明るい部屋で映像ソフト（動画）を 観賞するのに適しています。
ビビッド・フォト	○	—	やや暗い部屋の色鮮やかな画像の観賞 に適しています。 色の鮮やかさを重視しています。
フォト / sRGB	○	○	やや暗い部屋で s RGB 対応のデジタル カメラの画像などに適しています。 s RGB 規格に対応しています。
ビデオ	—	○	やや暗い部屋でビデオカメラでの撮影 した映像の観賞に適しています。
シネマ	—	○	暗い部屋で映像ソフト（動画）の観賞に 適しています。 シアターの雰囲気を楽しめます。
ユーザー 1 ～ 5	○ *	○ *	* ユーザー自身が画質の設定の組み合 わせを 5 種類までメモリに登録する ことができます。（P101）保存した 設定は、イメージモードとしてここで 選択できます。

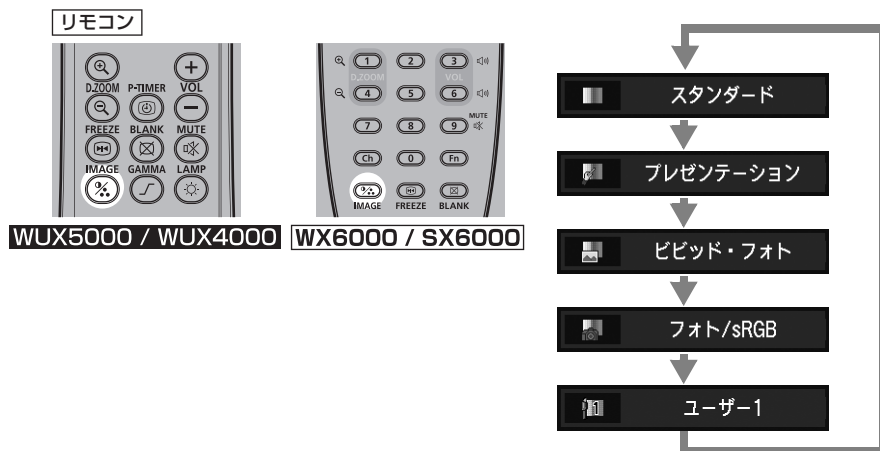
○：対応 —：非対応

画質（イメージモード）を選ぶ

■イメージモードの選びかた

リモコンの【IMAGE】ボタンを押して選びます。

【IMAGE】ボタンを押すたびに、イメージモードの種類が切り換わります（表示されるイメージモードの種類は、選択されている入力信号により異なります）。



メニューの［イメージモード設定］からも選べます。（P100）

- ユーザー1～5は、イメージ調整メニューのユーザーメモリ作成で好みの画面設定を保存したときに表示されます（P101）

本機の電源を切る

1 【POWER】 ボタンを押すと、下の画面が表示されます。

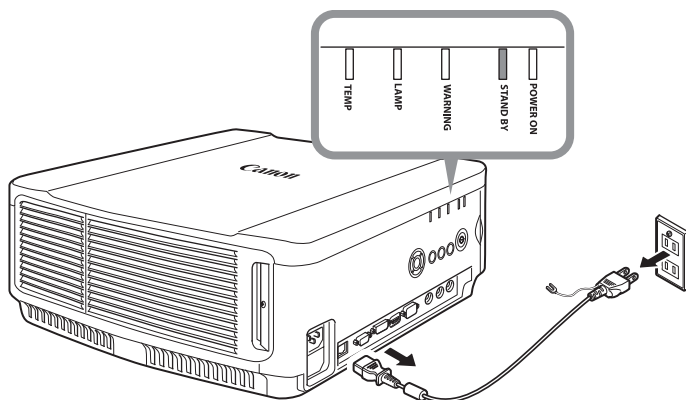


画面の表示中に、もう一度【POWER】 ボタンを押すと電源が切れます。
ランプが消え、[STAND BY] インジケーターが赤く点滅してランプの冷却が始まります。

- ❗ 冷却中は、電源を入れることができません。
- 電源を切らずになお投写を続ける場合は、【POWER】以外のボタンを押すか、メッセージが消えるまで待ってください。
- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。
- 連続使用は、ランプおよび内部光学部品の寿命を縮める原因になります。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

電源プラグが接続されたままの場合、冷却完了後は[STAND BY] インジケーターが点滅から点灯に切り換わります。



プレゼンテーション で使える便利な機能

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

設置する

ネットワークに接続する

メンテナンス

付録

索引

使用
説明書

設置
説明書

付
録

プレゼンテーションで使える便利な機能

映像を一時的に消す

こんなときに便利

- プレゼンテーションを終えたとき
- 出席者の注意をスクリーンからそらすとき

リモコン



WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000

【BLANK】ボタンを押すと映像が消えます。
もう一度【BLANK】ボタンを押すと元の映像が表示されます。

- 映像を消している間の画面の状態を、メニューで設定できます。(P96)
- 映像が消えている間もランプは点灯しています。

映像を静止させる

こんなときに便利

- コンピューターを隠れて操作するとき
- 変化する映像を途中で止めて見せたいとき

リモコン

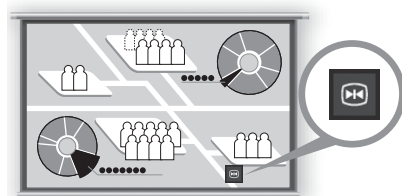


WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000

【FREEZE】ボタンを押すと映像が静止し、画面に次のアイコンが表示されます。



スクリーン

もう一度【FREEZE】ボタンを押すと元の映像に戻ります。

- 入力信号がなくなると解除されます。

音量を調節する

こんなときに便利

- ・ 本機または外部スピーカーの音量を調整したいとき

リモコン



WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000

【VOL】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。



- ・ 本体の【◀】【▶】ボタンでも音量が調整できます。
- ・ 音が出ないときは、コンピューター側の音量調整やミュートなどの設定を確認してください。
- ・ 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音量も調整できます。



WX6000 / SX6000 では、音声入力端子選択画面 (P126) で音声入力端子の設定によっても音声が出力されない場合があります。

音声を一時的に消す

こんなときに便利

- ・ 一時的に不要な音声を消したいとき
- ・ 急いで音声を消したいとき

リモコン

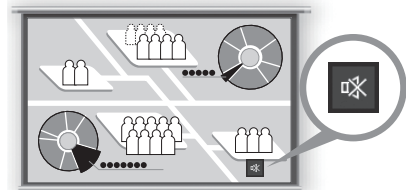


WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000

【MUTE】ボタンを押すと音声が消え、下のアイコンが表示されます。



スクリーン

もう一度【MUTE】ボタンを押すと元の音量に戻ります。

- ・ 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音声も消えます。

映像を拡大する

こんなときに便利

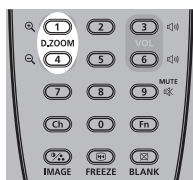
- 細かいグラフなどを大きく見せたいとき（最大12倍）
- 説明箇所を強調したいとき

【D.ZOOM】 ボタンの+を押すと映像の一部が拡大され、-を押すと映像が縮小されます。

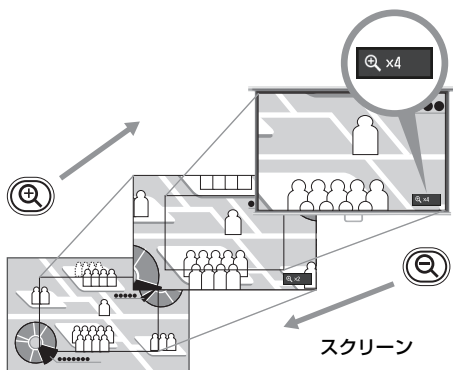
リモコン



WUX5000 / WUX4000



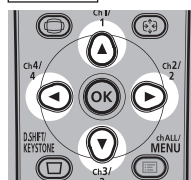
WX6000 / SX6000



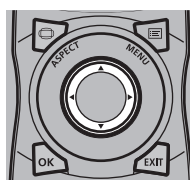
- 画面に拡大率が表示されます。

拡大する場所は【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで移動できます。

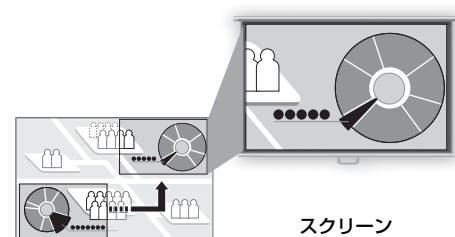
リモコン



WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000



スクリーン

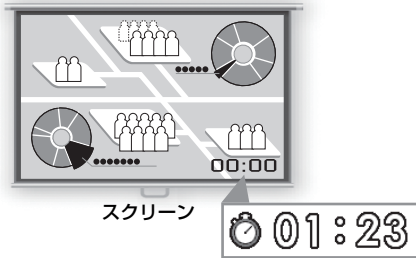
【OK】 ボタンを押すと元の大きさに戻ります。

経過時間を表示する

WUX5000 / WUX4000

こんなときに便利

- ・プレゼンテーションの進み具合を把握するとき



【P-TIMER】 ボタンを押すとカウントが開始されます。

- ・画面の右下に経過時間が表示されます。
- ・59分59秒までカウントされます。その後カウントの表示は 00:00 に戻ります。

リモコン



もう一度【P-TIMER】 ボタンを押すと、カウントが停止します。

- ・カウント停止中に【P-TIMER】 ボタンを押すと、経過時間の表示が消えます。その後で【P-TIMER】 ボタンを押すと、00:00 からカウントが開始されます。

メニューによる機能 設定

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

設置する

ネットワークに接続する

メンテナンス

付録

索引

使用
説明
書

設
置
説
明
書

付
録

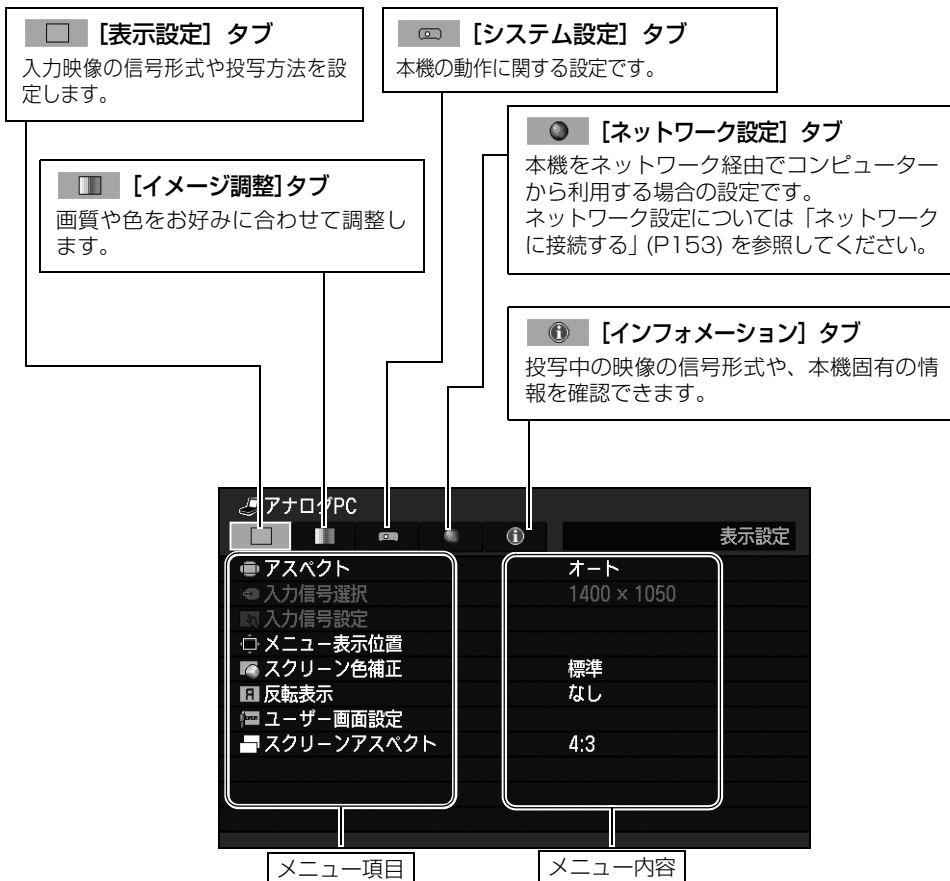
メニューの使いかた

メニュー（MENU）で本機の動作をきめ細かく設定できます。

■メニューの構成

WUX5000 / WUX4000

メニュー画面は、次の5つのタブに分かれています。



項目が表示される入力信号の種類

入力信号の種類によって、表示される項目が異なります。

各項目の説明では、その項目が表示される入力信号の種類を次のように表記しています。

- 項目が表示される入力信号
- 項目が表示されない入力信号



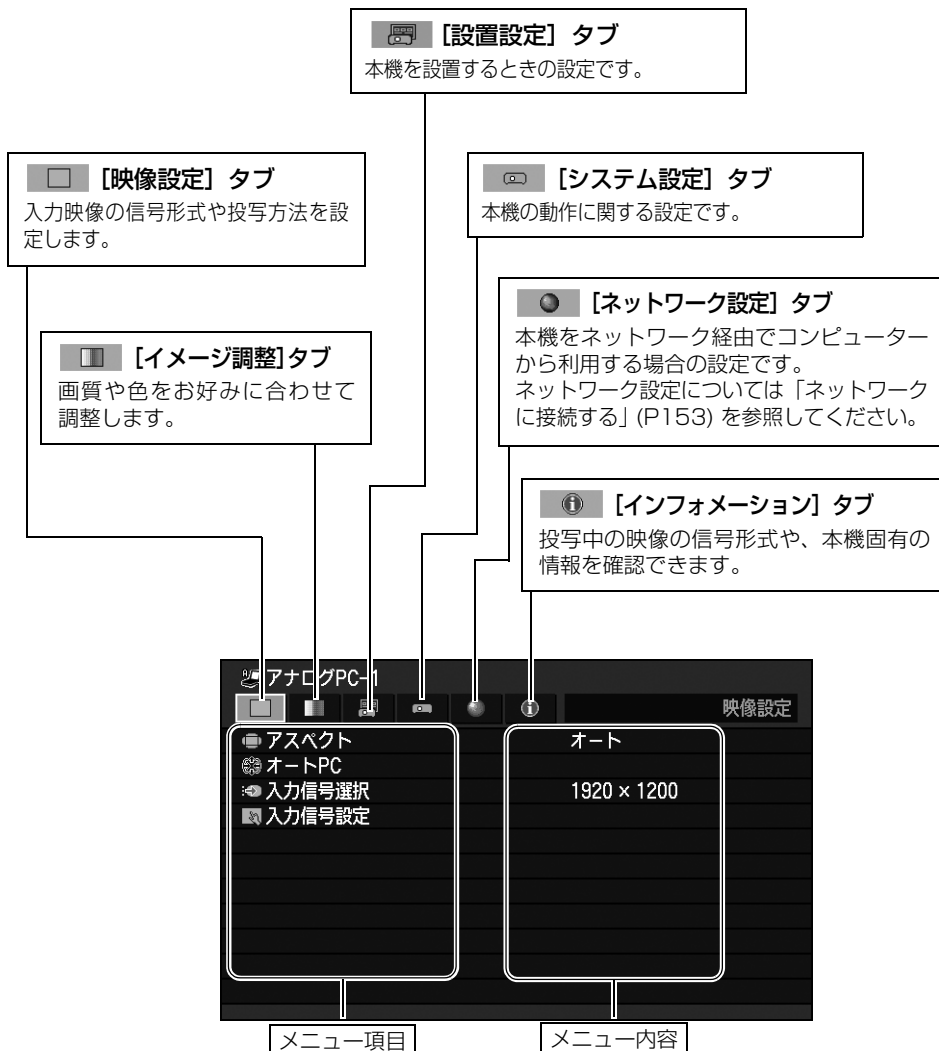
HDMI
デジタル PC



コンポーネント
アナログ PC

WX6000 / SX6000

メニュー画面は、次の6つのタブに分かれています。

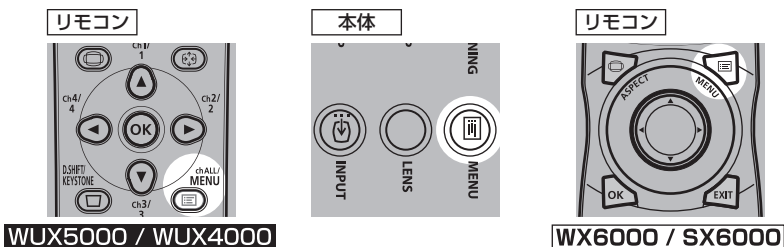


メニューの使いかた

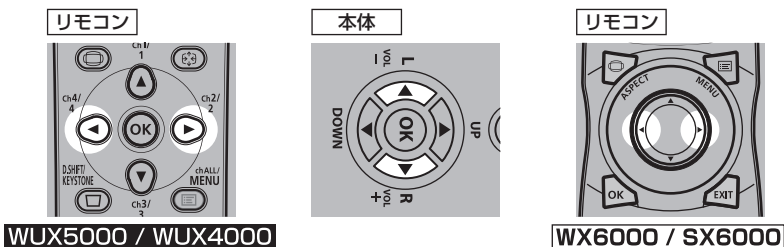
■メニューの基本操作

ここでは、WUX5000の画面を使用します。

1 【MENU】 ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。



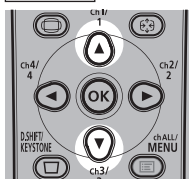
2 【◀】 【▶】 ボタンでタブを選びます。



- オレンジの表示がタブ位置にない場合は、【▲】 【▼】 ボタンで一番上に移動させます。

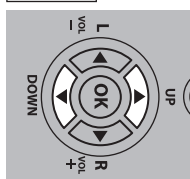
3 【▲】【▼】ボタンで項目を選びます。

リモコン

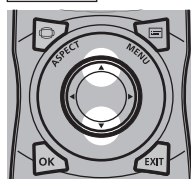


WUX5000 / WUX4000

本体



リモコン



WX6000 / SX6000



メニューの使いかた

4 内容を選びます。

項目により内容の選び方が異なります。

リストから選ぶ 例：アスペクト



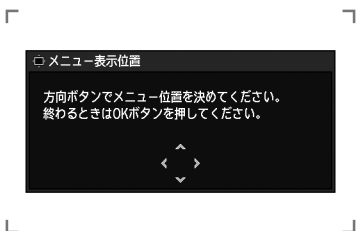
1. アスペクトを選びます。
2. 【OK】 ボタンまたは【▶】 ボタンを押すと内容のリストが表示されます。
3. 【▲】 【▼】 ボタンで内容を選びます。
4. 決まったら【OK】 または【▶】 ボタンを押します。

【◀】 【▶】 ボタンで調整する 例：コントラスト



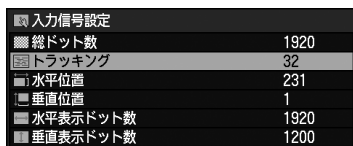
1. コントラストを選びます。
2. 【◀】 【▶】 ボタンで調整量を変えます。

別画面を表示させて選ぶ (1) 例：メニュー表示位置



1. メニュー表示位置を選びます。
2. 【OK】 ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. 画面のメッセージに従って操作します。

別画面を表示させて選ぶ (2) 例：トラッキング



1. 入力信号設定を選びます。
2. トラッキングを選びます。
3. 【OK】 ボタンを押すと別画面が表示されます。
4. 【▲】 【▼】 ボタンで内容を選び、【◀】 【▶】 ボタンで数値を選びます。
5. 決まったら【OK】 ボタンを押します。

5 【MENU】 ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押しても、メニュー画面が消えます。

表示状態を設定する

映像の投写モードを選ぶ

[アスペクト]

- ☐ HDMI
- ☐ コンポーネント
- ☐ デジタル PC
- ☐ アナログ PC

映像の横縦比に合わせてアスペクトを設定します。(P61)

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [アスペクト]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [映像設定] > [アスペクト]



- ・スクリーンアスペクトや入力信号の種類により、表示される内容が異なります。
- ・リモコンの【ASPECT】ボタンでも切り換えができます。

オート 入力信号の横縦比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。

フル (WUX5000 / WUX4000)

入力信号の横縦比を 16:10 にして投写します。
横縦比が 16:10 の解像度 (WUXGA、WSXGA+、WXGA+ および 1280 × 800 の WXGA) のコンピューター画面をスクリーンいっぱい投写するときに選んでください。

❗ スクリーンアスペクトが 16:10 のときにのみ選択できます。

16:10 (WX6000 / SX6000)

入力信号の横縦比を 16:10 にして投写します。

16:9 入力信号の横縦比を 16:9 にして投写します。横縦比 16:9 の映像ソフトが [オート] で正しく投写できないときに選んでください。

4:3 入力信号の横縦比を 4:3 にして投写します。横縦比 4:3 の映像ソフトが [オート] で正しく投写できないときに選んでください。

ズーム スクリーンアスペクトに合わせて画面の上下または左右をカットし、中央部分を拡大縮小して投写します。映像ソフトで上下に黒帯があるときに選んでください。

❗ 入力信号や解像度により選択できない場合があります。

リアル 入力信号の解像度そのまま投写します。WUX5000 / WUX4000 は WUXGA 以下、WX6000 は WXGA+ 以下、SX6000 は SXGA+ 以下の解像度のコンピューター画面をより鮮明に投写するときに選んでください。

❗ 入力信号や解像度により選択できない場合があります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

表示状態を設定する

表示の自動調整

[オート PC]

- | | |
|-----------|-----------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | ○ アナログ PC |

表示位置のずれや画面のちらつきを自動的に調整します。調整結果は記憶されます。

WX6000 / SX6000

[MENU] > [映像設定] > [オート PC]



[OK] ボタンを押して確定し、[MENU] ボタンまたは [EXIT] ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。



[AUTO PC] での調整が不十分なときは、次の操作を行ってください。

- [入力信号選択] からコンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。(P86)
- 上記の操作でも調整が不十分なときは、[入力信号設定] から、[総ドット数]、[トラッキング]、[水平 / 垂直位置]、[水平 / 垂直表示ドット数] を調整してください。(P87 ~ P90)
- 本機が対応している信号形式については、206 ページの表を参照してください。

入力信号の形式を選ぶ (アナログ PC)

[入力信号選択]

- | | |
|-----------|-----------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | ○ アナログ PC |

コンピューターの映像がオート PC 機能 (P54) で正しく投写されないときに、解像度を選びます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [入力信号選択]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [映像設定] > [入力信号選択]



[OK] ボタンを押して確定し、[MENU] ボタンまたは [EXIT] ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

コンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。

- 本機が対応している信号形式については、206 ページの表を参照してください。

入力信号の形式を選ぶ (コンポーネント)

[入力信号選択]

- | | |
|-----------|-----------|
| — HDMI | ○ コンポーネント |
| — デジタル PC | — アナログ PC |

AV 機器の映像が正しく投写されないときにコンポーネント信号の形式を選びます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [入力信号選択]



【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 工場出荷時は [オート] です。
- 接続する AV 機器の取扱説明書で、コンポーネント信号の形式を確認してください。

入力信号の形式の調整 (アナログ PC) 総ドット数

[総ドット数]

- | | |
|-----------|-----------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | ○ アナログ PC |

水平期間の総ドット数を調整します。
画面に縞模様が現れるときなどに調整します。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [入力信号設定] > [総ドット数]

WX6000 / SX6000

[MENU] > [映像設定] > [入力信号設定] > [総ドット数]

入力信号設定	
総ドット数	1920
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1920
垂直表示ドット数	1200

【◀】 【▶】 ボタンで数値を選びます。

調整が終わったら【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 【AUTO PC】 (P54) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

表示状態を設定する

入力信号の形式の調整 (アナログ PC)トラッキング

[トラッキング]

- | | |
|-----------|-----------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | ○ アナログ PC |

映像信号から画面を構成するタイミングを微調整します。

画面がくすれたり、ちらつくときに調整します。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > **[表示設定]** > **[入力信号設定]** > **[トラッキング]**

WX6000 / SX6000

[MENU] > **[映像設定]** > **[入力信号設定]** > **[トラッキング]**

入力信号設定	
総ドット数	1920
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1920
垂直表示ドット数	1200

[◀] **[▶]** ボタンで数値を選びます。

調整が終わったら **[OK]** ボタンを押して確定し、**[MENU]** ボタンまたは **[EXIT]** ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- **[AUTO PC]** (P54) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

入力信号の形式の調整 (アナログ PC)水平位置

[水平位置]

- | | |
|-----------|-----------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | ○ アナログ PC |

画面が左右にずれて表示されるときに、水平位置を調整します。

WUX5000 / WUX4000

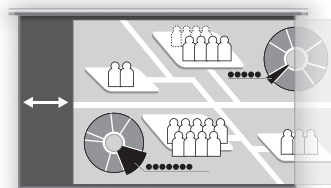
[MENU] > **[表示設定]** > **[入力信号設定]** > **[水平位置]**

WX6000 / SX6000

[MENU] > **[映像設定]** > **[入力信号設定]** > **[水平位置]**

入力信号設定	
総ドット数	1920
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1920
垂直表示ドット数	1200

[◀] **[▶]** ボタンで数値を選びます。数値が増えるほど画面が左に移動します。



スクリーン

調整が終わったら **[OK]** ボタンを押して確定し、**[MENU]** ボタンまたは **[EXIT]** ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- **[AUTO PC]** (P54) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

入力信号の形式の調整 (アナログ PC) 垂直位置

[垂直位置]

- | | |
|-----------|-----------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | ○ アナログ PC |

画面が上下にずれて表示されるときに、垂直位置を調整します。

WUX5000 / WUX4000

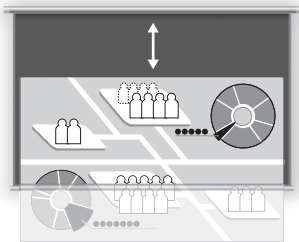
[MENU] > [表示設定] > [入力信号設定] > [垂直位置]

WX6000 / SX6000

[MENU] > [映像設定] > [入力信号設定] > [垂直位置]

入力信号設定	
総ドット数	1920
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1920
垂直表示ドット数	1200

【◀】 【▶】 ボタンで数値を選びます。数値が増えるほど画面が上に移動します。



スクリーン

調整が終わったら【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- [AUTO PC] (P54) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

入力信号の形式の調整 (アナログ PC) 水平表示ドット数

[水平表示ドット数]

- | | |
|-----------|-----------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | ○ アナログ PC |

画面が左右に広いまたは狭いときに、水平方向のドット数を調整します。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [入力信号設定] >

[水平表示ドット数]

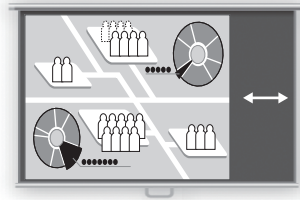
WX6000 / SX6000

[MENU] > [映像設定] > [入力信号設定] >

[水平表示ドット数]

入力信号設定	
総ドット数	1920
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1920
垂直表示ドット数	1200

【◀】 【▶】 ボタンで数値を選びます。



スクリーン

調整が終わったら【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- [AUTO PC] (P54) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

表示状態を設定する

入力信号の形式の調整 (アナログ PC) 垂直表示ドット数

【垂直表示ドット数】

— HDMI	— コンポーネント
— デジタル PC	○ アナログ PC

画面が上下に広いまたは狭いときに、垂直方向のドット数を調整します。

WUX5000 / WUX4000

【MENU】 > 【表示設定】 > 【入力信号設定】 >

【垂直表示ドット数】

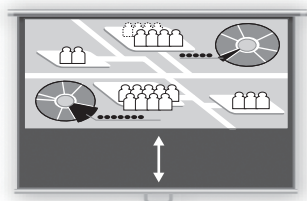
WX6000 / SX6000

【MENU】 > 【映像設定】 > 【入力信号設定】 >

【垂直表示ドット数】

入力信号設定	
総ドット数	1920
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1920
垂直表示ドット数	1200

【◀】 【▶】 ボタンで数値を選びます。



スクリーン

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- 【AUTO PC】(P54) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

HDMI 入力レベル

【HDMI 入力レベル】

- HDMI
- コンポーネント
- デジタル PC
- アナログ PC

映像ソフトを HDMI 信号で投写するときに、必要に応じて選びます。

WUX5000 / WUX4000

【MENU】 > 【表示設定】 > 【HDMI 入力レベル】

HDMI	
表示設定	
アスペクト	オート
HDMI 入力レベル	オート
HDMI カラーフォーマット	標準
HDMI オーバースキャン	拡張
プログレッシブ	
メニュー表示位置	
スクリーン色補正	標準
反転表示	なし
ユーザー画面設定	
スクリーンアスペクト	4:3

WX6000 / SX6000

【MENU】 > 【映像設定】 > 【HDMI 入力レベル】

HDMI	
映像設定	
アスペクト	オート
HDMI 入力レベル	オート
HDMI カラーフォーマット	標準
HDMI オーバースキャン	拡張
プログレッシブ	オート

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- 工場出荷時は【オート】です。
- AV 機器からの信号形式が RGB のときのみ選べます。
- 【オート】では信号レベルを自動的に選びます。(AV 機器によっては対応していないことがあります)
- AV 機器の HDMI 出力が「標準」「拡張」に切り換えられるときは、「拡張」に設定することをおすすめします。映像のコントラストが向上し、暗部がより忠実に表現されます。なおこの場合の【HDMI 入力レベル】は【オート】または【拡張】を選んでください。
詳しくは、接続する AV 機器の取扱説明書を参照してください。

HDMI カラーフォーマット

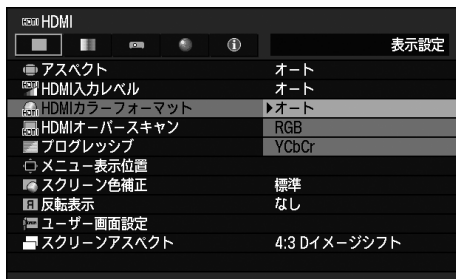
[HDMI カラーフォーマット]

- HDMI — コンポーネント
— デジタル PC — アナログ PC

HDMI 信号のカラーフォーマットを選びます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [HDMI カラーフォーマット]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [映像設定] > [HDMI カラーフォーマット]



オート	入力されたHDMI信号に応じて最適なカラーフォーマットを選びます。
RGB	強制的にRGB信号として扱います。
YCbCr	強制的に色差信号として扱います。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [オート] です。

HDMI オーバースキャン

[HDMI オーバースキャン]

- HDMI — コンポーネント
— デジタル PC — アナログ PC

映像ソフトを HDMI 信号で投写するときに、必要に応じて選びます。

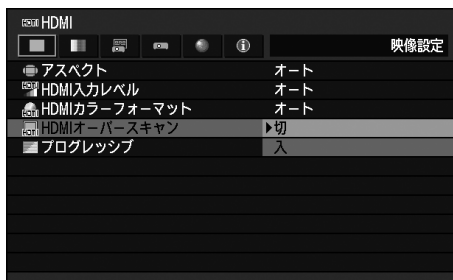
WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [HDMI オーバースキャン]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [映像設定] > [HDMI オーバースキャン]



切	入力信号全体 (100%) を投写します。映像がスクリーンより小さめに投写されることがあります。
入	映像周辺部の乱れを除去して投写します。(映像の中央 95% 部分を投写) 入力信号の解像度によっては映像周辺が一部切り取られることがあります。この場合は [切] にしてください。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [HDMI 入力] (P115) が [オート] のときは [入]、[PC] のときは [切] です。

表示状態を設定する

プログレッシブ処理

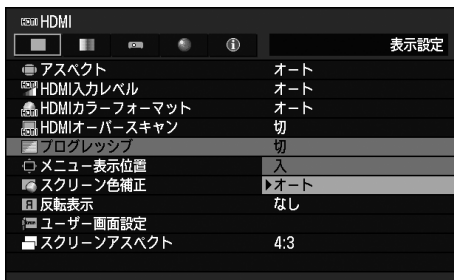
【プログレッシブ】

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| — デジタル PC | — アナログ PC |

映像の解像度が低いときに、必要に応じて選びます。

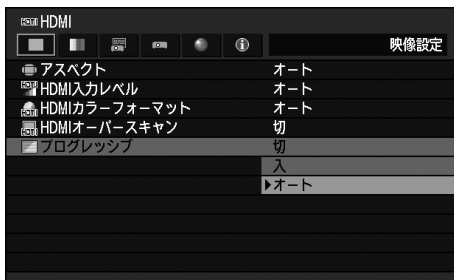
WUX5000 / WUX4000

【MENU】 > 【表示設定】 > 【プログレッシブ】



WX6000 / SX6000

【MENU】 > 【映像設定】 > 【プログレッシブ】



切	プログレッシブ処理を行いません。
入	プログレッシブ処理を行います。 HDMI 信号が 1080i のとき、またはコンポーネント信号が 1080i、1035i、576i、480i のときに使用できます。
オート	入力信号に応じて最適なプログレッシブ処理を行います。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- [HDMI 入力] (P115) が [PC] の場合は、入力信号が 1080i、1035i、576i、480i で、かつ入力信号のカラースペースが YCbCr422 のときのみ設定できます。
- 動きの多い映像で、ちらつきや横線が目立つときは [切] にしてください。

メニューの表示位置

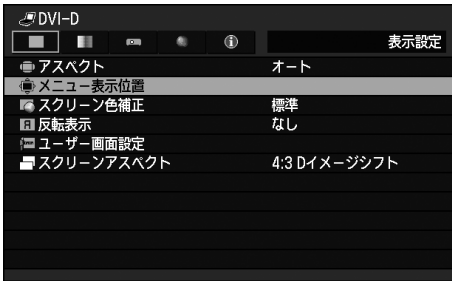
[メニュー表示位置]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

メニュー表示位置を変えることができます。

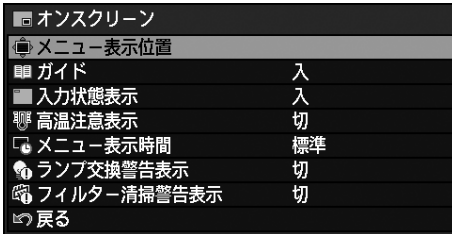
WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [メニュー表示位置]

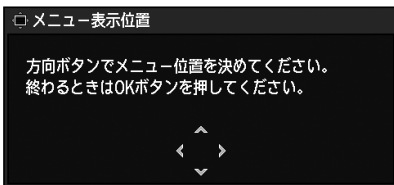


WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [オンスクリーン] > [メニュー表示位置]



【▲】【◀】【▼】【▶】ボタンでメニューの位置を移動します。



位置が決まったら【OK】ボタン、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

表示状態を設定する

スクリーンの色補正

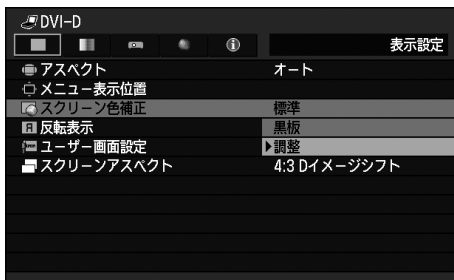
[スクリーン色補正]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

投写するスクリーンの色に応じて、投写する映像の色味を調整できます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [スクリーン色補正]



WX6000 / SX6000

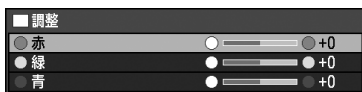
[MENU] > [設置設定] > [スクリーン色補正]



標準 標準的なスクリーンのときに選びます。自然光に近い色調で投写します。

黒板 黒板（濃緑色）をスクリーンにするとときに選びます。黒板上でも [標準] に近い色味になります。

調整 細かく調整するときに選びます。下の別画面が表示されます。



【▲】 【▼】 ボタンで色を選びます。

【▶】 選んだ色を濃くします。

【◀】 選んだ色を薄くします。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [標準] です。

映像の反転

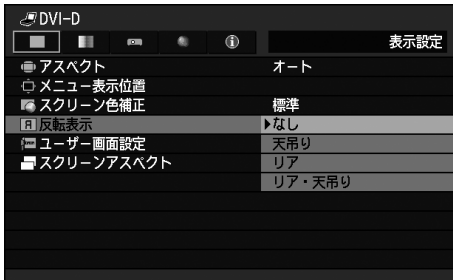
[反転表示]

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

天井から吊り下げて投写するときや、スクリーンの反対側から投写するときを選びます。

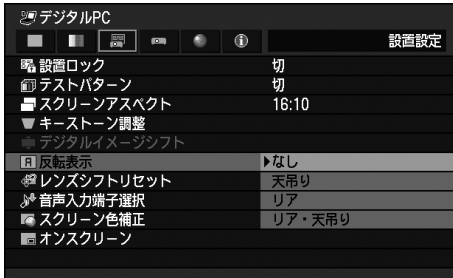
WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [反転表示]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [反転表示]

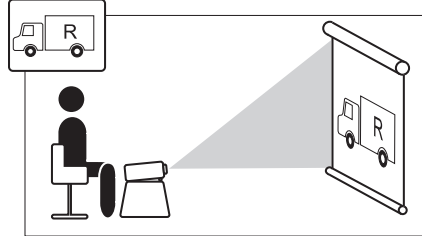


なし	通常の投写です。
天吊り	天井から逆さに吊り下げるときを選びます。 上下左右が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときを選びます。 左右が反転します。
リア・天吊り	天井から逆さに吊り下げてリア投写するときを選びます。 上下が反転します。

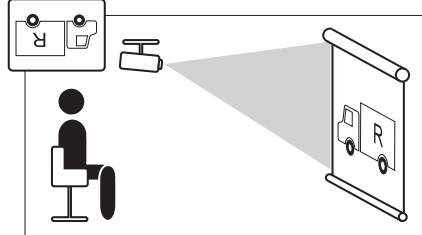
【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は「なし」です。

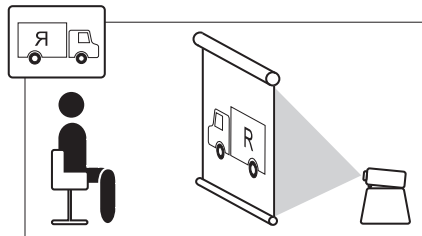
通常の投写（なし）



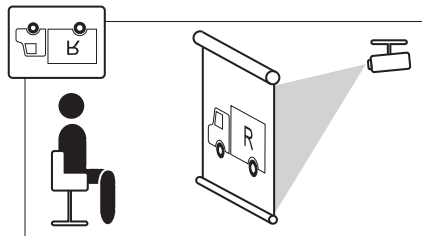
天吊り投写



リア投写



リア天吊り投写



- 天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具を使用します。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- 映像の反転操作を行うと、台形ひずみの補正はリセットされます。

無信号時の画面

[無信号時画面]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

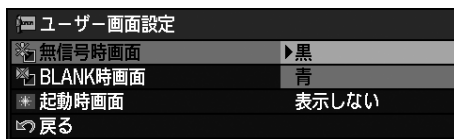
入力信号がないときに、画面を黒または青にします。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [ユーザー画面設定] > [無信号時画面]

WX6000 / SX6000

[MENU] > [システム設定] > [ユーザー画面設定] > [無信号時画面]



黒	黒画面になります。
青	青画面になります。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [青] です。

BLANK 時の画面

[BLANK 時画面]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

リモコンの【BLANK】 ボタンを押して画像を一時的に消したときに、画面を黒または青にします。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [ユーザー画面設定] > [BLANK 時画面]

WX6000 / SX6000

[MENU] > [システム設定] > [ユーザー画面設定] > [BLANK 時画面]



黒	黒画面になります。
青	青画面になります。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [黒] です。

電源を入れたときの画面

[起動時画面]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

電源を入れてから投写準備ができるまでの間の画面を選びます。

WUX5000 / WUX4000

【MENU】 > [表示設定] > [ユーザー画面設定] > [起動時画面]

WX6000 / SX6000

【MENU】 > [システム設定] > [ユーザー画面設定] > [起動時画面]

ユーザー画面設定	
無信号時画面	黒
BLANK時画面	黒
起動時画面	▶表示しない
戻る	Canonロゴ

表示しない	電源を入れるとすぐに入力信号が投写されます。
Canon ロゴ	あらかじめ登録されているキヤノンのロゴを表示します。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [Canon ロゴ] です。

表示状態を設定する

スクリーンの横縦比を選ぶ

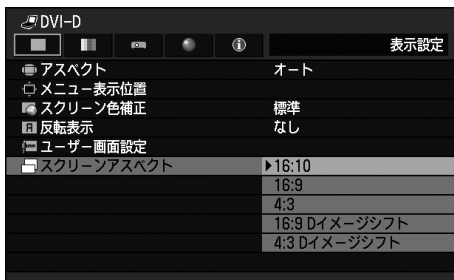
[スクリーンアスペクト]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

投写するスクリーンの横縦比に応じて選びます。(P55)

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [表示設定] > [スクリーンアスペクト]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [スクリーンアスペクト]



16 : 10	スクリーンの横縦比が16:10のときに選びます。
16 : 9	スクリーンの横縦比が 16 : 9 のときに選びます。
4 : 3	スクリーンの横縦比が 4 : 3 のときに選びます。
16 : 10 D イメージ シフト (SX6000)	スクリーンの横縦比が 16:10 のときに選びます。このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。映像の移動方法は59ページを参照してください。

16 : 9
D イメージ
シフト
スクリーンの横縦比が 16 : 9 のときに選びます。このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。映像の移動方法は59ページを参照してください。

4 : 3
D イメージ
シフト
スクリーンの横縦比が 4 : 3 のときに選びます。このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を左右方向に移動できます。映像の移動方法は60ページを参照してください。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は、WUX5000 / WUX4000 / WX6000は[16:10]、SX6000は[4:3]です。
- [16 : 9 D イメージシフト] または [4 : 3 D イメージシフト]、SX6000 では [16 : 10 D イメージシフト] を選ぶと台形ひずみの補正は解除されます。詳しくは 58 ページを参照してください。
- スクリーンアスペクトの種類によっては、アスペクトが自動的に [オート] に切り換わることがあります。

台形ひずみを調整する

[キーストーン調整]

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

台形ひずみの補正を行います。

WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [キーストーン調整]



[OK] ボタンか [▶] ボタンを押すと、キーストーン調整画面が表示されます。



[▲] [◀] [▼] [▶] ボタンで補正します。
補正が終わったら [OK] ボタンを押します。

- スクリーンアスペクトが 16:9D イメージシフト、16:10D イメージシフト、4:3D イメージシフトのときは選べません。
- リモコンの【KEYSTONE】ボタンでもキーストーン調整画面を表示することができます。(P67)

イメージシフトの調整

[デジタルイメージシフト]

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

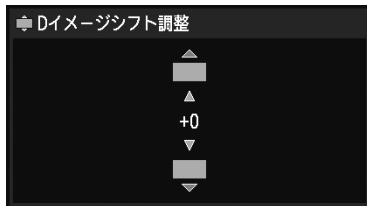
表示している映像の位置を移動します。

WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [デジタルイメージシフト]



[OK] ボタンか [▶] ボタンを押すと、Dイメージシフト調整画面が表示されます。



[▲] [▼] ボタンで補正します。
補正が終わったら [OK] ボタンを押します。

- スクリーンアスペクトが 16:9、16:10、4:3 のときは選べません。
- スクリーンアスペクトが 16:9D イメージシフト、16:10D イメージシフト (SX6000) のときは垂直方向、4:3D イメージシフト (WX6000) のときは水平方向の調整ができます。

画質を調整する

画質を選ぶ

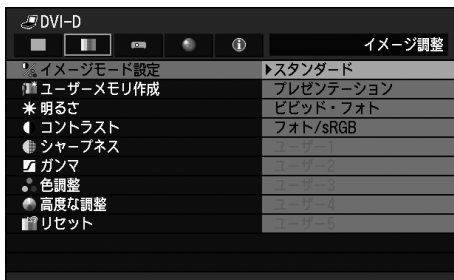
[イメージモード設定]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

投写する映像に適した画質（P69）を選びます。
リモコンの [IMAGE] ボタンでも選べます。（P70）

WUX5000 / WUX4000

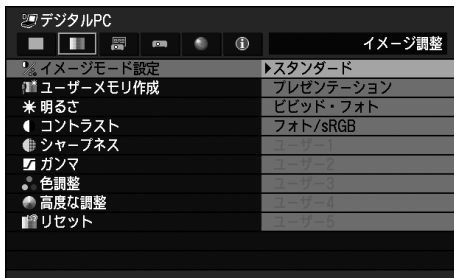
[MENU] > [イメージ調整] > [イメージモード設定]



(画面は WUX5000 です)

WX6000 / SX6000

[MENU] > [イメージ調整] > [イメージモード設定]



スタンダード やや明るい部屋でコンピューター画面や映像ソフト（動画）の観賞などに適しています。
白の色味を重視しています。

プレゼンテーション やや明るい部屋で文字を中心とした画像に適しています。

ダイナミック やや明るい部屋で映像ソフト（動画）を観賞するのに適しています。

ビビッド・フォト やや暗い部屋の色鮮やかな画像の観賞に適しています。
色の鮮やかさを重視しています。

フォト/sRGB やや暗い部屋で sRGB 対応のデジタルカメラの画像などを投写する場合に適しています。
sRGB 規格に対応しています。

ビデオ やや暗い部屋でビデオカメラでの撮影した映像の観賞に適しています。

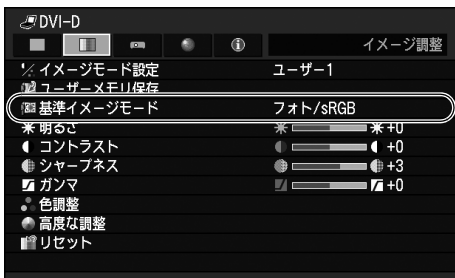
シネマ 暗い部屋で映像ソフト（動画）の観賞に適しています。
シアターの雰囲気を楽しめます。

ユーザー 1 ~ 5 ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを 5 種類までメモリ（ユーザーメモリ）に保存することができます。（P101）保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。

[OK] ボタンを押して確定し、[MENU] ボタンまたは [EXIT] ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

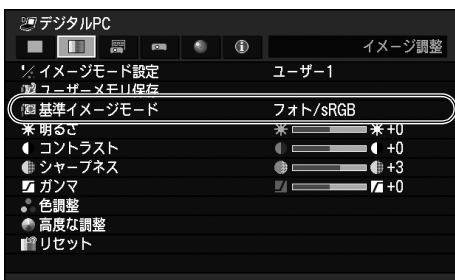
- 工場出荷時は [スタンダード] です。
- 各イメージモードの画質は、次の各項目が調整できます。
[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[色調整]、[高度な調整] の各項目、[ランプモード] (WUX4000)
- 調整内容は、入力信号とイメージモードの組み合わせごとに記憶されます。
- [ユーザーメモリ作成] で作成したユーザーメモリを選択すると、メニューに [標準イメージモード] が表示されます。これは、そのユーザーメモリを保存する際に基準となったイメージモードを表します。

WUX5000 / WUX4000



(画面は WUX5000 です)

WX6000 / SX6000



お好みの画質を保存する

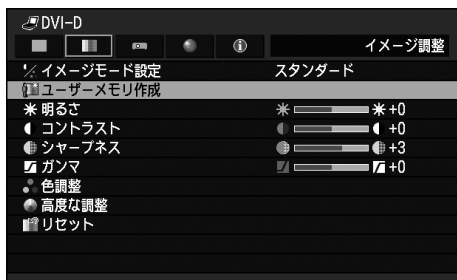
[ユーザーメモリ作成]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

画質の設定を 5 種類まで保存しておくことができます。保存した画質は、イメージモード設定で選ぶことができます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [イメージ調整] > [ユーザーメモリ作成]



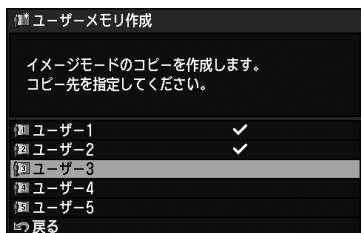
(画面は WUX5000 です)

WX6000 / SX6000

[MENU] > [イメージ調整] > [ユーザーメモリ作成]



[▲] [▼] ボタンで保存先を選びます（保存済みのメモリにはチェックマークが表示されています）。



保存先が決まったら【OK】ボタンを押して確定し、[戻る]を選択します。

- 保存される設定値は、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、色調整、高度な調整、ランプモード (WUX4000) です。
- 表示されるユーザーメモリの数は5個ですが、接続機器がコンピューター（アナログ PC、デジタル PC、HDMI（[HDMI 入力]（P115）が [PC] のとき）の場合と AV 機器（コンポーネント、HDMI（[HDMI 入力]（P115）が [オート] のとき）の場合とで別々に設定値を保存します。そのため、10 種類の設定値を保存できます。
- ユーザーメモリには、設定変更の元になったイメージモード名も一緒に保存されます。イメージモードでユーザーメモリが選択された場合は、元になったイメージモードが「基準イメージモード」としてメニューに表示されます。

画質を調整する

明るさの調整

[明るさ]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

映像の明るさが調整できます。

WUX5000 / WUX4000

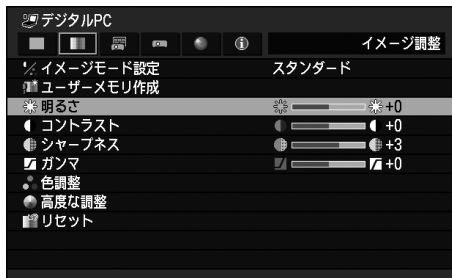
[MENU] > [イメージ調整] > [明るさ]



(画面は WUX5000 です)

WX6000 / SX6000

[MENU] > [イメージ調整] > [明るさ]



[▶] 映像が明るくなります。

[◀] 映像が暗くなります。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

コントラストの調整

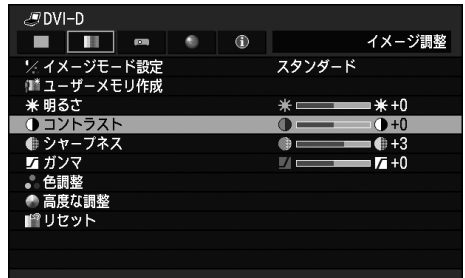
[コントラスト]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

映像のコントラストが調整できます。
明るい部分と暗い部分の差を調整し、メリハリのある映像や、目にやさしい映像に調整できます。

WUX5000 / WUX4000

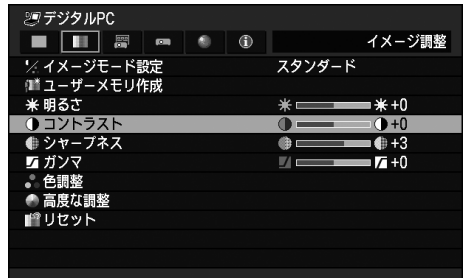
[MENU] > [イメージ調整] > [コントラスト]



(画面は WUX5000 です)

WX6000 / SX6000

[MENU] > [イメージ調整] > [コントラスト]



[▶] コントラストを上げます。映像が暗い部分と明るい部分の差がはっきりします。

[◀] コントラストを下げます。映像が淡くなります。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

シャープネスの調整

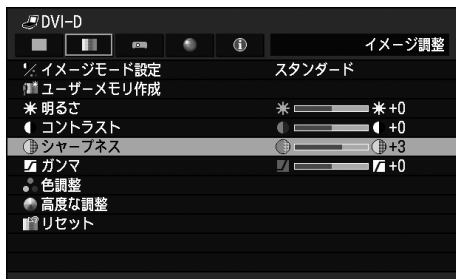
[シャープネス]

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

映像の鮮明度を調整できます。

WUX5000 / WUX4000

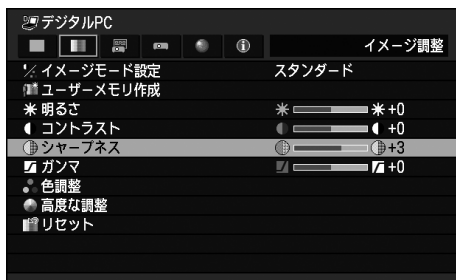
[MENU] > [イメージ調整] > [シャープネス]



(画面は WUX5000 です)

WX6000 / SX6000

[MENU] > [イメージ調整] > [シャープネス]



[▶] 映像が鮮明になります。

[◀] 映像がぼやけます。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- ・ 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

ガンマ補正

[ガンマ]

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

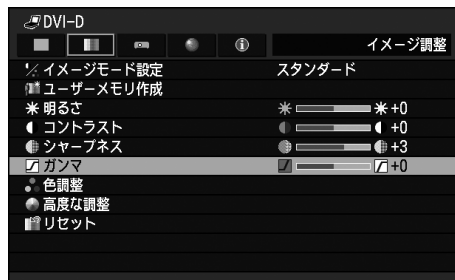
映像が暗くて見えにくい、または明るくて見えにくい部分が補正できます。

WUX5000 / WUX4000はリモコンの

[GAMMA] ボタンで補正することもできます。

WUX5000 / WUX4000

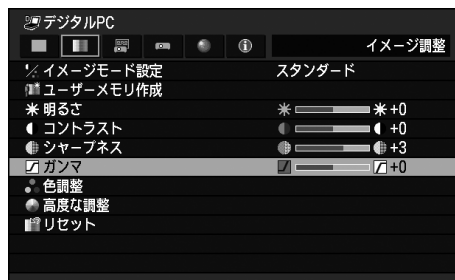
[MENU] > [イメージ調整] > [ガンマ]



(画面は WUX5000 です)

WX6000 / SX6000

[MENU] > [イメージ調整] > [ガンマ]



[▶] 暗くて見えにくい部分が見えるように補正されます。

[◀] 明るくて見えにくい部分が見えるように補正されます。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- ・ 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- ・ ガンマ詳細調整 (P107) により、より詳細な調整を行うことができます。

画質を調整する

色の調整

[色調整]

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

映像の色の濃さ、色合いなどを赤、緑、青の各色ごとに調整できます。また色温度を調整することができます。

[MENU] > [イメージ調整] > [色調整]



色の濃さ	色の濃さを調整します。 【▶】 色が濃くなります。 【◀】 色が淡くなります。
色合い	紫がかった映像、緑がかった映像の色合いを調整します。 【▶】 紫がかった映像が補正されます。 【◀】 緑がかった映像が補正されます。
色温度	色味を調整します。 【▶】 青味がかった色になります。(寒色系) 【◀】 赤味がかった色になります。(暖色系)
赤 / 緑 / 青 ゲイン	赤、緑、青の色味の強さを調整します。 【▶】 色味が強くなります。 【◀】 色味が弱くなります。
赤 / 緑 / 青 オフセット	赤、緑、青の色の暗い部分の色再現を調整します。 【▶】 再現性が高くなります。 【◀】 再現性が弱くなります。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、[MENU] ボタンまたは [EXIT] ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

アンビエントライト (環境光にあわせた調整)

[アンビエントライト]

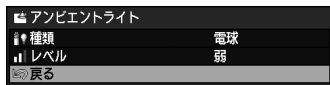
- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

スクリーン上に届く環境光に対し、より好ましく補正した映像を投写します。

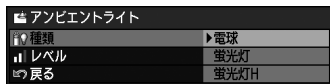
[MENU] > [イメージ調整] > [高度な調整] > [アンビエントライト]



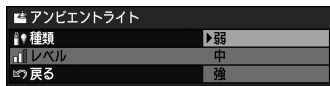
切	調整せずに投写します。
調整	環境光の種類とレベル (明るさ) を設定します。



種類	電球	環境光が電球、または電球色蛍光灯の場合に選びます。
	蛍光灯	環境光が昼白色蛍光灯の場合に選びます。
	蛍光灯 H	環境光が昼光色蛍光灯の場合に選びます。



レベル	弱	環境光が暗い場合に選びます。
	中	環境光が通常の場合に選びます。
	強	環境光が明るい場合に選びます。



アンビエントライトのレベルの設定例

レベル	場所の目安
弱	映写室、スポーツバーなど
中	写真スタジオ、ギャラリー
強	会議室、教室

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [切] です。
- [アンビエントライト] は、以下のイメージモードでのみ設定できます。
 - HDMI ([HDMI 入力] が [オート] のとき)、コンポーネントの場合：
 - ビデオ、シネマ、フォト / sRGB
 - HDMI ([HDMI 入力] が [PC] のとき)、デジタル PC、アナログ PC の場合：
 - フォト / sRGB

ノイズリダクション

[ノイズリダクション]

- HDMI ○ コンポーネント
— デジタル PC — アナログ PC

映像のノイズを低減できます。

【MENU】 > 【イメージ調整】 > 【高度な調整】 > 【ノイズリダクション】

● 高度な調整	
アンビエントライト	切
ノイズリダクション	▶ 切
ダイナミックガンマ	弱
記憶色補正	中
色軸調整	強
ガンマ詳細調整	
戻る	

切	ノイズリダクションを行いません。
弱	
中	ノイズリダクションの強度を3段階で指定します。
強	

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は、HDMI ([HDMI 入力] (P115) が [オート] のとき) の場合は「切」、コンポーネントの場合は「弱」です。
- ノイズリダクションを行うと、動きの早い映像では残像が生じることがあります。
- 動きの早い映像のときは [弱] を、動きの遅い映像のときは [強] を選んでください。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。
- [HDMI 入力] (P115) が [PC] の場合、非表示となります。

ダイナミックガンマ

[ダイナミックガンマ]

- HDMI ○ コンポーネント
○ デジタル PC ○ アナログ PC

明るいとところと暗いところの階調表現が自動的に改善されます。

【MENU】 > [イメージ調整] > [高度な調整] > [ダイナミックガンマ]



切	ダイナミックガンマを使用しません。
弱	
中	ダイナミックガンマを3段階で指定します。
強	

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は、接続機器がコンピューター（アナログ PC、デジタル PC、HDMI（[HDMI 入力] (P115) が [PC] のとき））の場合は [切]、AV 機器（コンポーネント、HDMI（[HDMI 入力] (P115) が [オート] のとき））の場合は [弱] です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

記憶色補正

[記憶色補正]

- HDMI ○ コンポーネント
○ デジタル PC ○ アナログ PC

肌色や青を、人の記憶のイメージに合わせて美しく表現します。

【MENU】 > [イメージ調整] > [高度な調整] > [記憶色補正]



切	記憶色補正を行いません。
弱	
中	記憶色補正を3段階で指定します。
強	

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は以下の通りです。
 - HDMI（[HDMI 入力] (P115) が [PC] のとき）、デジタル PC、アナログ PC の場合で、イメージモードが [ビビッド・フォト] 以外のときは [切]、イメージモードが [ビビッド・フォト] のときは [中] です。
 - HDMI（[HDMI 入力] (P115) が [オート] のとき）、コンポーネントの場合は、イメージモードによらず「弱」です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

6 軸色調整(きめ細かい色調整)

[6 軸色調整]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

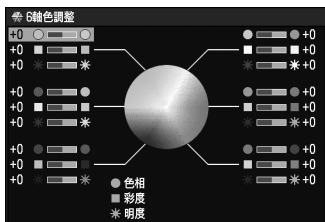
映像の色味を RGB (赤、緑、青) および CMY (シアン、マゼンタ、イエロー) できめ細かく調整します。

[MENU] > [イメージ調整] > [高度な調整] > [6 軸色調整]



切 6 軸色調整を行いません。
[調整] を選ぶと、以前の設定内容に戻ります。

調整 6 軸色調整を行います。



【▲】【▼】ボタンで「○色相(色合い)」、「□彩度(色の濃さ)」、「*明度(色の明るさ)」を選び、【◀】【▶】ボタンで調整します。色調整が終わったら、【OK】ボタンを押します。

リセット 調整を 0 に戻します。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- 工場出荷時は [切] です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

ガンマ詳細調整

[ガンマ詳細調整]

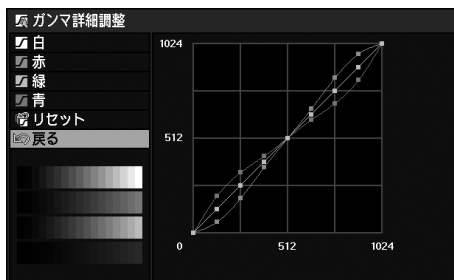
- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

白、赤、緑、青の 4 つのガンマ曲線を調整できます。白を調整すると、調整量が他の 3 色にも反映されます。この調整は、ガンマ補正をより詳細に行う機能です。どちらかで設定を行うと、もう一方での設定は上書きされることになります。

[MENU] > [イメージ調整] > [高度な調整] > [ガンマ詳細調整]



[ガンマ詳細調整] で【OK】ボタンを押すと、下の [ガンマ詳細調整] 画面が表示されます。



【▲】【▼】ボタンで色を選び、【OK】ボタンを押します。次に【◀】【▶】ボタンでガンマ曲線上の点を選び、【▲】【▼】ボタンで点の位置を調整します。調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- ガンマ補正については、103 ページを参照してください。

画質を調整する

ランプの光量を落とす

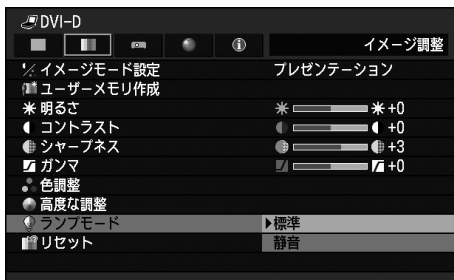
【ランプモード】

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

ランプの光量を落とすことで、消費電力を抑え、冷却ファンの音を静かにすることができます。
WUX4000 はリモコンの【LAMP】ボタンで切り換えることもできます。

WUX4000

【MENU】 > 【イメージ調整】 > 【ランプモード】



標準	標準の明るさで投写します。
静音	ランプの光量を落とし、冷却ファンの音を静かにします。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 工場出荷時は【標準】です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。

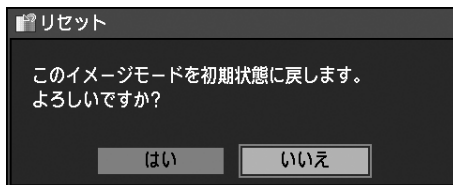
イメージ調整のリセット

【リセット】

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

現在のイメージ調整の設定をリセットし、購入時の状態に戻します。【イメージモード設定】でユーザー 1 ～ 5 を選択しているときにリセットすると、【ユーザー 1 ～ 5】 に保存されている状態に戻ります。

【MENU】 > 【イメージ調整】 > 【リセット】



はい	イメージ調整の設定をリセットします。
いいえ	リセットを中止します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの組み合わせの設定内容のみリセットされます。

動作を設定する

パワーマネージメントモードを選ぶ

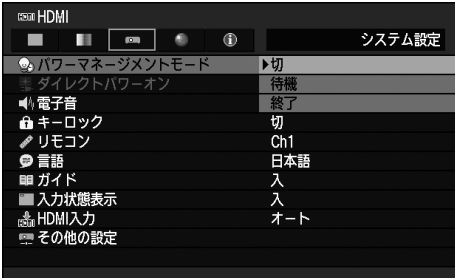
[パワーマネージメントモード]

- ☐ HDMI
- ☐ コンポーネント
- ☐ デジタル PC
- ☐ アナログ PC

本機を使用しないときに、節電のため自動的にランプを消したり、電源を切ることができます。

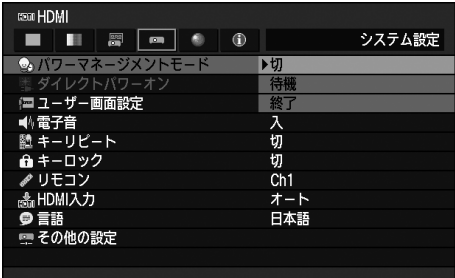
WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [パワーマネージメントモード]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [システム設定] > [パワーマネージメントモード]



切	パワーマネージメント機能を使用しません。
待機	入力信号が 30 秒間なければ、カウンタダウンを表示して 5 分後にランプが消えます。 信号が入力されたり、本機が操作されると、投写を再開します。
終了	入力信号が 30 秒間なければ、カウンタダウンを表示して 5 分後に電源が切れます。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [切] です。
- 待機モード中は、[POWER ON] インジケータと [STAND BY] インジケータが交互に点滅します。
- [切] に設定した場合は、次の項目の [ダイレクトパワーオン] は使用できません。

動作を設定する

POWER ボタン操作の省略

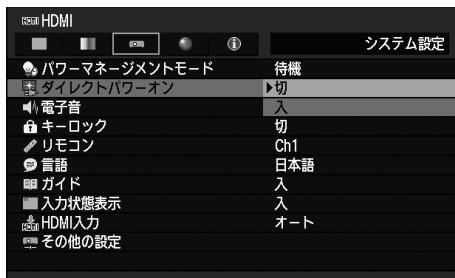
[ダイレクトパワーオン]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

【POWER】 ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにできます。

WUX5000 / WUX4000

【MENU】>[システム設定]>[ダイレクトパワーオン]



WX6000 / SX6000

【MENU】>[システム設定]>[ダイレクトパワーオン]



切 電源を入れるために POWER ボタンの操作が必要です。

入 電源コードの接続だけで電源が入ります。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [切] です。

- ⚠️ • ダイレクトパワーオンを「入」にするときは、「パワーマネージメントモード」の設定を [待機] または [終了] にしてください。
- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5 分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。

電子音の入 / 切

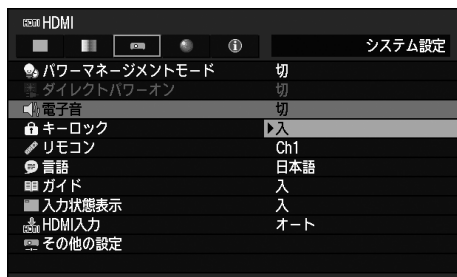
【電子音】

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

操作時の電子音の入 / 切を選べます。

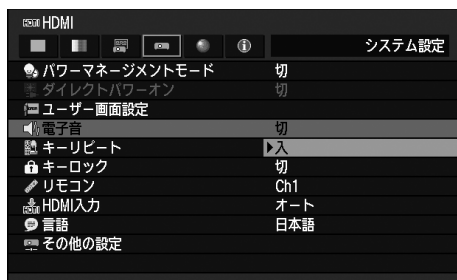
WUX5000 / WUX4000

【MENU】 > 【システム設定】 > 【電子音】



WX6000 / SX6000

【MENU】 > 【システム設定】 > 【電子音】



切 電子音を鳴らしません。

入 電子音を鳴らします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は【入】です。
- リモコンの【MUTE】ボタンで音を消しているときは、電子音は鳴りません。

キーリピート

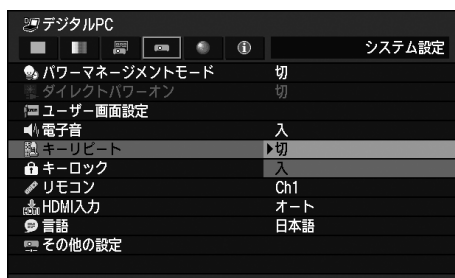
【キーリピート】

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

本体やリモコンのボタンを押したままにしたときに、連続して押したのと同じ動作をさせる（キーリピート）ことができます。

WX6000 / SX6000

【MENU】 > 【システム設定】 > 【キーリピート】



切 キーリピートを行いません。

入 キーリピートを行います。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は【入】です。
- キーリピートが【切】でも、フォーカス調整、ズーム調整、レンズシフト調整は連続駆動します。

動作を設定する

操作の禁止

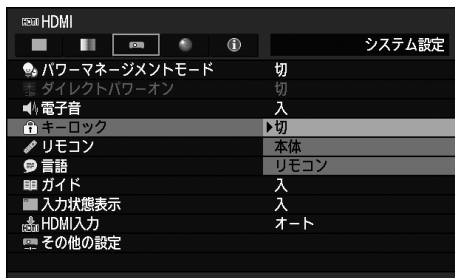
【キーロック】

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

本体またはリモコンのいずれかでの本機のを操作を禁止できます。

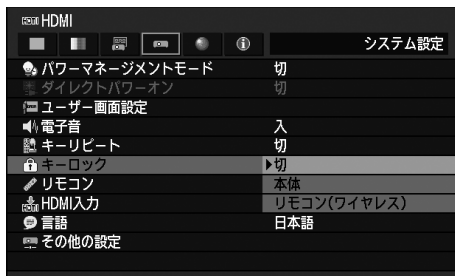
WUX5000 / WUX4000

【MENU】 > 【システム設定】 > 【キーロック】



WX6000 / SX6000

【MENU】 > 【システム設定】 > 【キーロック】



切	キーロックを使用しません。
本体	本体操作部が使用できなくなります。 リモコン側で設定してください。
リモコン	赤外線でのリモコン操作が使用できなくなります。本体側で設定してください。WX6000 / SX6000をお使いの場合、ケーブルで接続しても設定することができます (P23)。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は【切】 です。



キーロックは、【本体】もしくは【リモコン】で操作したくない一方を選び、【OK】 ボタンを押すことで選んだほうの操作ができなくなります。

キーロックを強制解除するには

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。次に、本体の【OK】 ボタンを押しながら電源コードを差し込み、そのまま【OK】 ボタンを離さないでください。しばらくして電子音が鳴り、キーロックが解除されます。

本体とリモコンのチャンネルの設定

[リモコン]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

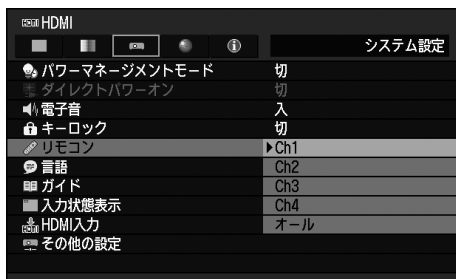
複数台（最大 4 台）のプロジェクターを同時に使用するとき、使い分けのためリモコンのチャンネル設定を変更します。

WX6000 / SX6000 では、赤外線で作動するとき設定します。

本体側のチャンネルを選ぶ

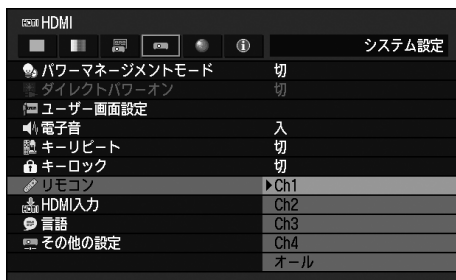
WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [リモコン]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [システム設定] > [リモコン]



Ch1 このプロジェクターで使用する
Ch2 リモコンのチャンネルを選びま
Ch3 す。
Ch4

オール 全チャンネルのリモコンが使用
できるようにします。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は、プロジェクター、リモコンともに [オール] に設定されています。
- メニューでのチャンネル切り換え後に、必ずリモコン側のチャンネルも切り換えてください。
- ケーブル接続の場合は、リモコンのチャンネル設定は不要です。

リモコン側のチャンネルを選ぶ

リモコン側のチャンネルは、次の操作で変更します。

WUX5000 / WUX4000

Ch1 【OK】 ボタンと【▲】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

Ch2 【OK】 ボタンと【▶】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

Ch3 【OK】 ボタンと【▼】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

Ch4 【OK】 ボタンと【◀】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

オール 【OK】 ボタンと【MENU】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

WX6000 / SX6000

Ch1 【Ch】 ボタンと【1】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

Ch2 【Ch】 ボタンと【2】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

Ch3 【Ch】 ボタンと【3】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

Ch4 【Ch】 ボタンと【4】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

オール 【Ch】 ボタンと【0】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

動作を設定する

表示言語を選ぶ

[言語]

- ☐ HDMI
 ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC
 ☐ アナログ PC

メニューに表示する言語を選べます。

[MENU] > [システム設定] > [言語]

言語		
English	Русский	Čeština
Deutsch	Nederlands	Dansk
Français	Suomi	إنجليزي
Italiano	Norsk	中文简体
Español	Türkçe	中文繁體
Português	Polski	한국어
Svenska	Magyar	日本語

【▲】【▼】【▶】【◀】 ボタンで表示する言語を選び、【OK】 ボタンを押します。

英語	English
ドイツ語	Deutsch
フランス語	Français
イタリア語	Italiano
スペイン語	Español
ポルトガル語	Português
スウェーデン語	Svenska
ロシア語	Русский
オランダ語	Nederlands
フィンランド語	Suomi
ノルウェー語	Norsk
トルコ語	Türkçe
ポーランド語	Polski
ハンガリー語	Magyar
チェコ語	Čeština
デンマーク語	Dansk
アラビア語	إنجليزي
中国語（簡体）	中文简体
中国語（繁体）	中文繁體
韓国語	한국어
日本語	日本語

設定が終わったら【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

ガイド画面の表示 / 非表示

[ガイド]

- ☐ HDMI
 ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC
 ☐ アナログ PC

操作を説明するガイド画面の表示 / 非表示が選べます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [ガイド]

HDMI		システム設定
● パワーマネジメントモード	切	
★ ダイレクトパワーオン	切	
🔊 電子音	入	
🔒 キーロック	切	
🔧 リモコン	Ch1	
🗨 言語	日本語	
📖 ガイド	切	
📺 入力状態表示	▶入	
📺 HDMI入力	オート	
🔧 その他の設定		

WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [オンスクリーン] > [ガイド]

オンスクリーン	
📖 メニュー表示位置	
📖 ガイド	切
📺 入力状態表示	▶入
🔊 高温注意表示	切
🕒 メニュー表示時間	標準
🔊 ランプ交換警告表示	切
🔊 フィルター清掃警告表示	切
🔍 戻る	

切 ガイド画面を表示しません。

入 ガイド画面を表示します。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [入] です。
- ガイド画面は次のときに表示されます。
 - 電源を切る（【POWER】 ボタンを押した）とき。（P71）
 - 入力信号が確認できないとき。（P50）
 - [BLANK]、[FREEZE]、[D.ZOOM] 時に無効なボタンが押されたとき。（P74、P76）
 - 設置ロック（P127）が [入] に設定されているとき（WX6000 / SX6000）

入力状態の表示 / 非表示

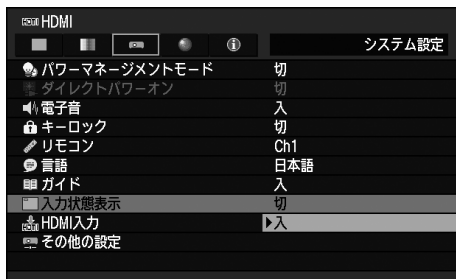
[入力状態表示]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

無信号時や信号設定時に入力信号の状態を画面に表示するかどうかを選べます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [入力状態表示]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [オンスクリーン] > [入力状態表示]



切 入力状態を表示しません。

入 入力状態を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [入] です。

HDMI の接続機器を選ぶ

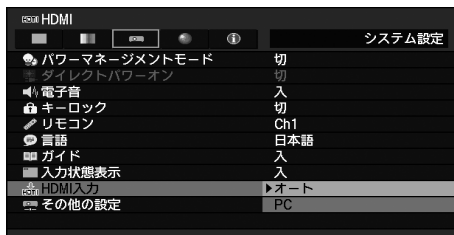
[HDMI 入力]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

HDMI に接続する機器の種類を設定します。

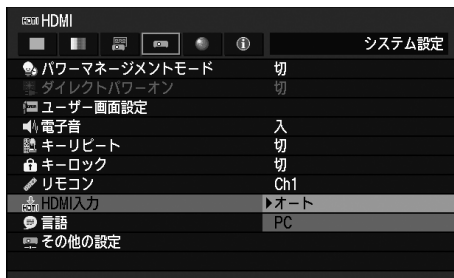
WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [HDMI 入力]



WX6000 / SX6000

[MENU] > [システム設定] > [HDMI 入力]



オート AV 機器を接続する場合に選びますが。画像処理やメニュー表示などがビデオ機器に合わせて調整されます。

PC コンピューターを接続する場合に選びます。画像処理やメニュー表示などがコンピューターに合わせて調整されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

動作を設定する

パスワードの設定

[パスワード設定]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

パスワードを入力しないと投写ができないようになります。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [パスワード設定]

その他の設定	
パスワード設定	▶切
パスワード登録	入
レンズ操作ロック	切
レンズシフトリセット	
メニュー表示時間	標準
高温注意表示	切
デブリッカー	
ランプカウンター	
工場出荷設定	
戻る	

WX6000 / SX6000

[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [パスワード設定]

その他の設定	
パスワード設定	▶切
パスワード登録	入
ガンマリストア	切
ランプカウンター	
フィルターカウンター	
工場出荷設定	
戻る	

切 パスワードを入力しなくても投写できます。

入 パスワードを入力しないと投写できません。

[OK] ボタンを押して確定し、[MENU] ボタンまたは [EXIT] ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は [切] です。
- [パスワード登録] を行わないとパスワード設定を [入] にできません。

パスワード機能を使用すると、電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。

パスワードは 4 桁で入力します。

WUX5000 / WUX4000では、リモコンの[▼][▲][◀][▶] ボタン、WX6000 / SX6000では、[1] ~ [0] の数字ボタンと [▼][▲][◀][▶] ボタンの組み合わせで設定します。

[▲] と [1]、[▶] と [2]、[▼] と [3]、[◀] と [4] は同じ設定となります。

パスワードが一致すれば投写が始まります。パスワードを 3 回間違えると、電源が切れます。

- パスワードの入力画面のまま 3 分間放置した場合も電源が切れます。

パスワードを強制解除するには

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。

次に、本体の【MENU】ボタンを押しながら電源コードを差し込みます。電子音が鳴るまで【MENU】ボタンを押し続けてください。電子音が鳴るとパスワードの解除は完了です。(登録したパスワードもリセットされます)。リモコンからパスワードを強制解除するには、スタンバイ状態で【MENU】ボタンを 3 回押し、【POWER】ボタンを押してください。

パスワードの登録

[パスワード登録]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

投写を始めるためのパスワードを登録します。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [パスワード登録]

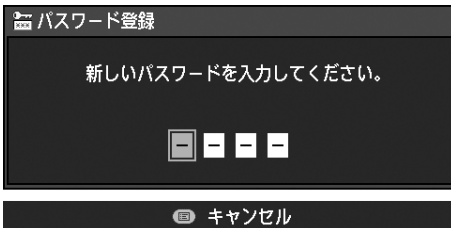


WX6000 / SX6000

[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [パスワード登録]



[パスワード登録] で【OK】ボタンを押すと下のパスワード登録画面が表示されます。



パスワードは4桁で入力します。
WUX5000 / WUX4000では、リモコンの【▼】
【▲】【◀】【▶】ボタン、WX6000 / SX6000
では、【1】～【0】の数字ボタンと【▼】【▲】
【▶】ボタンの組み合わせで設定します。

【▲】と【1】、【▶】と【2】、【▼】と【3】、
【◀】と【4】は同じ設定となります。

左の桁から順番に入力し、入力が終わると自動的に登録されます。

- パスワードの登録を中止するときは【MENU】ボタンを押してください。

動作を設定する

レンズ操作の禁止

[レンズ操作ロック]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

レンズ関連のボタン操作を禁止できます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [レンズ操作ロック]



切 フォーカス操作、ズーム操作、レンズシフト操作などレンズ関連の操作が行えます。

入 フォーカス操作、ズーム操作、レンズシフト操作が行えなくなります。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 工場出荷時は [切] です。

レンズシフトのリセット

[レンズシフトリセット]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

レンズシフト (P65) の設定を基準位置にリセットします。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [レンズシフトリセット]

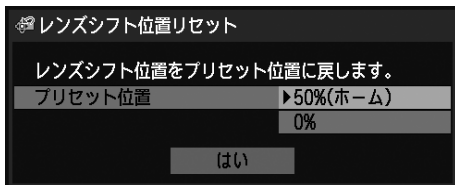


WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [レンズシフトリセット]



[レンズシフトリセット] で【OK】ボタンを押すと、下のレンズシフト位置リセット画面が表示されます。



【▲】【▼】ボタンで基準位置を選び、[はい] を選びます。

- 基準位置は、使用しているレンズユニットの種類により異なります。詳しくは「位置をリセットする」(P66) を参照してください。
- レンズシフトで調整した位置は、電源を切っても動きません。

動作を設定する

メニューの表示時間の延長

【メニュー表示時間】

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

通常は10秒または30秒のメニュー表示時間を3分に延長できます。

WUX5000 / WUX4000 では、【延長】に設定すると本体やリモコンのボタンを押したままにしたときに、連続して押したのと同じ動作をするキーリピート機能が無効になります。

WUX5000 / WUX4000

【MENU】 > 【システム設定】 > 【その他の設定】 > 【メニュー表示時間】



WX6000 / SX6000

【MENU】 > 【設置設定】 > 【オンスクリーン】 > 【メニュー表示時間】



標準 表示時間は10または30秒です。

延長 表示時間は3分です。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は【標準】です。
- 次の表示や動作も変わります。

項目	【標準】	【延長】
次の画面の表示時間 - MENU 画面 - インプット (P52) - ズーム調整 (P63) - フォーカス調整 (P64) - キーストーン調整 (P67) - キーストーンリセット (P68) - D イメージシフト調整 (P59、P60) - D イメージシフトリセット (P61) - アスペクト (P62) - イメージモード (P69) - 音量の調整 (P75) - ランプモード (P108) *1 - レンズシフト (P65) - レンズシフトリセット (P119)	10、 30 秒	3 分
ズーム調整、フォーカス調整、 レンズシフト調整以外での方向 ボタンの長押し操作 【VOL】 ボタンの長押し操作 【D.ZOOM】 ボタンの長押し操作 キーリピート *2	可能	不可能
	[入]	[切]

*1 WUX4000

*2 WX6000 / SX6000

高温注意アイコンの表示 / 非表示

[高温注意表示]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

本機内部の温度が上がって異常温度に近づいたときに、「高温注意」アイコンを表示するかどうかを設定できます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [高温注意表示]

その他の設定	
パスワード設定	切
パスワード登録	
レンズ操作ロック	切
レンズシフトリセット	
メニュー表示時間	標準
高温注意表示	切
デフリッカー	入
ランプカウンター	
工場出荷設定	
戻る	

WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [オンスクリーン] > [高温注意表示]

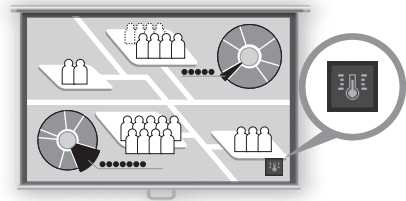
オンスクリーン	
メニュー表示位置	
ガイド	入
入力状態表示	入
高温注意表示	切
メニュー表示時間	入
ランプ交換警告表示	切
フィルター清掃警告表示	切
戻る	

切 「高温注意」アイコンを表示しません。

入 「高温注意」アイコンを表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

[入] に設定し、本機の内部の温度が異常になると、以下の「高温注意」アイコンが表示されます。



スクリーン

- 工場出荷時は [切] です。

動作を設定する

ちらつきを低減する

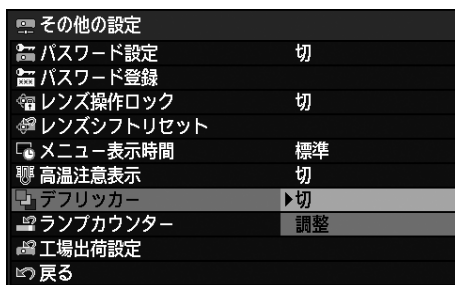
[デフリッカー]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

投写映像に生じるちらつき（フリッカー）を、調整画面の表示により低減します。

WUX5000 / WUX4000

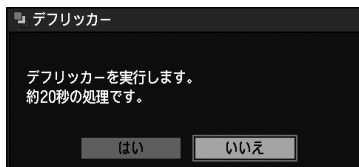
[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [デフリッカー]



切 ちらつきの調整をしません。

ちらつきの調整を行うときに選びます。
下の画面が表示されます。

調整



はい デフリッカーを実行します。

いいえ デフリッカーを実行しません。

- デフリッカーを実行すると、約 20 秒間、調整画面が投写されます。
- デフリッカーを中断するには【POWER】ボタンを押してください。



- デフリッカーはちらつきを低減させる機能ですが、多少ちらつきが残ることがあります。
- デフリッカーはランプ点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となります。

ガンマリストア

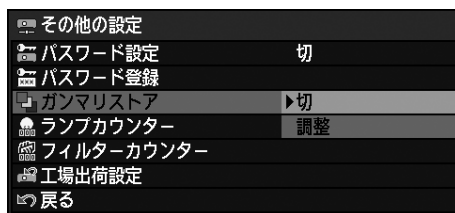
[ガンマリストア]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

長期使用によって、階調特性の変化や無彩色の色づきが気になった時に使用します。

WX6000 / SX6000

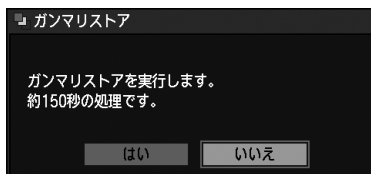
[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [ガンマリストア]



切 ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。

ガンマリストアを実行し、結果を適用します。

調整



はい ガンマリストアを実行します。

いいえ ガンマリストアを実行しません。

- ガンマリストアを実行すると、約 150 秒間、画面調整が投写されます。
- ガンマリストアを中断するには、【POWER】ボタンまたは【EXIT】ボタン（WX6000 / SX6000）を押してください。



- ガンマリストアを実行すると、階調特性や無彩色の色づきを購入時の状態に近づけられますが、完全に元の状態に戻すことはできません。そのため色づきを完全には取り除けないことがあります。
- ガンマリストアはランプ点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となります。

ランプ交換警告表示

[ランプ交換警告表示]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

ランプの使用時間が所定の時間に達した場合に、交換を促す警告を表示させることができます。

WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [オンスクリーン] > [ランプ交換警告表示]

■ オンスクリーン	
□ メニュー表示位置	
■ ガイド	入
■ 入力状態表示	入
■ 高温注意表示	切
□ メニュー表示時間	標準
● ランプ交換警告表示	▶ 切
● フィルター清掃警告表示	入
◀ 戻る	

切	ランプ交換警告を表示しません。
入	ランプ準備のメッセージと、ランプ交換警告を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- 工場出荷時は「入」です。
- [ランプ交換警告表示] の設定に関わらず、ランプ交換時期に達したときは本体の LAMP インジケータが点滅します。

ランプカウンターのリセット

[ランプカウンター]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

ランプの交換時期を知らせるカウンターをリセットします。



注意

ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。ランプの交換時期を正しく知らせることができなくなります。

ランプの交換方法については 183 ページを参照してください。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [ランプカウンター]

その他の設定	
パスワード設定	切
パスワード登録	
レンズ操作ロック	切
レンズシフトリセット	
メニュー表示時間	標準
高温注意表示	切
デフリッカー	
ランプカウンター	
工場出荷設定	
◀ 戻る	

WX6000 / SX6000

[MENU] > [システム設定] > [その他の設定] > [ランプカウンター]

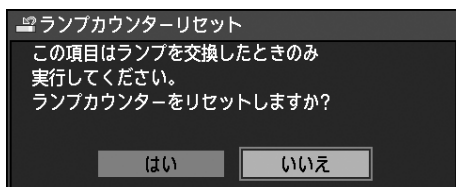
その他の設定	
パスワード設定	切
パスワード登録	
ガンマリストア	切
ランプカウンター	
フィルターカウンター	
工場出荷設定	
◀ 戻る	

[ランプカウンター] で【OK】ボタンを押すと、ランプカウンターが表示されます。

ランプカウンター	
<div style="text-align: center;">  2700H </div>	
リセット	戻る

動作を設定する

【リセット】を選んで【OK】ボタンを押します。



確認画面で【はい】を選び、【OK】ボタンを押すとランプカウンターがリセットされます。

【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

■ランプカウンターの表示について

ランプカウンターの表示とランプ使用時間の関係は次の通りです。

2,700 時間未満

緑色のバーで表示します。

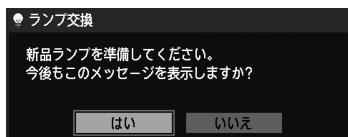


2,700 時間以上 3,000 時間未満

緑色・黄色のバーで表示します。



2,700 時間以上 3,000 時間未満では、電源を入れたときに「新品ランプを準備してください」というメッセージ画面が表示されます。



3,000 時間を超えたとき

緑色・黄色・赤色のバーで表示します。



電源を入れたときに「新品ランプに交換してください」というメッセージ画面が表示されます。



フィルター清掃警告表示

[フィルター清掃警告表示]

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

エアフィルターの清掃が必要な場合に、清掃を促す警告を表示させることができます。

WX6000 / SX6000

【MENU】 > 【設置設定】 > 【オンスクリーン】 > 【フィルター清掃警告表示】

■ オンスクリーン	
□ メニュー表示位置	
目 ガイド	入
■ 入力状態表示	入
⚙ 高温注意表示	切
🕒 メニュー表示時間	標準
💡 ランプ交換警告表示	切
🔍 フィルター清掃警告表示	▶ 切
🏠 戻る	入

切	フィルター清掃警告を表示しません。
入	フィルター清掃警告を表示します。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンまたは【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は【入】です。

エアフィルターカウンターのリセット

[フィルターカウンター]

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

エアフィルターの掃除および交換時期を知らせるカウンターをリセットします。



フィルターの交換および掃除については181 ページを参照してください。

WX6000 / SX6000

【MENU】 > 【システム設定】 > 【その他の設定】 > 【フィルターカウンター】

その他の設定	
🔒 パスワード設定	切
🔒 パスワード登録	
📁 ガンマリストア	切
💡 ランプカウンター	
🔍 フィルターカウンター	
🏭 工場出荷設定	
🏠 戻る	

【フィルターカウンター】で【OK】ボタンを押すと、エアフィルターカウンターが表示されます。

🔍 フィルターカウンター	
300H	
リセット	戻る

【リセット】を選んで【OK】ボタンを押します。

🔍 フィルターカウンターリセット	
この項目はフィルターを清掃したときのみ実行してください。 フィルターカウンターをリセットしますか？	
はい	いいえ

確認画面で【はい】を選び、【OK】ボタンを押すと、エアフィルターがリセットされます。
【MENU】 ボタン または 【EXIT】 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

動作を設定する

テストパターンの表示

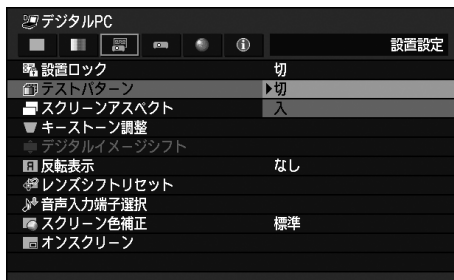
[テストパターン]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

本機の設置時に解像度や色の確認をするためのテストパターンを表示することができます。

WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [テストパターン]



切	テストパターンを表示しません。
入	テストパターンを表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時設定は「切」です。
- テストパターン表示中は、【▲】【▼】ボタンで他のテストパターンに切り替えることができます。また、テストパターンにオプションの設定がある場合は、【◀】【▶】ボタンで設定を変更できます。(P205)
- リモコンの【TEST PATTERN】ボタンでもテストパターンの表示、終了が行えます。



【イメージ調整】タブ内の以下の機能は、テストパターンに反映されません。

- 明るさ調整機能 (P102)
- コントラスト調整機能 (P102)
- シャープネス (P103)
- 色の濃さ調整機能 (色調整) (P104)
- 色合い調整機能 (色調整) (P104)

音声入力端子の選択

[音声入力端子選択]

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> アナログ PC |

HDMI、デジタル PC、アナログ PC-1、アナログ PC-2、コンポーネントの各入力信号ごとに使用する音声入力端子を選択することができます。

WX6000 / SX6000

[MENU] > [設置設定] > [音声入力端子選択]



切	音声出力を行いません。
オーディオ イン 1	AUDIO IN 端子 1 から入力される音声信号を出力します。
オーディオ イン 2	AUDIO IN 端子 2 から入力される音声信号を出力します。
HDMI	HDMI の音声信号を出力します。(HDMI の場合のみ)

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時設定は以下のとおりです。
HDMI 「HDMI」
デジタル PC 「オーディオ イン 2」
アナログ PC-1 「オーディオ イン 1」
アナログ PC-2 「オーディオ イン 2」
コンポーネント 「オーディオ イン 1」

設置関連機能のロック

〔設置ロック〕

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

設置に関連する機能の操作を禁止することができます。

WX6000 / SX6000

〔MENU〕 > 〔設置設定〕 > 〔設置ロック〕



切	設置ロックを使用しません。
入	設置関連の機能が使用できなくなります。

〔OK〕 ボタンを押して確定し、〔MENU〕 ボタンまたは〔EXIT〕 ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時設定は〔切〕です。
- 設置ロックの対象は、テストパターン表示、スクリーンアスペクト設定、キーストーン調整、デジタルイメージシフト調整、反転表示、フォーカス調整、ズーム調整、レンズシフト調整、レンズシフトリセットです。

購入時の状態に戻す

〔工場出荷設定〕

- ☐ HDMI ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC ☐ アナログ PC

メニューで設定した内容を購入時 (工場出荷時) の状態に戻します。

WUX5000 / WUX4000

〔MENU〕 > 〔システム設定〕 > 〔その他の設定〕 > 〔工場出荷設定〕

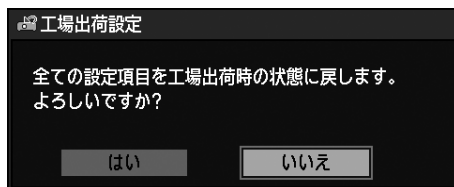


WX6000 / SX6000

〔MENU〕 > 〔システム設定〕 > 〔その他の設定〕 > 〔工場出荷設定〕



〔工場出荷設定〕 で〔OK〕 ボタンを押すと、下の確認画面が表示されます。



- はい 工場出荷時の状態に戻します。
- いいえ 工場出荷時の状態に戻しません。

動作を設定する

- [ランプカウンター]、[言語]、[リモコン]、[入力信号]、[ネットワーク設定]、[フィルターカウンター]、[フォーカス位置]、[ズーム位置]、[レンズシフト位置]の内容は戻りません。
- 工場出荷時の状態については P218 ～ P224 を参照してください。
- ユーザーメモリの内容は、ユーザーメモリを保存した時の状態に戻ります。(P101)

本機の情報を確認する

[インフォメーション]

- ☐ HDMI
 ☐ コンポーネント
☐ デジタル PC
 ☐ アナログ PC

投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。

WUX5000 / WUX4000

[MENU] > [インフォメーション]

DVI-D	
インフォメーション	
Model モデル名	WUX4000
Input 入力信号	1920 x 1200
Firm ファームバージョン	00.010002
Num シリアルNo.	0123456
IP IPアドレス	0 . 0 . 0 . 0
Gate ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0
Mail メール送信元アドレス	Projector@canon.co.jp
Mail メール送信先アドレス	未設定
Name プロジェクター名	WUX4000
Loc ロケーション	
ID システム情報ID	

WX6000 / SX6000

[MENU] > [インフォメーション]

デジタルPC	
インフォメーション	
Model モデル名	WX6000
Input 入力信号	1920 x 1200
Firm ファームバージョン	00.010002
Num シリアルNo.	0123456
IP IPアドレス	192. 168. 254. 254
Gate ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0
Mail メール送信元アドレス	Projector@canon.co.jp
Mail メール送信先アドレス	未設定
Name プロジェクター名	WX6000
Loc ロケーション	ROOM_A
ID システム情報ID	

表示される情報

項目	内容
モデル名	WUX5000 / WUX4000 / WX6000 / SX6000
入力信号	選択中の入力信号の詳細です。 「信号種別」「信号解像度」「周波数」などの情報が表示されます。
ファームバージョン	現在のファームウェアバージョンです。
シリアル No.	本機固有のシリアルナンバーです。
IP アドレス *	本機の IP アドレスです。(P163)
ゲートウェイアドレス *	ゲートウェイ機器の IP アドレスです。(P163)
メール送信元アドレス *	エラーメールの送信元メールアドレスです。(P170)
メール送信先アドレス *	エラーメールの送信先メールアドレスが設定されているかを、「未設定」または「設定済み」で表示します。(P170)
プロジェクター名 *	ネットワーク上での本機の識別名です。
ロケーション *	本機の設置場所です。
システム情報 ID	システムの情報です。通常は表示されません。

* ネットワーク機能が [切] のときは、表示されません。

**POWER
PROJECTOR
WUX5000
WUX4000
WX6000
SX6000**

設置説明書 (設置とメンテナンス編)

設置はお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。



設置する

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

使用
説明書

設置する

ネットワークに接続する

メンテナンス

設置
説明書

付録

索引

付
録

設置時のご注意

持ち運びのご注意

本機を以下の状態にしてから持ち運んでください。



注意

- 本機の接続ケーブルを外します。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となります。
- 調整脚をおさめてください。
- レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。本機が破損する原因となります。

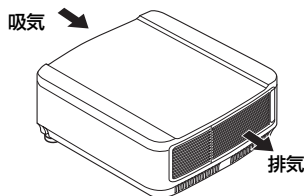
設置のときのご注意

12～18ページの「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。設置するときは次のことに注意してください。



注意

- 本機をたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になります。
- 本機を立てかけたり、立てて置かないでください。転倒により破損の原因となります。
- 冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口、排気口をふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となります。



本機を運搬、輸送するときのご注意



注意

- ご購入時の梱包材や緩衝材を本機の運搬、輸送に再利用しないでください。使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。
 - 本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送して下さい。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットの故障の原因になることがあります。
- なお、レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。

■こんな場所には設置しないでください

- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。正しく動作しないことがあります。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。
- 高温、低温、高湿度になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお、使用温度・湿度、保管温度の範囲は以下のとおりです。

使用温度範囲	使用湿度範囲	保管温度範囲
5℃～35℃	85% まで	-10℃～60℃

■レンズを素手で触らないでください

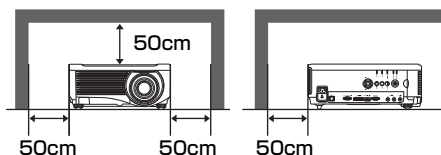
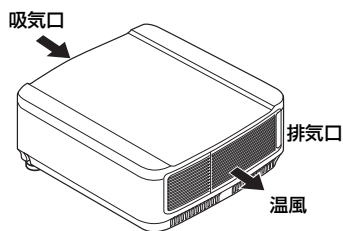
レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因になることがあります。

■壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください



注意

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。(上方・側面50cm、後面50cm以上離して設置してください。)



■結露にご注意ください

部屋の温度を急に上げたときなど、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

■海拔 2,300m 以上の高地で使用する場合は

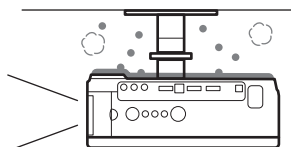
本機を海拔 2,300m 以上の高地で使用する場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

■天井から吊り下げてご使用になる場合



注意

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

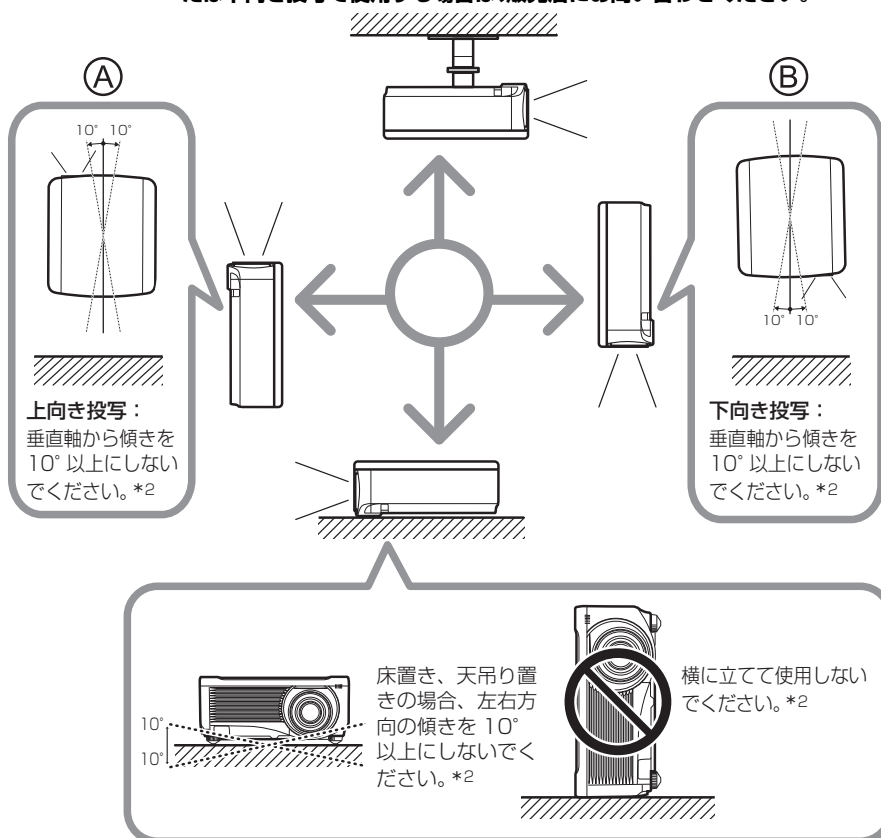


■正しい方向に設置してください



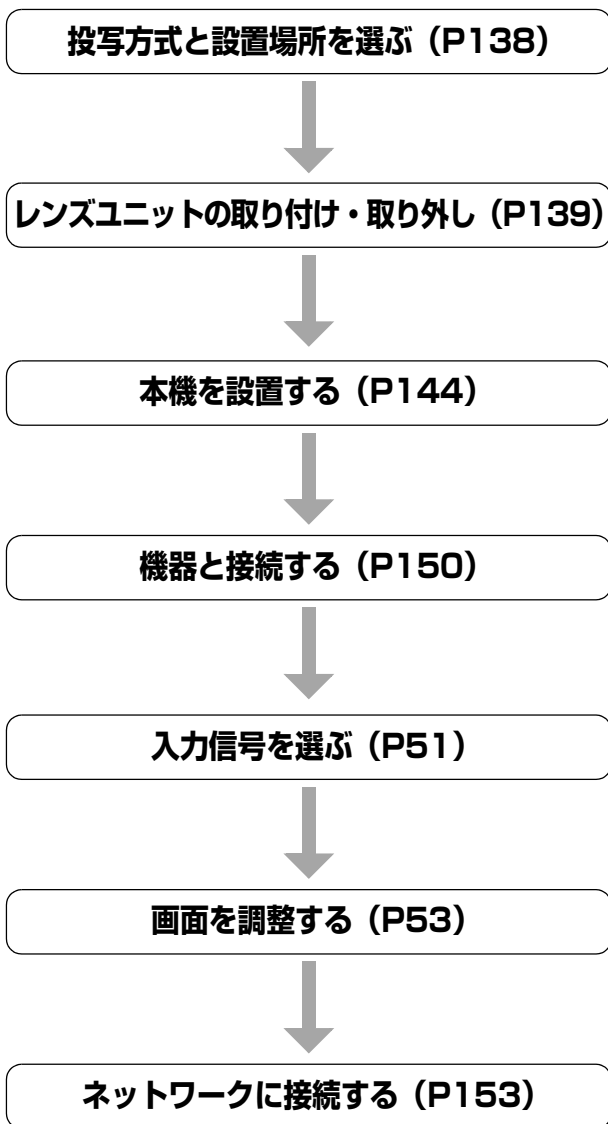
注意

本機は、下図に示す 360°^{*1} の方向に設置することができますが、上向き投写①、または下向き投写②でご使用される場合、ランプの寿命が縮まる可能性があります。また、プロジェクターの設定を変更する必要があります。上向き投写、または下向き投写で使用する場合は、販売店にお問い合わせください。



^{*1} 本機は天吊り金具 (P25、P138、P217) 以外の設置のためのオプションは用意されていません。

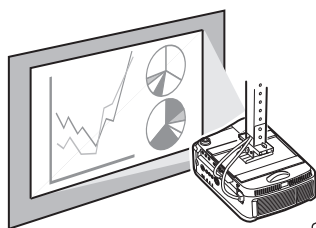
^{*2} ランプ故障の原因となることがあります。



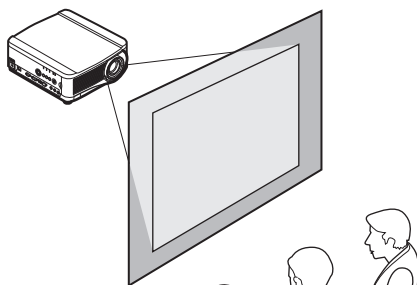
投写方式と設置場所を選ぶ

■天吊り / リア投写について

本機は、天井から逆さに吊り下げ（天吊り）で投写したり、透過型スクリーンを使用してスクリーン裏側から投写（リア投写）することもできます。



天吊り投写



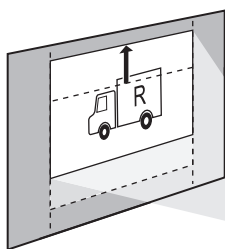
リア投写

天吊りには、専用の天吊り金具を使用します。天吊り金具については、217ページの「別売品」を参照してください。詳しくは、天吊り金具に付属の組立・設置説明書を参照してください。

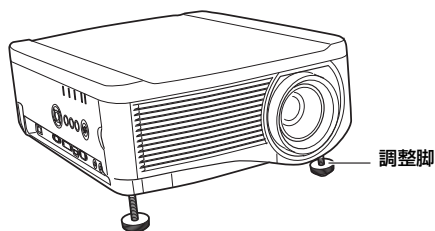
■床置き時の投写位置の調整について

床置きするとき、スクリーンへの投写位置を調整するには、レンズシフト機能（P65、P148）を使用して上下左右に調整することができます。また、調整脚を使って最大6°まで上に向けることができます。

画面サイズと投写距離の関係については144ページを参照してください。



レンズシフト



上に向けると投写画面が台形にひずみますが、キーストーン補正の操作により補正できます。（P67）

レンズユニットの取り付け・取り外し

■レンズユニットを取り付ける



レンズユニットの取り付け・取り外しを行う場合必ず、電源プラグまたはコネクターを抜いてください。火災や感電・けがの原因になります。



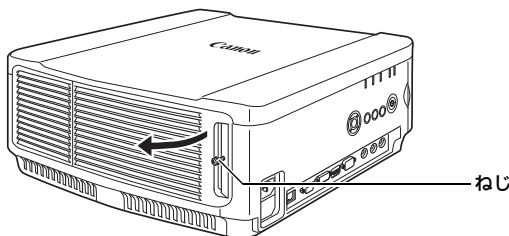
- ・ レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、1 時間以上経過し、本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。
- ・ 取り付け後、本機の投写の調整でレンズが動いているとき（レンズシフト動作中）は、レンズに触れないでください。けがの原因になることがあります。
- ・ 本機を天井から吊りしている場合は、本機を床や作業台に下ろしてからレンズユニットの取り付け・交換を行ってください。部品等が落下し、けがや故障の原因になることがあります。



注意

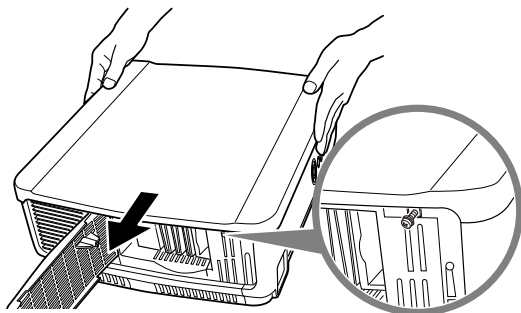
- ・ レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。
- ・ レンズユニットの取り付け、取り外しのとき、レンズ表面を手でさわったり傷をつけたりしないようご注意ください。
- ・ レンズユニットおよびレンズモーターに配線されたリード線などの部品に無理な力を加えないでください。故障の原因となることがあります。
- ・ ほこりの多い場所でのレンズユニット交換は避けてください。本機内にゴミやほこりが入ると画質を損なう原因になります。
- ・ 適合するプロジェクターの詳細については、販売店にご相談ください。

- 1** プラスドライバーでランプカバーのねじをゆるめ、ランプカバーを開きます。
ランプカバーのねじはランプカバーに取りついて、外れないようになっています。

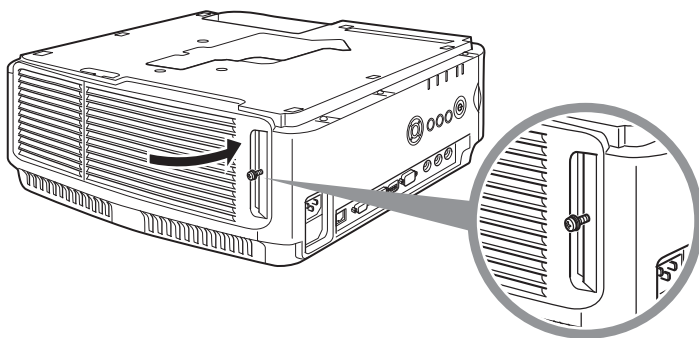


レンズユニットの取り付け・取り外し

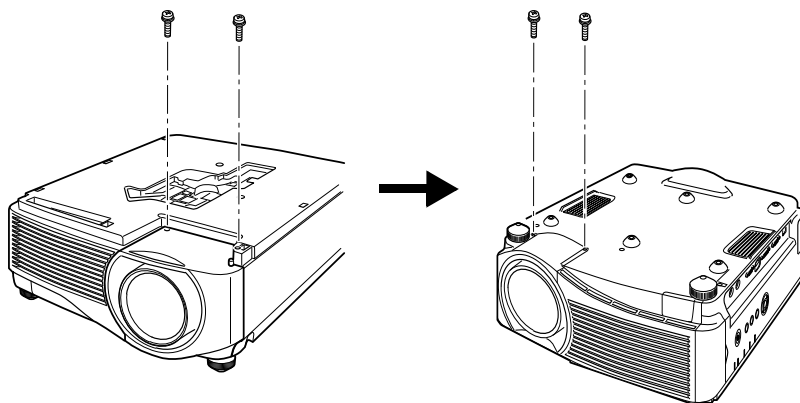
- 2** 化粧板のねじをゆるめ、化粧板を背面方向にスライドさせて取り外します。
化粧板のねじは化粧板に取りついて、外れないようになっています。



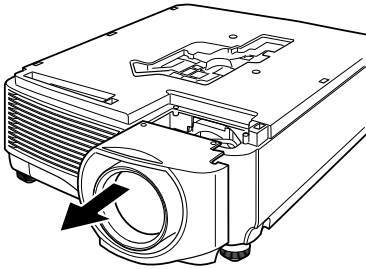
- 3** 破損を防ぐためランプカバーを閉じ、ねじを仮止めします。



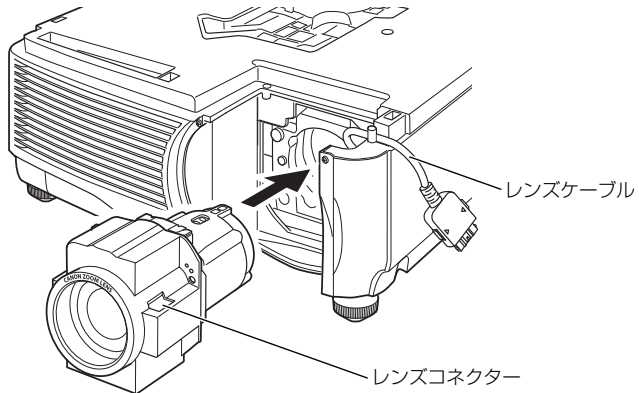
- 4** スリーブのねじ（上面2本、底面2本）を取り外します。
上面2か所のねじを外したら、平らな机の上などで本機を裏返しにし、底面2か所のねじを外します。



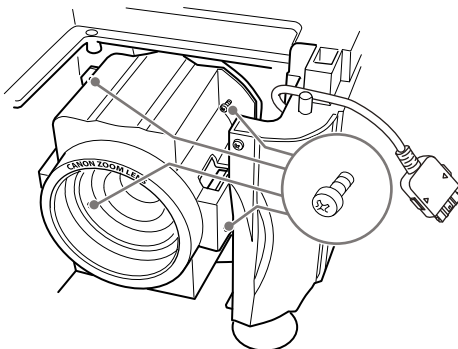
- 5** 再び裏返して、スリーブを取り外します。



- 6** 下の図のようにレンズユニットのレンズコネクタを前面から見て右側の位置で、前面から静かに挿入し、突き当たるまでゆっくり押し込みます。このとき、レンズケーブルを図のように取り出し、固定してください。

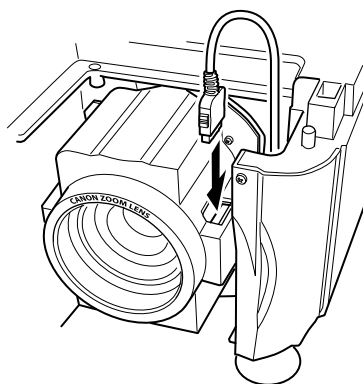


- 7** ねじ 4 本をしめ、レンズユニットを固定します。
レンズユニットのねじ 4 本はレンズユニットに取りついて、外れないようになっています。



レンズユニットの取り付け・取り外し

- 8** 本機のレンズケーブルをレンズコネクタに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



- 9** スリーブ、化粧板、ランプカバーを元に戻します。

⚠ レンズユニットの取り付け、または交換後、本機の電源を最初に入れたときにレンズシフトの初期化動作が行われます。初期化動作が起動するまでに1分程度かかります。ただし同じ型番のレンズユニットを交換した場合は初期化動作は行ないません。交換前の位置と同じになります。



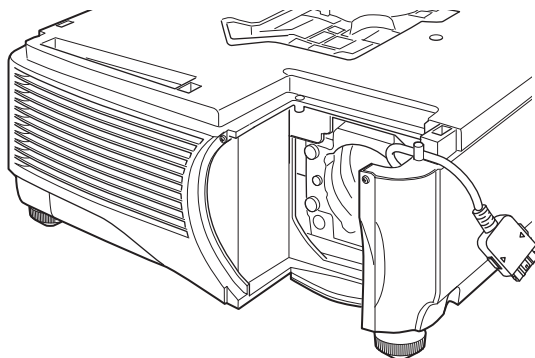
注意

レンズシフトの初期化動作はモーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因となる場合があります。



注意

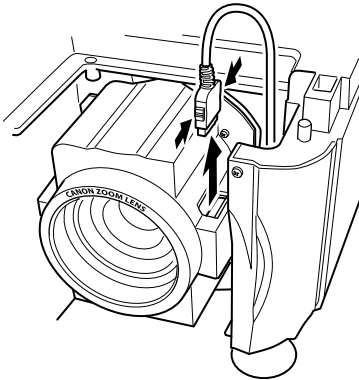
レンズユニットの取り付け・取り外しを行うときは、レンズケーブルを図のように固定してください。レンズユニットを押し込むときに、本体とはさみ込みレンズケーブルを破損する場合があります。



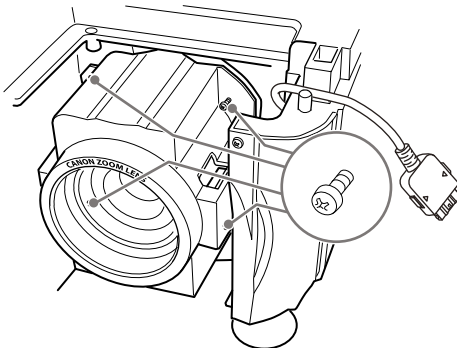
■レンズユニットを取り外す

- 1** 「レンズユニットを取り付ける」の手順 1 ～ 5 (P139 ～ P141) を行い、スリーブを取り外します。
- 2** レンズケーブルをレンズコネクターから抜きます。

❗ レンズケーブルを抜く（外す）ときは、レンズケーブルのコネクター部の両側にあるボタンを押しながらかき抜いてください。



- 3** レンズケーブルを図のように固定し、ねじを4本ゆるめ、レンズユニットを取り外します。レンズユニットのねじ4本はレンズユニットに取りついて、外れないようになっています。



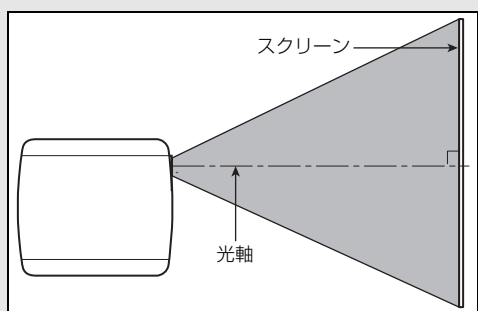
本機を設置する

■スクリーンの正面に置く

本機をスクリーンの正面に置いてください。

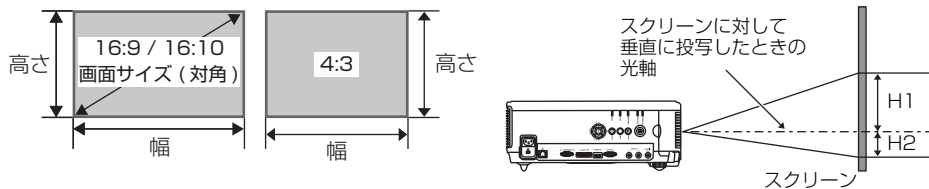


- 真っ直ぐに投写しないと画面がひずみます。
- スクリーンには、太陽光線や照明が直接当たらないようにしてください。明るい部屋では、照明を消す、カーテンを引くなどすると、画面が見やすくなります。



■画面サイズと投写距離の関係

投写画面のサイズは、本機からスクリーンまでの距離（投写距離）とズームで決まります。次の表を参考に、本機のスクリーンからの距離を決めてください。



- H1、H2 は、レンズシフトがデフォルト値（下記）の場合の距離です。
- 標準ズームレンズ、長焦点ズームレンズ、超長焦点ズームレンズ：上下 +50%、左右 0%
固定短焦点レンズ：上下左右 0%

WUX5000 / WUX4000

レンズ ユニット	16:10 時対角 [型]	画面サイズ [cm]						投写距離 [m]		スクリーンに対して 垂直に投写したとき の光軸からの距離* [cm]	
		16:10		16:9		4:3		16:10			
		横	縦	横	縦	横	縦	ワイド端	テレ端	H1	H2
標準 ズームレンズ RS-IL01ST	40	86	54	86	48	72	54	1.3	1.9	54	0
	60	129	81	129	73	108	81	1.9	2.9	81	0
	80	172	108	172	97	144	108	2.6	3.9	108	0
	100	215	135	215	121	179	135	3.2	4.8	135	0
	150	323	202	323	182	269	202	4.8	7.2	202	0
	200	431	269	431	242	359	269	6.4	9.6	269	0
	250	538	337	538	303	449	337	8.0	12.1	337	0
	300	646	404	646	363	538	404	9.6	14.5	404	0
	350	754	471	754	424	628	471	11.3	16.9	471	0
	400	862	538	862	484	718	538	12.9	19.3	538	0
	450	969	606	969	544	808	606	14.5	21.7	606	0
	500	1077	673	1077	605	898	673	16.1	24.1	673	0
長焦点 ズームレンズ RS-IL02LZ	550	1185	740	1185	666	987	740	17.7	26.6	740	0
	600	1292	808	1292	726	1076	808	19.3	29.0	808	0
	40	86	54	86	48	72	54	1.9	3.2	54	0
	60	129	81	129	73	108	81	2.8	4.8	81	0
	80	172	108	172	97	144	108	3.8	6.4	108	0
	100	215	135	215	121	179	135	4.7	8.0	135	0
	150	323	202	323	182	269	202	7.1	12.1	202	0
	200	431	269	431	242	359	269	9.5	16.1	269	0
	250	538	337	538	303	449	337	11.9	20.2	337	0
	300	646	404	646	363	538	404	14.2	24.2	404	0
	350	754	471	754	424	628	471	16.6	28.3	471	0
	400	862	538	862	484	718	538	19.0	32.3	538	0
固定短焦点 レンズ RS-IL03WF	450	969	606	969	544	808	606	20.9	35.6	606	0
	500	1077	673	1077	605	898	673	23.8	40.4	673	0
	550	1185	740	1185	666	987	740	26.1	44.5	740	0
	600	1292	808	1292	726	1076	808	28.5	48.5	808	0
	40	86	54	86	48	72	54	0.7	-	27	27
	60	129	81	129	73	108	81	1.0	-	41	41
	80	172	108	172	97	144	108	1.4	-	54	54
	100	215	135	215	121	179	135	1.7	-	68	68
超長焦点 ズームレンズ RS-IL04UL	150	323	202	323	182	269	202	2.6	-	101	101
	200	431	269	431	242	359	269	3.4	-	135	135
	250	538	337	538	303	449	337	4.3	-	168	168
	300	646	404	646	363	538	404	5.2	-	202	202
	40	86	54	86	48	72	54	-	-	54	0
	60	129	81	129	73	108	81	4.6	9.0	81	0
	80	172	108	172	97	144	108	6.1	12.0	108	0
	100	215	135	215	121	179	135	7.6	14.9	135	0
	150	323	202	323	182	269	202	11.4	22.3	202	0
	200	431	269	431	242	359	269	15.2	29.8	269	0
	250	538	337	538	303	449	337	18.9	37.2	337	0
	300	646	404	646	363	538	404	22.7	44.6	404	0
	350	754	471	754	424	628	471	26.4	52.0	471	0
	400	862	538	862	484	718	538	30.2	59.4	538	0
	450	969	606	969	544	808	606	34.0	66.8	606	0
	500	1077	673	1077	605	898	673	37.7	74.2	673	0
	550	1185	740	1185	666	987	740	41.5	81.6	740	0
	600	1292	808	1292	726	1076	808	45.2	89.0	808	0

本機を設置する

WX6000

レンズ ユニット	16:10 時対角 [型]	画面サイズ [cm]						投写距離 [m]		スクリーンに対して 垂直に投写したときの 光軸からの距離* [cm]	
		16:10		16:9		4:3		16:10			
		横	縦	横	縦	横	縦	ワイド端	テレ端	H1	H2
標準 ズームレンズ RS-IL01ST	40	86	54	86	48	72	54	1.3	2.0	54	0
	60	129	81	129	73	108	81	2.0	3.0	81	0
	80	172	108	172	97	144	108	2.6	4.0	108	0
	100	215	135	215	121	179	135	3.3	4.9	135	0
	150	323	202	323	182	269	202	4.9	7.4	202	0
	200	431	269	431	242	359	269	6.6	9.9	269	0
	250	538	337	538	303	449	337	8.2	12.4	337	0
	300	646	404	646	363	538	404	9.9	14.9	404	0
	350	754	471	754	424	628	471	11.5	17.3	471	0
	400	862	538	862	484	718	538	13.2	19.8	538	0
	450	969	606	969	544	808	606	14.9	22.3	606	0
	500	1077	673	1077	605	898	673	16.5	24.8	673	0
長焦点 ズームレンズ RS-IL02LZ	550	1185	740	1185	666	987	740	18.2	27.2	740	0
	600	1292	808	1292	726	1076	808	19.8	29.7	808	0
	40	86	54	86	48	72	54	1.9	3.3	54	0
	60	129	81	129	73	108	81	2.9	4.9	81	0
	80	172	108	172	97	144	108	3.9	6.6	108	0
	100	215	135	215	121	179	135	4.8	8.3	135	0
	150	323	202	323	182	269	202	7.3	12.4	202	0
	200	431	269	431	242	359	269	9.7	16.6	269	0
	250	538	337	538	303	449	337	12.2	20.7	337	0
	300	646	404	646	363	538	404	14.6	24.9	404	0
	350	754	471	754	424	628	471	17.1	29.0	471	0
	400	862	538	862	484	718	538	19.5	33.1	538	0
固定短焦点 レンズ RS-IL03WF	450	969	606	969	544	808	606	21.9	37.3	606	0
	500	1077	673	1077	605	898	673	24.4	41.4	673	0
	550	1185	740	1185	666	987	740	26.8	45.6	740	0
	600	1292	808	1292	726	1076	808	29.3	49.7	808	0
	40	86	54	86	48	72	54	0.7	-	27	27
	60	129	81	129	73	108	81	1.1	-	41	41
	80	172	108	172	97	144	108	1.4	-	54	54
	100	215	135	215	121	179	135	1.8	-	68	68
	150	323	202	323	182	269	202	2.7	-	101	101
	200	431	269	431	242	359	269	3.5	-	135	135
	250	538	337	538	303	449	337	4.4	-	168	168
	300	646	404	646	363	538	404	5.3	-	202	202
超長焦点 ズームレンズ RS-IL04UL	40	86	54	86	48	72	54	-	-	54	0
	60	129	81	129	73	108	81	4.8	9.2	81	0
	80	172	108	172	97	144	108	6.3	12.3	108	0
	100	215	135	215	121	179	135	7.8	15.3	135	0
	150	323	202	323	182	269	202	11.7	22.9	202	0
	200	431	269	431	242	359	269	15.6	30.5	269	0
	250	538	337	538	303	449	337	19.4	38.1	337	0
	300	646	404	646	363	538	404	23.3	45.7	404	0
	350	754	471	754	424	628	471	27.1	53.3	471	0
	400	862	538	862	484	718	538	31.0	60.9	538	0
	450	969	606	969	544	808	606	34.8	68.5	606	0
	500	1077	673	1077	605	898	673	38.7	76.1	673	0
	550	1185	740	1185	666	987	740	42.5	83.7	740	0
	600	1292	808	1292	726	1076	808	46.4	91.3	808	0

SX6000

レンズ ユニット	4：3時 対角 [型]	画面サイズ [cm]						投写距離 [m]		スクリーンに対して 垂直に投写したとき の光軸からの距離* [cm]	
		4：3		16：10		16：9		4：3			
		横	縦	横	縦	横	縦	ワイド端	テレ端	H1	H2
標準 ズームレンズ RS-IL01ST	40	81	61	81	51	81	46	1.3	1.9	61	0
	60	122	91	122	76	122	69	1.9	2.9	91	0
	80	163	122	163	102	163	91	2.5	3.8	122	0
	100	203	152	203	127	203	114	3.2	4.8	152	0
	150	305	229	305	191	305	171	4.8	7.2	229	0
	200	406	305	406	254	406	229	6.4	9.6	305	0
	250	508	381	508	318	508	286	8.0	12.0	381	0
	300	610	457	610	381	610	343	9.6	14.4	457	0
	350	711	533	711	445	711	400	11.2	16.8	533	0
	400	813	610	813	508	813	457	12.8	19.2	610	0
	450	914	686	914	572	914	514	14.4	21.6	686	0
	500	1016	762	1016	635	1016	572	16.0	24.0	762	0
550	1118	838	1118	699	1118	629	17.6	26.4	838	0	
600	1219	914	1219	762	1219	686	19.2	28.8	914	0	
長焦点 ズームレンズ RS-IL02LZ	40	81	61	81	51	81	46	1.9	3.2	61	0
	60	122	91	122	76	122	69	2.8	4.8	91	0
	80	163	122	163	102	163	91	3.7	6.4	122	0
	100	203	152	203	127	203	114	4.7	8.0	152	0
	150	305	229	305	191	305	171	7.1	12.0	229	0
	200	406	305	406	254	406	229	9.4	16.1	305	0
	250	508	381	508	318	508	286	11.8	20.1	381	0
	300	610	457	610	381	610	343	14.2	24.1	457	0
	350	711	533	711	445	711	400	16.5	28.1	533	0
	400	813	610	813	508	813	457	18.9	32.2	610	0
	450	914	686	914	572	914	514	21.3	36.2	686	0
	500	1016	762	1016	635	1016	572	23.7	40.2	762	0
550	1118	838	1118	699	1118	629	26.0	44.2	838	0	
600	1219	914	1219	762	1219	686	28.4	48.3	914	0	
固定短焦点 レンズ RS-IL03WF	40	81	61	81	51	81	46	0.7		30	30
	60	122	91	122	76	122	69	1.0		46	46
	80	163	122	163	102	163	91	1.4		61	61
	100	203	152	203	127	203	114	1.7		76	76
	150	305	229	305	191	305	171	2.6		114	114
	200	406	305	406	254	406	229	3.4		152	152
	250	508	381	508	318	508	286	4.3		191	191
	300	610	457	610	381	610	343	5.1		229	229
超長焦点 ズームレンズ RS-IL04UL	40	81	61	81	51	81	46	-	-	61	0
	60	122	91	122	76	122	69	4.6	9.0	91	0
	80	163	122	163	102	163	91	6.1	11.9	122	0
	100	203	152	203	127	203	114	7.6	14.9	152	0
	150	305	229	305	191	305	171	11.3	22.2	229	0
	200	406	305	406	254	406	229	15.1	29.6	305	0
	250	508	381	508	318	508	286	18.8	37.0	381	0
	300	610	457	610	381	610	343	22.6	44.4	457	0
	350	711	533	711	445	711	400	26.3	51.7	533	0
	400	813	610	813	508	813	457	30.0	59.1	610	0
	450	914	686	914	572	914	514	33.8	66.5	686	0
	500	1016	762	1016	635	1016	572	37.5	73.8	762	0
	550	1118	838	1118	699	1118	629	41.3	81.2	838	0
	600	1219	914	1219	762	1219	686	45.0	88.6	914	0

本機を設置する

■レンズシフト機能について

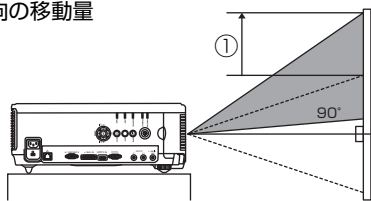
本機にはレンズシフト機能が付き、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、「画面の位置を調整する」(P65)を参照してください。

レンズシフト量は、画面高さ・幅に対する移動量をパーセンテージで表します。

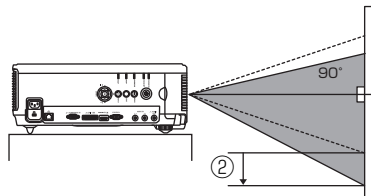
各レンズにおけるレンズシフト量は、次の通りです。

		WUX5000	WUX4000	WX6000	SX6000
標準ズームレンズ (RS-IL01ST)	上 (①)	+ 55%	+ 55%	+ 55%	+ 50%
	下 (②)	- 15%	- 15%	- 15%	- 12%
	左右 (③)	± 10%	± 10%	± 10%	± 10%
長焦点ズームレンズ (RS-IL02LZ)	上 (①)	+ 55%	+ 55%	+ 55%	+ 50%
	下 (②)	- 15%	- 15%	- 15%	- 12%
	左右 (③)	± 10%	± 10%	± 10%	± 10%
固定短焦点レンズ (RS-IL03WF)	上 (①)	+ 5%	+ 5%	+ 5%	+ 5%
	下 (②)	- 5%	- 5%	- 5%	- 5%
	左右 (③)	± 2%	± 2%	± 2%	± 2%
超長焦点ズームレンズ (RS-IL04UL)	上 (①)	+ 55%	+ 55%	+ 55%	+ 50%
	下 (②)	- 15%	- 15%	- 15%	- 12%
	左右 (③)	± 10%	± 10%	± 10%	± 10%

上下方向の移動量

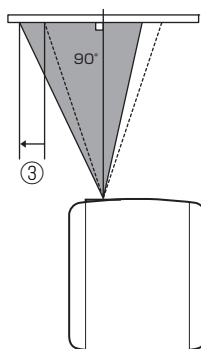


上側へ最大レンズシフトさせたとき

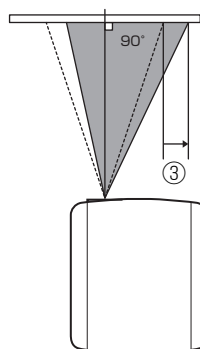


下側へ最大レンズシフトさせたとき

左右方向の移動量



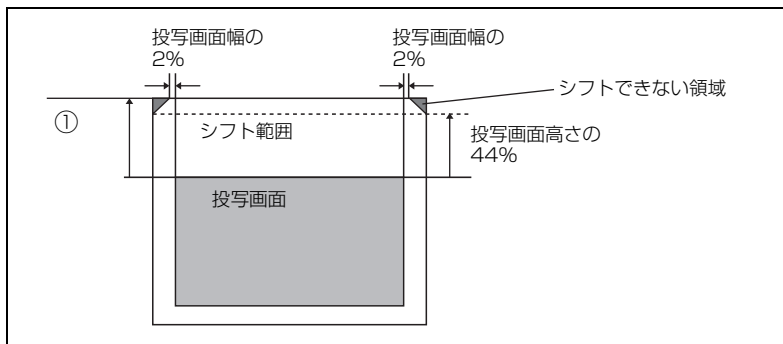
左側へ最大レンズシフトさせたとき



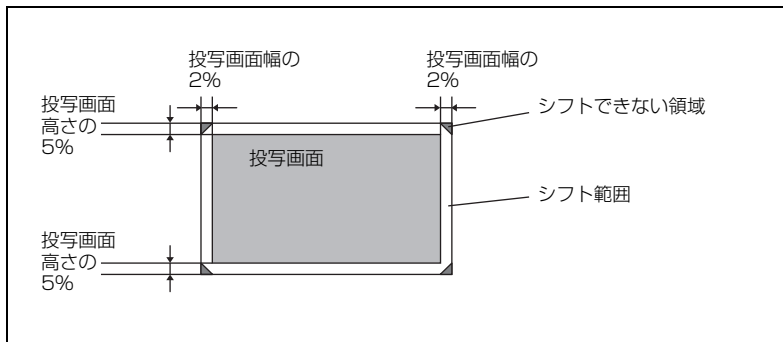
右側へ最大レンズシフトさせたとき

レンズを移動できない領域について

標準ズームレンズ、長焦点ズームレンズ、超長焦点ズームレンズの場合、上方向のシフト量が44%を超えると、左右方向にシフトできるシフト量が少なくなります。上方向に最大までシフトした状態(①)では、左右方向へのシフト量は±2%となります。



固定短焦点レンズの場合、上下方向にシフトするほど、左右方向へのシフト量は少なくなります。上方向または下方向に最大にシフトした状態では、左右方向へのシフトはできません。



機器と接続する

■接続できる機器と接続端子

HDMI
HDMI IN 端子

この名称で映像を選びます。

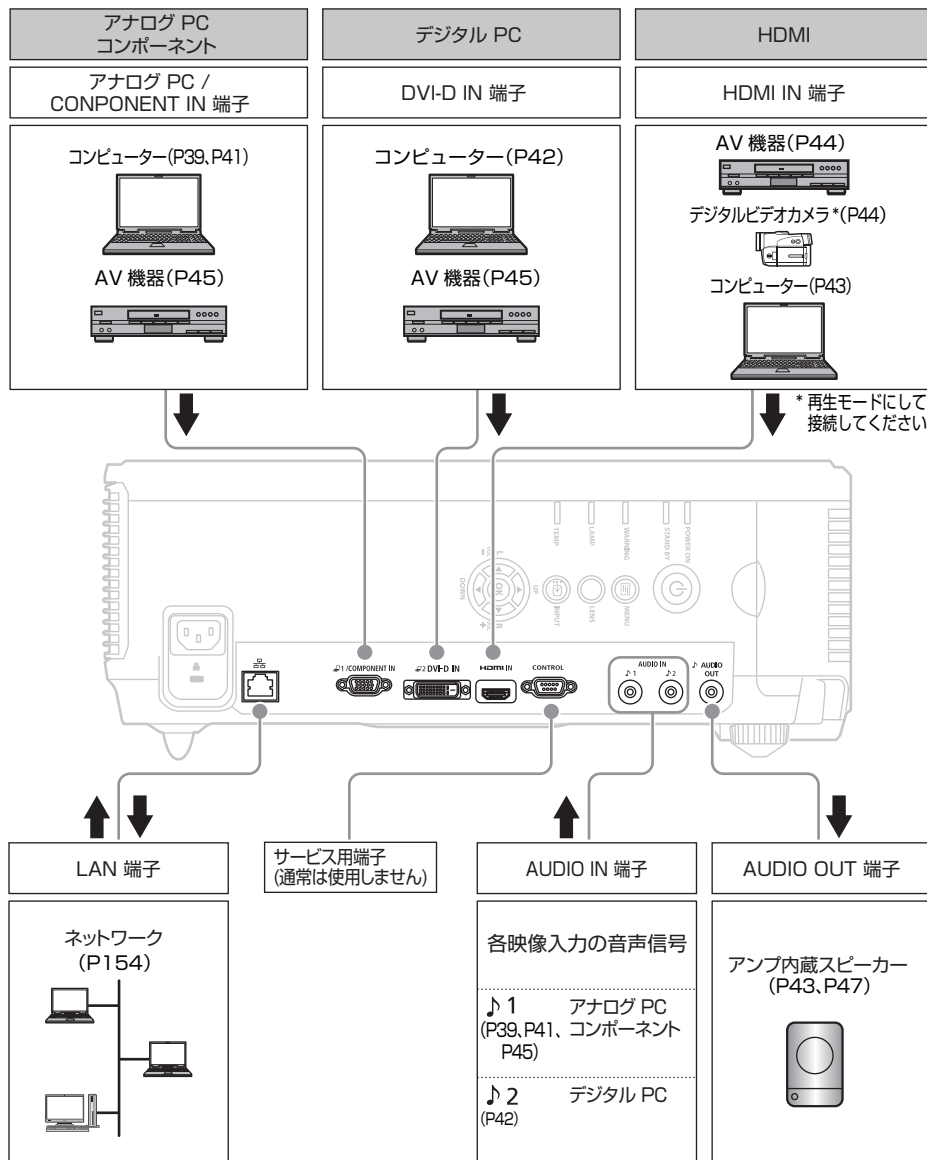


信号やデータが流れる方向です。

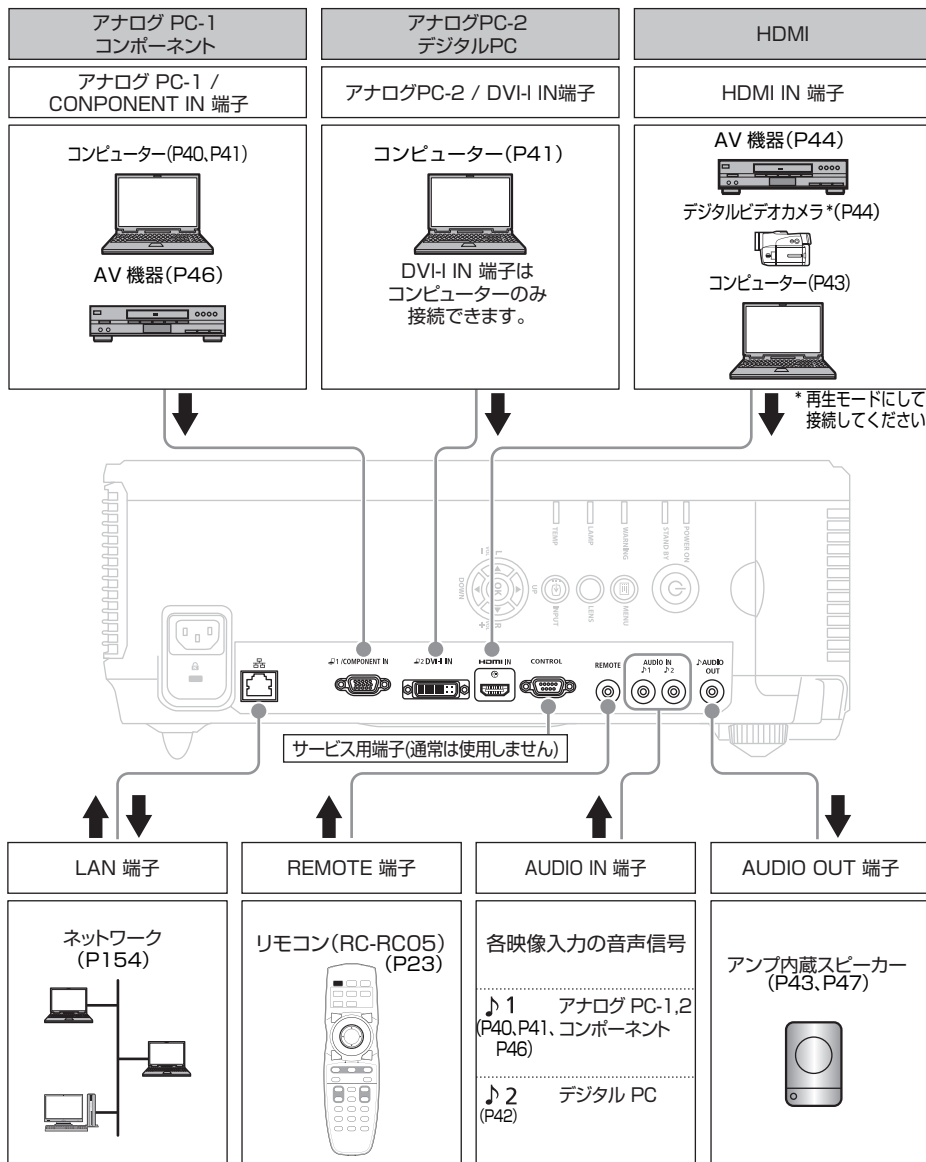
機器を接続する端子の名称です。

(Pxxx) 解説ページです。




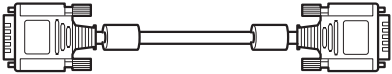


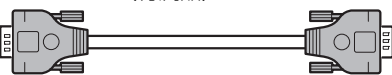

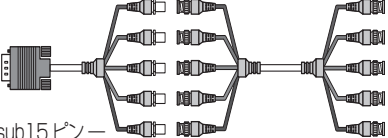


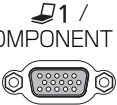
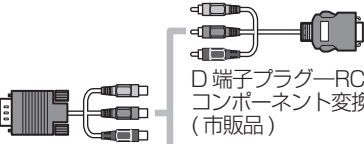

WUX5000 / WUX4000



WX6000 / SX6000



■接続端子と接続ケーブル

入力信号	対応機種	入力端子	接続ケーブルの種類
HDMI	WUX5000 WUX4000 WX6000 SX6000	HDMI IN 	HDMI ケーブル (市販品) 
デジタル PC	WUX5000 WUX4000	 DVI-D IN	DVI ケーブル (市販品) 
	WX6000 SX6000	 DVI-I IN	
アナログ PC アナログ PC-1	WUX5000 WUX4000 WX6000 SX6000	 1 / COMPONENT IN	VGA ケーブル (付属品) 
	WUX5000 WUX4000 WX6000 SX6000	 1 / COMPONENT IN	BNC ケーブル (市販品)  ミニ D-sub15 ピン BNC 端子変換ケーブル (市販品) BNC ケーブル (市販品)
アナログ PC-2	WX6000 SX6000	 DVI-I IN	VGA-DVI ケーブル (市販品) 
コンポー ネント	WUX5000 WUX4000 WX6000 SX6000	 1 / COMPONENT IN	コンポーネントケーブル (市販品)  D 端子プラグーRCA プラグ コンポーネント変換ケーブル (市販品)  RCA プラグーRCA プラグ コンポーネントケーブル (市販品)

ネットワークに接続する

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

設置する

ネットワークに接続する

メンテナンス

付録

索引

使用
説明書

設置
説明書

付録

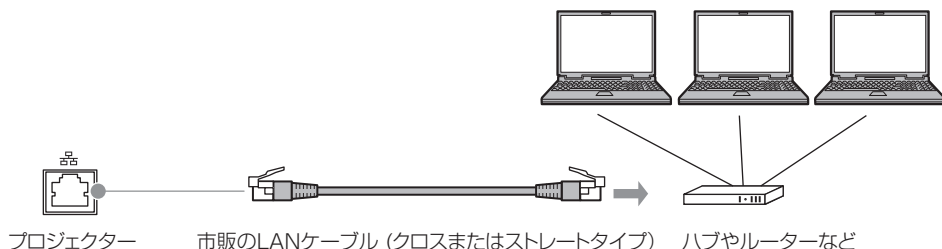
接続の準備

本機（プロジェクター）をネットワークに接続すれば、プロジェクターのエラー通知メールをコンピュータで受信したり、コンピュータからプロジェクターを制御したりできます。ネットワーク接続に関する設定は、プロジェクター側（P159）とコンピュータ側（P164）のどちらからでも行えます。

ネットワークへの接続方法により、コンピュータ側で準備が必要になる場合があります。以下では、コンピュータ側の準備について説明します。

接続方法について

LANを経由して、プロジェクターとコンピュータを接続します。



- プロジェクターの[ネットワーク機能]の設定が[切](ネットワーク接続が無効)になっている場合は、[入]に変更して有効にしてください（P160）。
- 「本機の情報を確認する」(P129)を参照して、プロジェクターのIPアドレスが、LAN上にある他のコンピュータなどと重複していないことを確認してください。プロジェクターのIPアドレスを設定する場合は、「コンピュータからネットワークを設定する」(P164)の手順にしたがってウェブ画面で行うか、プロジェクターのTCP / IP設定機能（P163）を使用して行います。
- 新しくネットワークにコンピュータを接続する場合は、コンピュータの設定も行う必要があります。この場合は、ネットワークの管理者にお問い合わせください。



接続するネットワーク環境でDHCPサーバーが稼働している場合は、プロジェクターの[DHCP]画面で[入]を選択し、DHCP機能を有効にして接続することができます（P162）。

IP アドレスの設定

コンピュータのIPアドレスを設定する方法をOSごとに説明します。

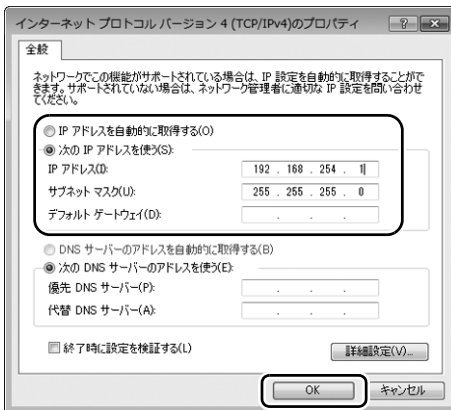
■Windows 7 の場合

- 1 コンピューターの [スタート] メニューで [コントロールパネル] を開きます。
- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックします。
- 3 ウィンドウの左側のメニューにある [アダプターの設定の変更] をクリックします。
- 4 [ローカルエリア接続] を右クリックして [プロパティ] を開きます。
- 5 [インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IP)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等) をメモしておきます。
- 6 [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

<例>

IP アドレス : 192.168.254.1

サブネットマスク : 255.255.255.0



- 7 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[ローカルエリア接続] のプロパティ画面の [閉じる] ボタンをクリックして閉じます。

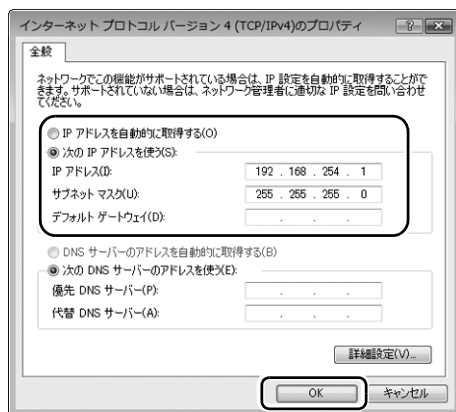
■Windows Vista の場合

- 1 コンピューターの [スタート] メニューで [コントロールパネル] を開きます。
- 2 [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックします。
- 3 ウィンドウの左側のメニューにある [ネットワーク接続の管理] をクリックします。
- 4 [ローカルエリア接続] を右クリックして [プロパティ] を開きます。
- 5 [インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IP)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等) をメモしておきます。
- 6 [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクトターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

<例>

IP アドレス : 192.168.254.1

サブネットマスク : 255.255.255.0



- 7 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[ローカルエリア接続] のプロパティ画面の [閉じる] ボタンをクリックして閉じます。

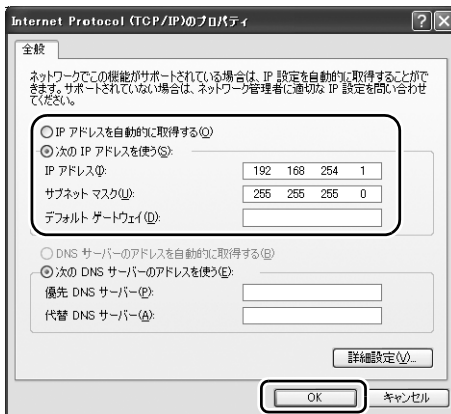
■Windows XP の場合

- 1 コンピューターの [スタート] メニューで [コントロールパネル] を開きます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続] を選んで [ネットワーク接続] を開きます。
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックして [プロパティ] を開きます。
- 4 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等) をメモしておきます。
- 5 [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

<例>

IP アドレス : 192.168.254.1

サブネットマスク : 255.255.255.0



- 6 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[ローカルエリア接続] のプロパティ画面の [閉じる] ボタンをクリックして閉じます。

■Mac OS X の場合

- 1 アップルメニューを開き、[システム環境設定] を選びます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの [ネットワーク] をクリックし、ネットワーク画面を表示します。
- 3 [内蔵 Ethernet] を選び、[TCP/IP] タブをクリックして、表示される変更前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、ルーター、DNS サーバーなど) をメモします。
- 4 新しいネットワーク環境を作成し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

<例>

IP アドレス : 192.168.254.1

サブネットマスク : 255.255.255.0



- 5 [適用] をクリックして、ネットワーク画面を閉じます。

■コンピューターの IP アドレスの設定を戻すとき

変更時と同じ手順で、メモしておいた内容にしたがって変更前の値を設定してください。

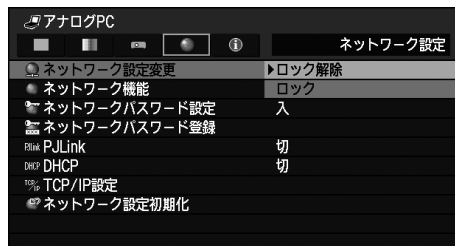
プロジェクターでネットワークを設定する

プロジェクターのメニュー画面の「ネットワーク設定」タブでネットワークの設定を行うことができます。メニューの操作については「メニューの使いかた」(P80) を参照してください(画面は、WUX5000 / WUX4000 です)。

ネットワーク設定変更をロックする

ネットワーク設定が変更できないようロックしたり、ロックを解除したりします。

【MENU】 > 【ネットワーク設定】 > 【ネットワーク設定変更】

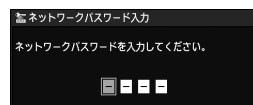


ロック解除

ロックを解除し、他のネットワーク設定項目を変更できるようにします。ロック解除にはパスワードの入力が必要です。

【ロック解除】を選択すると、次の画面が表示されるので、【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンを使い、4桁のネットワークパスワードを入力します。

WX6000 / SX6000 では、リモコンの数字ボタンで数字を入力することもできます。



ロック

ロックします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押して画面を閉じると、再びロックされます。ネットワーク設定を行う場合は、画面を閉じずに操作を続けてください。

- 工場出荷時は「ロック」です。
- ネットワークパスワードの初期値については 161 ページを参照してください。

ネットワークのロックを強制解除するには

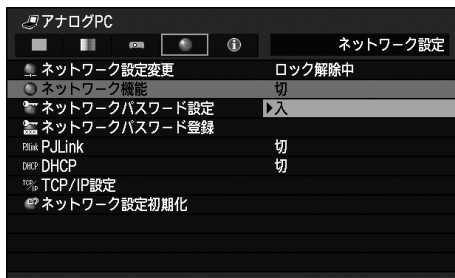
「ネットワークパスワード入力」画面で【▲】【OK】【▶】【OK】【▼】【OK】の順にボタンを押すと、ロックが解除されます。これによりネットワークパスワードは【▲】【▲】【▲】【▲】に初期化されます。

プロジェクターでネットワークを設定する

ネットワーク機能の入 / 切

プロジェクターのネットワーク機能の入 / 切を切り換えます。[切] にすると、消費電力を抑えることができます。

【MENU】>【ネットワーク設定】>【ネットワーク機能】



切 ネットワーク機能を無効にします。

入 ネットワーク機能を有効にします。

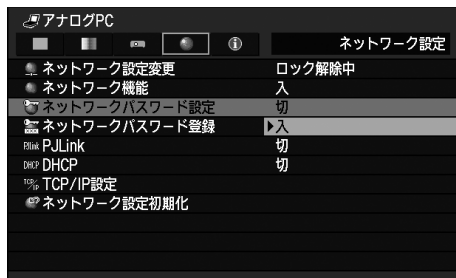
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン（WX6000 / SX6000）を押します。

- 工場出荷時は [切] です。

ネットワークパスワードを設定する

プロジェクターのネットワーク設定を変更するのにパスワードを必要とするかどうかを切り換えます。

【MENU】>【ネットワーク設定】>【ネットワークパスワード設定】



切 ネットワークパスワードを使用しません。

入 ネットワークパスワードを使用します。

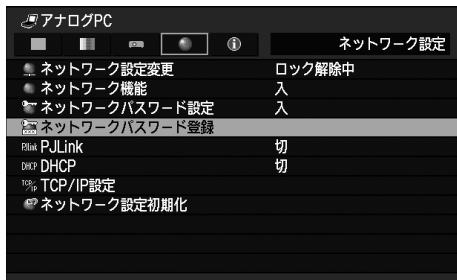
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン（WX6000 / SX6000）を押します。

- 工場出荷時は [入] です。

ネットワークパスワードを登録する

プロジェクターのネットワークパスワードを登録します。

[MENU] > [ネットワーク設定] > [ネットワークパスワード登録]



選択すると、次の画面が表示されます。

パスワードは4桁で入力します。

WUX5000 / WUX4000では、リモコンの【▼】【▲】【◀】【▶】ボタン、WX6000 / SX6000では、【1】～【0】の数字ボタンと【▼】【▲】【◀】【▶】ボタンの組み合わせで設定します。【▲】と【1】、【▶】と【2】、【▼】と【3】、【◀】と【4】は同じ設定となります。



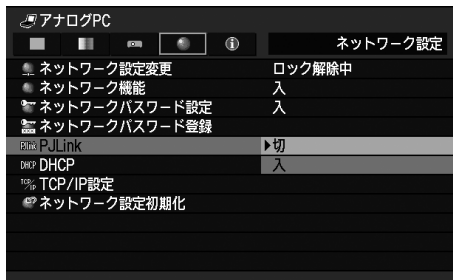
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は【▲】【▲】【▲】【▲】 (WUX5000 / WUX4000)、【1】【1】【1】【1】 (WX6000 / SX6000) です。

PJLink 機能の入 / 切

プロジェクターのPJLink 機能の入 / 切を切り換えます。【入】にすると、LAN経由でPJLink 規格にそったコマンドによる制御が行えます。

[MENU] > [ネットワーク設定] > [PJLink]



切 PJLink 機能を無効にします。

入 PJLink 機能を有効にします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン (WX6000 / SX6000) を押します。

- 工場出荷時は【入】です。
- このプロジェクターはJBMA (Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会) のPJLink 標準定義のClass1に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。
- PJLink の利用については「PJLink を設定する」(P174)を参照してください。

PJLinkとは

2003年9月、データプロジェクター部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。このPJLink 分科会の第1期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェイス仕様として PJLink が規定されました。

PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。

今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化をJBMIAによる推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1:プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化

基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り換えなど

プロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
1960年に発足した日本事務機械工業会が、2002年4月1日より改称した団体です。

PJLink サイトURL
<http://pjlink.jbmia.or.jp>

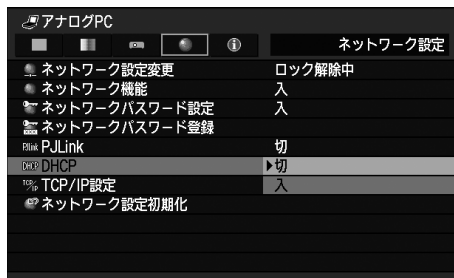
PJLink™

PJLink はJBMIAの登録商標です。

DHCP 機能の入 / 切

プロジェクターの DHCP 機能の入 / 切を切り換えます。

[MENU] > [ネットワーク設定] > [DHCP]



- | | |
|---|--|
| 切 | DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の設定が可能になります。 |
| 入 | DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスはDHCPサーバーから取得されるため、TCP / IP 設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力是不要になります。 |

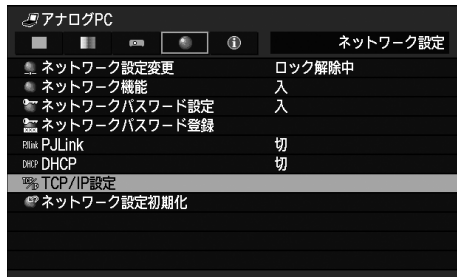
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタン(WX6000 / SX6000)を押します。

- 工場出荷時は [切] です。

TCP / IP の設定

プロジェクターのTCP/IPの設定を行います。

[MENU] > [ネットワーク設定] > [TCP/IP 設定]



選択すると、次の画面が表示されるので、【▲】【▼】ボタンでIPアドレスを選択し、【OK】ボタンを押します。次に【◀】【▶】ボタンで桁を選択し、【▲】【▼】ボタンで値を変更してください。WX6000 / SX6000 では、リモコンの数字ボタンで数字を入力することもできます。

【OK】ボタンを押し、同様にサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を変更します。最後に【確定】を選択します。

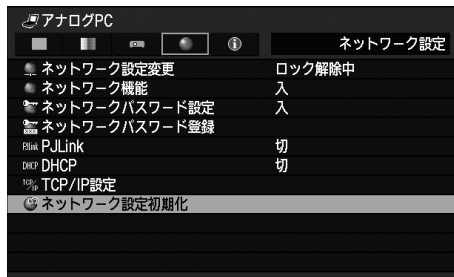


- 工場出荷時は以下の通りです。
IP アドレス 192.168.254.254
サブネットマスク 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス 0.0.0.0
- [DHCP] (P162) が [入] の場合は設定できません。
- 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。

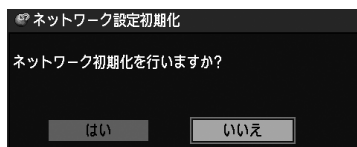
ネットワーク設定の初期化

プロジェクターのネットワーク設定を初期化します。

[MENU] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク設定初期化]



選択すると、次の画面が表示されるので、[はい]を選択し、【OK】ボタンを押します。



- 初期化されるのは以下の項目です。
ネットワーク設定画面のユーザー名、パスワードを含む各種設定
ネットワークパスワード設定
ネットワークパスワード登録
PJLink
DHCP
IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス
メール送信元アドレス
メール送信先アドレス
プロジェクター名
ロケーション

コンピューターからネットワークを設定する

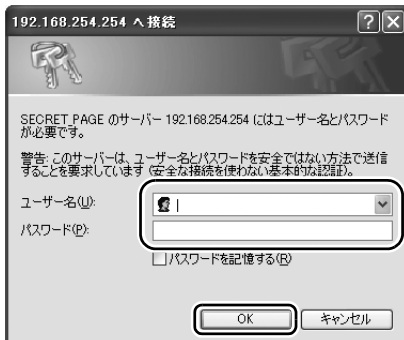
■ネットワーク設定画面の表示と設定

ウェブ・ブラウザの画面は、WUX4000 です。

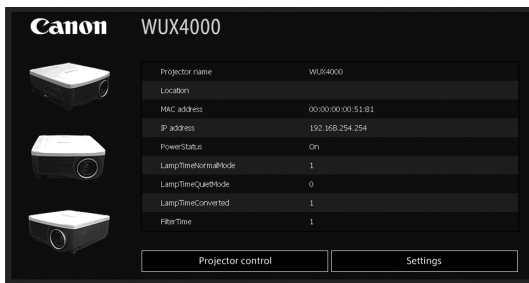
- 1 コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。
- 2 ウェブ・ブラウザを起動し、アドレスに「http://（プロジェクターの IP アドレス）」を入力して [Enter] キーを押します。
パスワード入力画面が表示されます。

❗ 工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。

- 3 パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワード「system」です。



ウェブ・ブラウザにプロジェクターのウェブ画面が表示されます。



コンピューターからネットワークを設定する

表示される情報は次の通りです。

Projector name	ネットワーク上でのプロジェクター名
Location	プロジェクターの設置場所
MAC address	プロジェクターの MAC アドレス
IP address	プロジェクターの IP アドレス
Power Status	プロジェクターの電源の状態
Lamp Time *1	ランプの使用時間
Lamp Time Normal Mode *2	ランプモード [標準] でのランプの使用時間
Lamp Time Quiet Mode *2	ランプモード [静音] でのランプの使用時間
Lamp Time Converted *2	ランプの使用時間 (換算値)
Filter Time	エアフィルターの使用時間
Alert	エラーメッセージ (エラーが発生した場合) Temperature abnormality : 温度エラー Faulty lamp : ランプエラー Faulty lamp cover : ランプカバーエラー Faulty cooling fan : ファンエラー Faulty power supply : 電源エラー Faulty lens connector : レンズコネクターエラー Faulty air filter unit : エアフィルターエラー Unknown error : その他のエラー

*1 WUX5000 / WX6000 / SX6000

*2 WUX4000



コンピューターからプロジェクターを操作する場合は [Projector control] をクリックします (P175)。

4 設定を行う場合は [Settings] をクリックします。 セッティング画面が表示されます。

コンピューターからネットワークを設定する

- 5** メニューから設定したい機能を選択し (①)、表示された各欄に設定内容を入力し (②)、[OK] をクリックします (③)。



WUX4000
WUX4000

Projector control Back to top

① Network
Mail
Mail auth
Send test mail
SNMP
Projector info.
PiLink
Initialize

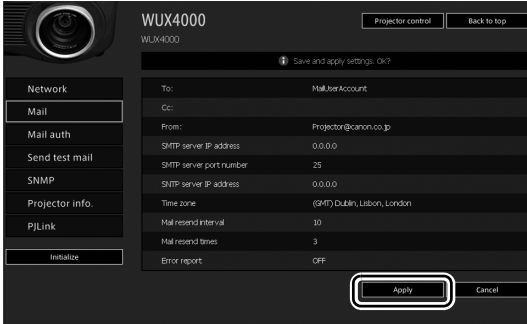
To:
Cc:
From:
SMTP server IP address
SMTP server port number
SMTP server IP address
Time zone
Mail resend interval
Mail resend times
Error report

Mail User Account
Projector@canon.co.jp
0.0.0.0
25
0.0.0.0
(GMT) Dublin, Lisbon, London
10
3
OFF

OK Cancel

③

- 6** 確認画面が表示されるので内容を確認し、よければ[Apply] をクリックします。



WUX4000
WUX4000

Projector control Back to top

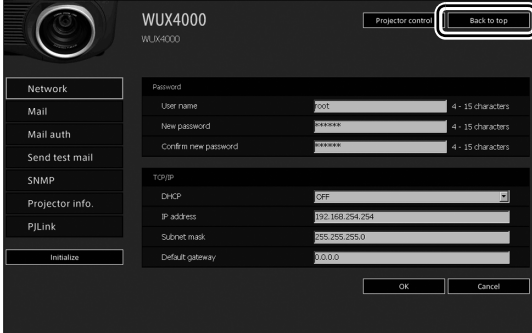
Save and apply settings. OK?

To: Mail User Account
Cc:
From: Projector@canon.co.jp
SMTP server IP address 0.0.0.0
SMTP server port number 25
SMTP server IP address 0.0.0.0
Time zone (GMT) Dublin, Lisbon, London
Mail resend interval 10
Mail resend times 3
Error report OFF

Apply Cancel

設定内容がプロジェクターに反映され「Save completed」と表示されます。

- 7** [Back to top] をクリックし、ウェブ画面の最初に戻ります。



WUX4000
WUX4000

Projector control Back to top

Network
Mail
Mail auth
Send test mail
SNMP
Projector info.
PiLink
Initialize

Password
User name root 4 - 15 characters
New password ***** 4 - 15 characters
Confirm new password ***** 4 - 15 characters
IPv4
DHCP OFF
IP address 192.168.254.254
Subnet mask 255.255.255.0
Default gateway 0.0.0.0

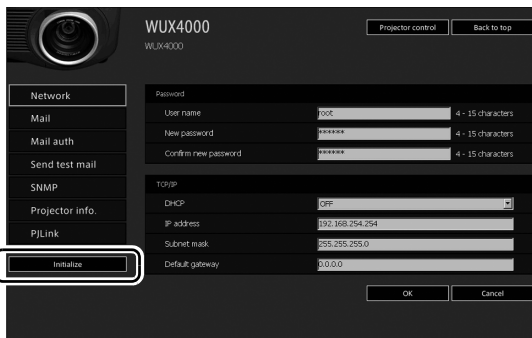
OK Cancel

コンピューターからネットワークを設定する

■工場出荷時の設定に戻すとき

1 「ネットワーク設定画面の表示と設定」(P164) の手順 1 ～ 3 を行い、セッティング画面を表示します。

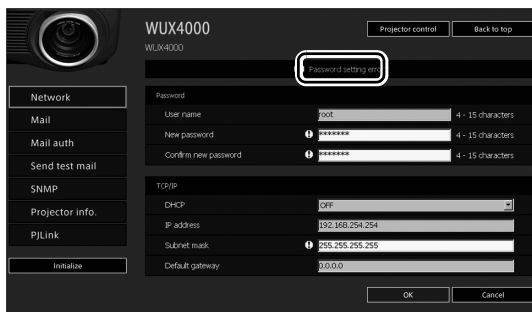
2 [Initialize] をクリックします。



3 確認画面が表示されるので、[OK] をクリックします。

■設定時のエラーについて

設定に関してエラーが発生した場合は、画面にエラー名が表示され、エラーの原因となっている入力欄に「!」マークが表示されます。



コンピューターからネットワークを設定する

エラーの意味は以下の通りです。

エラー	意味
Input error	各設定画面で有効範囲外の設定がされた。
Password setting error	設定したパスワードと確認パスワードが一致しない。
Invalid SMTP	SMTP サーバーの IP アドレスが設定されていない。
System failed to connect SMTP server.	テストメール送信時にSMTPサーバーとの接続に失敗した。
System failed to connect POP3 server.	テストメール送信時にPOP3サーバーとの接続に失敗した。
System doesn't support this auth type.	サーバー側でサポートしていない認証タイプを設定した。
System failed to authenticate.	テストメール送信時に認証が失敗した。
The system failed to send the test mail.	SMTPサーバーとの接続または通常発生しないエラーによりテストメール送信が失敗した。
Save Failed	複数のコンピューターから、設定が同時に変更されたことにより設定値に不整合が生じた。

ネットワークを設定する

■基本情報の設定 [Network]

セッティング画面の [Network] では、ウェブ画面へのログインとネットワークの基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示と設定」(P164)を参照してください。

The screenshot shows the 'Network' configuration page for the WUX4000 projector. On the left is a sidebar with options: Network, Mail, Mail auth, Send test mail, SNMP, Projector info., PLink, and Initialize. The main area is titled 'Password' and contains three input fields: 'User name' with 'root', 'New password' with 'system', and 'Confirm new password' with 'system'. Each field has a character count indicator (4 ~ 15 characters). Below this is the 'TCP/IP' section with a 'DHCP' dropdown set to 'OFF', and three input fields for 'IP address' (192.168.254.254), 'Subnet mask' (255.255.255.0), and 'Default gateway' (0.0.0.0). At the bottom are 'OK' and 'Cancel' buttons.

項目	説明	工場出荷時の設定
Password		
User name	ウェブ画面にログインする際のユーザ名を半角の英数字・記号(4～15文字)で入力します。	root
New password	ウェブ画面にログインする際のパスワードを半角の英数字・記号(4～15文字)で入力します。	system
Confirm new password	確認のため、[New password]と同じパスワードを入力します。	system
TCP/IP		
DHCP	DHCP 機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、IP アドレスはサーバーから取得されるため、[IP address]、[Subnet mask]、[Default gateway] は入力できなくなります。	OFF
IP address	プロジェクターのIPアドレスを半角数字で入力します。	192.168.254.254
Subnet mask	サブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0
Default gateway	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0



TCP / IP に関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続しなおす必要があります。
ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で [Subnet mask] を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。

ネットワークを設定する

■メールを設定する [Mail]

セッティング画面の [Mail] では、エラーメール送信およびテストメール送信を行うために必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示と設定」(P164)を参照してください。

WUX4000
WUX4000

Projector control Back to top

Network
Mail
Mail auth
Send test mail
SNMP
Projector info.
PiLink
Initialize

To: MailUserAccount
Cc:
From: Projector@canon.co.jp
SMTP server IP address 0.0.0.0
SMTP server port number 25
SNTP server IP address 0.0.0.0
Time zone (GMT) Dublin, Lisbon, London
Mail resend interval 10
Mail resend times 3
Error report OFF

OK Cancel

項目	説明	工場出荷時の設定
To:	エラーメールの送信先アドレスを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	MailUserAccount
Cc:	エラーメールのCC送信先アドレスを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	< 空欄 >
From:	エラーメールの送信元メールアドレスを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	Projector@canon.co.jp
SMTP server IP address	SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
SMTP server port number	SMTP サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	25
SNTP server IP address	SNTPサーバーのIPアドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
Time zone	プロジェクターを使用する場所のタイムゾーンを選択します。	(GMT) Dublin, Lisbon, London
Mail resend interval	エラーメール再送間隔(秒単位) を 0 ～ 59 秒の範囲で半角の数字で入力します。	10
Mail resend times	エラーメール再送回数を 0 ～ 255 回の範囲で半角の数字で入力します。	3
Error report	エラーメール送信機能の ON / OFF を選択します。	OFF

■メール認証を設定する [Mail auth]

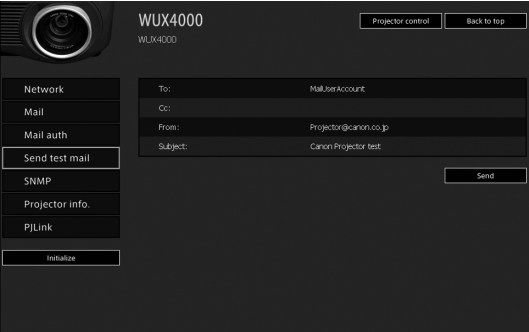
セッティング画面の [Mail auth] では、エラーが発生したときに送信されるメールの認証について設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示と設定」(P164) を参照してください。

項目	説明	工場出荷時の設定
Mail authentication	メール認証方式を選択します。OFFの場合は、メール認証の他の項目は変更できません。	OFF
User name	メール認証を行うためのユーザー名を半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	< 空欄 >
Password	メール認証を行うためのパスワードを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	< 空欄 >
Confirm password	確認のため [Password] と同じパスワードを入力します。	< 空欄 >
POP3 server IP address	POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
POP3 server port number	POP3 サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	110
POP before SMTP response time	POP3 認証から SMTP 認証までの待機時間（ミリ秒単位）を半角数値（0 ～ 9999 ミリ秒）で入力します。	300

ネットワークを設定する

■テストメールを送信する【Send test mail】

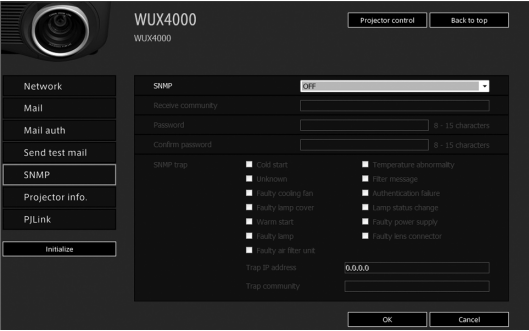
セッティング画面の【Send test mail】では、【Mail】で設定したメールアドレスに対し、テストメールを送信することができます。この画面では各項目の内容を変更することはできません。



項目	説明
To:	セッティング画面の【Mail】（P170）で設定した送信先アドレスが表示されます。
Cc:	セッティング画面の【Mail】（P170）で設定した CC 送信先アドレスが表示されます。
From:	セッティング画面の【Mail】（P170）で設定した送信名が表示されます。
Subject:	固定のメールタイトル「Canon Projector test」が表示されます。

■SNMP を設定する【SNMP】

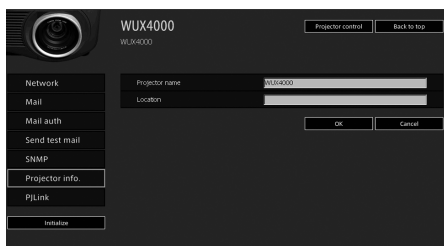
セッティング画面の【SNMP】では、SNMP（Simple Network Management Protocol）を利用したプロジェクターの管理について設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示と設定」（P164）を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
SNMP	SNMP 機能のバージョンを選択します。OFF の場合、SNMP 機能はオフになり、この画面の他の項目は変更できなくなります。	OFF
Receive community	プロジェクター情報を受信するコミュニティ名を半角の英数字・記号 (1 ～ 15 文字) で入力します。	< 空欄 >
Password	コミュニティ設定のパスワードを半角の英数字・記号 (8 ～ 15 文字) で入力します。これはトラップ時のパスワードとしても使用されます。SNMP のバージョンが V3 の場合のみ設定できます。	< 空欄 >
Confirm password	確認のため、[Password] と同じパスワードを入力します。	< 空欄 >
SNMP trap	トラップするエラー種別を選択します。いずれかのチェックボックスを ON にすると、[Trap IP address]、[Trap community] の設定ができるようになります。	OFF (チェックなし)
Trap IP address	トラップ発生時に情報を送信する先の IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
Trap community	トラップ発生時に情報を送信するコミュニティ名を半角の英数字・記号 (1 ～ 15 文字) で入力します。	< 空欄 >

■プロジェクター情報を設定する [Projector info.]

セッティング画面の [Projector info.] では、複数のプロジェクターがネットワーク上にある場合の識別を行うための名前と場所名を設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示と設定」(P164) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
Projector name	プロジェクター名を半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	WUX5000 / WUX4000 / WX6000 / SX6000
Location	プロジェクターの設置場所を半角の英数字・記号 (0 ～ 63 文字) で入力します。	< 空欄 >

■PJLink を設定する [PJLink]

セッティング画面の[PJLink]では、ネットワークでのプロジェクター管理の規格であるPJLink機能について設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示と設定」(P164) を参照してください。また、PJ Link については「PJLink とは」(P162) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
PJLink	PJLink機能のON / OFFを選択します。OFF の場合、PJLink 機能はオフになり、この画面の他の項目は変更できなくなります。	ON
PJLink authentication	PJLink 認証機能のON / OFFを選択します。OFF の場合、[Password] と [Confirm password] は変更できません。	ON
Password	PJLink 認証パスワードを半角の英数字（1 ～ 32 文字）で入力します。	system
Confirm password	確認のため [Password] と同じパスワードを入力します。	system

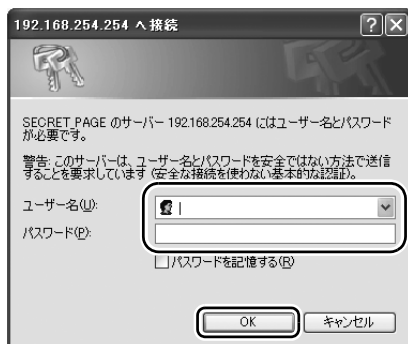
コンピューターからプロジェクターを制御する

本機をネットワークに接続することで、ネットワーク経由でコンピューターから本機の制御が行えます。

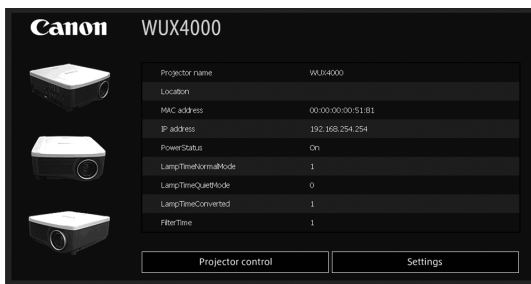
- 1 コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。**
- 2 ウェブ・ブラウザを起動し、アドレスに「http://（プロジェクターの IP アドレス）」を入力して [Enter] キーを押します。**

パスワード入力画面が表示されます。
工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」です。プロジェクターのメニューから IP アドレスを確認することができます。
- 3 パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワード「system」です。



- 4 ウェブ・ブラウザにプロジェクターのウェブ画面が表示されるので、[Projector control] をクリックします。**



コンピューターからプロジェクターを制御する

5 プロジェクター制御画面が表示されます。この画面でプロジェクターの制御を行います。



項目	説明
Projector name	接続しているプロジェクター名が表示されます。(P173)
IP address	接続しているプロジェクターのIP アドレスが表示されます。(P169)
Refresh	表示内容を最新のものに更新します。
Power	プロジェクターの電源を入 / 切します。
Input	入力信号を選択し、[Apply] をクリックすると、入力信号が切り換わります。(P51)
Aspect	アスペクトを選択し、[Apply] をクリックすると、アスペクトが切り換わります。(P61)
Image mode	イメージモードを選択し、[Apply] をクリックすると、イメージモードが切り換わります。(P69)
Blank	ブランク設定のオン・オフを切り換えます。(P74)
Mute	ミュート設定のオン・オフを切り換えます。(P75)
Auto PC	オート PC を実行します。(P54)
Information	画面上部に制御結果や制御エラーの情報が表示されます。

6 作業が終わったら、[Back to top] をクリックし、最初のウェブ画面に戻ります。



エラーメール

プロジェクターにエラーが発生したときは、次のエラー表のメッセージが英文で送信されます。

エラー表

温度に関するエラー	件名	Temperature abnormality
	本文	The temperature inside the projector is too high for some reason or the outside air temperature is higher than the specified one. If the problem is inside the projector, check whether the projector is installed and operated normally, turn off the projector to cool its inside, and retry projection. If the same warning occurs again, the projector may be defective. Contact your dealer.
	内容	プロジェクター内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。プロジェクター側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、プロジェクターの内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。再度、同じウォーニングが出る場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ランプに関するエラー	件名	Faulty lamp
	本文	The lamp has burnt out. Replace the lamp with a new one. If the same warning occurs again, the lamp drive circuit may be defective. Contact your dealer.
	内容	ランプが切れました。新しいランプに交換してください。ランプを交換しても同じウォーニングが表示される場合は、ランプの駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ランプカバーに関するエラー	件名	Faulty lamp cover
	本文	The lamp cover is open. Check whether the lamp cover is installed properly. If it is installed properly, the lamp cover detection switch may be defective. Contact your dealer.
	内容	ランプカバーが開いています。電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けした後、再度電源を入れ直してください。ランプカバーに問題がない場合は、ランプカバー検出スイッチなどの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
冷却ファンに関するエラー	件名	Faulty cooling fan
	本文	The cooling fan or another component may be defective. Contact your dealer.
	内容	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じウォーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

エラーメール

電源に関するエラー	件名	Faulty power supply
	本文	The voltage of part of the power supply is abnormally high or any other problem has occurred in the power supply. Contact your dealer.
	内容	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じウォーニングが表示される場合は、キャノンお客様相談センターにご連絡ください。
レンズコネクタに関するエラー	件名	Faulty lens connector
	本文	The lens cable is not connected to the lens unit. Check whether the lens cable is connected to the lens unit properly. If it is connected properly, the lens connector or cable may be defective. Contact your dealer.
	内容	レンズユニットとレンズケーブルが正しく接続されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットとレンズケーブルを正しく接続してください。再度電源プラグをコンセントに接続してください。レンズコネクタの異常がふたたび発生する場合は、キャノンお客様相談センターにご連絡ください。
エアフィルターに関するエラー	件名	Faulty air filter unit
	本文	The air filter unit is not installed properly. Check whether the air filter unit is installed properly. If it is installed properly, the air filter unit detection switch may be defective. Contact your dealer.
	内容	エアフィルターの装着異常です。エアフィルターを正しく装着し電源を入れなおしてください。再度、同じウォーニングが表示される場合は、キャノンお客様相談センターにご連絡ください。
その他のエラー	件名	Unknown Error
	本文	16進数によるコード*

* 詳しくはキャノンお客様相談センターにお問い合わせください

メンテナンス

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

設置する

ネットワークに接続する

メンテナンス

付録

索引

使用
説明書

設置
説明書

付
録

本体を清掃する

本機に、ホコリなどがたまらないようにこまめに清掃してください。
レンズ表面が汚れると、投写する映像に影響が出る場合があります。

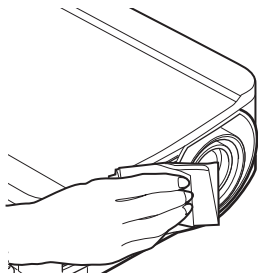


本体を清掃するときは、必ず本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上放置してから行ってください。電源を切った直後は、本体が大変高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。

本体や本体操作部の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、ふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



- ベンジンや揮発性の清掃液を使用すると、変質したり塗装がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きをよくお読みください。
- レンズの清掃は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナーを使用してください。レンズの表面は傷が付きやすいので、固い布やティッシュペーパーなどは使用しないでください。



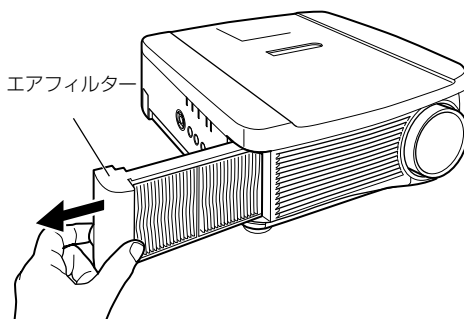
エアフィルターを交換・清掃する

エアフィルターの交換

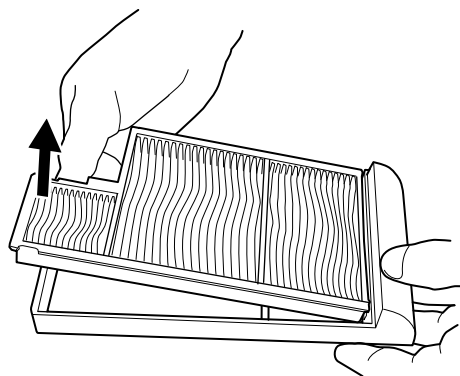
エアフィルターの交換は次の手順で行ってください。

1 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。

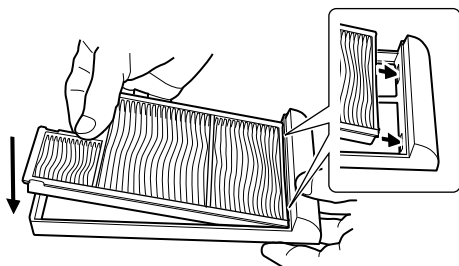
2 本体側面のエアフィルターの取っ手に指をかけてエアフィルターを引き出し、取り外します。



3 エアフィルターの枠からフィルターを取り外します。先に奥側にあるツメのかみ合わせを外してから、エアフィルター全体を枠から外してください。

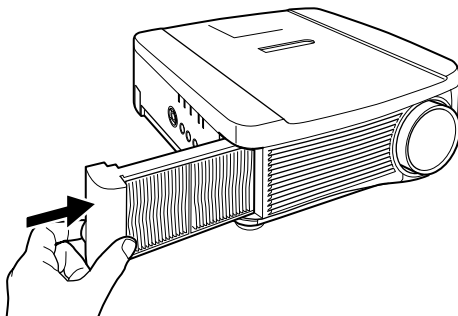


4 新しいエアフィルターを枠に取り付けます。エアフィルターのツメを枠の取っ手側の溝にはめてから、エアフィルターの奥側を押し込んでください。



エアフィルターを交換・清掃する

5 エアフィルターを本機に奥までしっかり取り付けます。



- エアフィルターはていねいに扱ってください。破損するとエアフィルターの効果が損なわれます。
- ランプの交換時にエアフィルター交換をお薦めします。
- エアフィルターのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 交換エアフィルター 品番：RS-FL01
- キヤノンのホームページ
(http://store.canon.jp/user/ListProducts/list?svid=2&sc=LMPPR&jsp=/jsp/search/search_item_acc.jsp) から購入できます。

エアフィルターの清掃

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると、空気の流れが悪くなり、内部の温度が上昇して故障の原因となります。エアフィルターの清掃が必要な時間（約 300 時間）になると、本機の電源を入れたときに次の画面が表示されますので、エアフィルターを清掃してください。



フィルタ清掃

フィルタを清掃してください。

清掃済みの場合は【はい】を選んでください。
このメッセージが出なくなります。

はい

いいえ

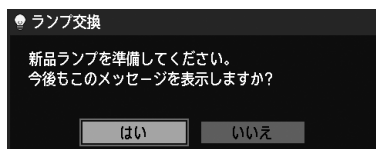
- この画面の表示中は【◀】、【▶】、【OK】、【POWER】ボタンのみ反応します。（【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。）
- 10 秒後にこの画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。

- 本機の電源を切り、電源プラグ抜いてください。
- エアフィルターは、本体側面のエアフィルターの取っ手に指をかけてエアフィルターを取り外し、掃除機でホコリを吸い取ってください。
- エアフィルターの清掃後、本機の電源を入れたときにフィルター交換の画面が表示されたら「はい」を選んで【OK】を押してください。フィルター交換の画面が表示されなくなります。
- [フィルター清掃警告表示] を「切」に設定した場合は、この画面は表示されません。(WX6000 / SX6000) (P125)

ランプを交換する

ランプの使用時間が一定の時間を越えると、本機の電源を入れるたびに、次の画面（2 種類）が 10 秒間表示されます。

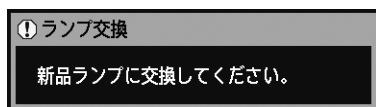
2,700 時間以上 3,000 時間未満



この画面が表示されたら、交換ランプを用意してください。

- この画面の表示中は【◀】、【▶】、【OK】、【POWER】ボタンのみ使用できます。
- 【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 10 秒後に上の画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。
- 「今後もこのメッセージを表示しますか？」で【いいえ】を選ぶと、この画面は表示されなくなります。

3,000 時間以上



この画面が表示されたら、184 ページの手順でランプを交換してください。

- この画面の表示中は、【POWER】ボタンのみ使用できます。
- 【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 10 秒後に上の画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。
- ランプの使用時間はシステム設定メニューの【ランプカウンター】で確認してください。(P123)
- 【ランプ交換警告表示】を「切」に設定した場合は、これらの画面は表示されません。(WX6000 / SX6000) (P123)

ランプを交換する

交換用のランプについて

本機では、次のランプを使用しています。

ランプの品番：RS-LP06（WUX4000）

RS-LP07（WUX5000 / WX6000 / SX6000）

ご購入の際は、販売店にご相談ください。



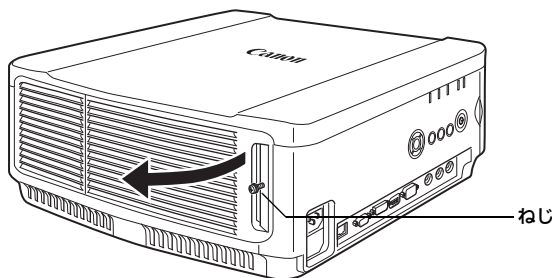
ランプを交換するときは、本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上放置してから行ってください。電源を切った直後は、本体が大変高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。



- ・ ランプは、必ず指定のものを使用してください。
- ・ ランプのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。キャノンのホームページ（http://store.canon.jp/user/ListProducts/list?svid=2&sc=LMPPR&jsp=/jsp/search/search_item_acc.jsp）からも購入できます。
- ・ ランプ交換の際は、内部のガラス面などに触れないでください。投写の性能が下がるなどの原因になります。
- ・ ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破損する場合がありますので、取り扱いにご注意ください。万が一ランプが破損した場合は、販売店に連絡し、「ランプの破損についてのご注意」（P16）の、「ランプの取り扱いについてのご注意」（P17）の指示にしたがってください。
- ・ ランプを交換の際は、指定のねじ以外ははずさないでください。

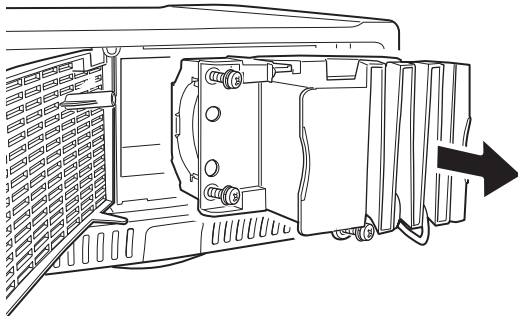
ランプ交換手順

- 1 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。
- 2 ねじを 1 か所ゆるめ、ランプカバーを矢印の方向に開きます。
ランプカバーのねじはランプカバーに取りついて、外れないようになっています。



- 3** ランプユニットの奥にあるねじ3か所をゆるめ、ランプユニットを矢印の方向にゆっくり引き出します。

ねじをゆるめても、ねじはランプユニットから外れません。



- 4** 新しいランプユニットを奥までしっかり押し込み、ねじ3本で固定します。

- 5** ランプカバーを閉め、ねじをしめます。

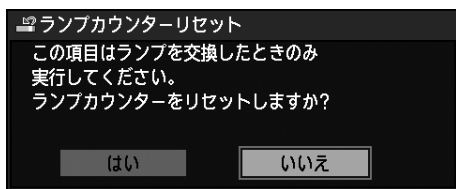
- 6** 電源を入れ、メニューを表示し、[システム設定] - [その他の設定] の [ランプカウンター] を選びます。



(画面はWUX5000 / WUX4000 です)

ランプを交換する

- 7 [リセット] を選び、[はい] を選んで、ランプカウンターをリセットします。



(画面はWUX5000 / WUX4000です)



- ランプの交換時にエアフィルターの交換をお薦めします。
- エアフィルターのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 交換エアフィルター 品番 : RS-FL01

**POWER
PROJECTOR
WUX5000
WUX4000
WX6000
SX6000**

付録



付録

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

設置する

ネットワークに接続する

メンテナンス

付録

索引

使用説明書

設置説明書

付録

LED インジケータの見かた

本機に異常が発生すると、電源が切れた後本体側面部の LED インジケータが点灯または点滅し続けます。

- 本機の冷却が終了した後に、電源コードを抜いてから対処してください。

LED インジケータの状態	内容	原因と対処
WARNING と TEMP が点灯	温度の異常	本機内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。本機側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、本機の内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。再度、同じウォーニングが出る場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNING と LAMP が点灯	ランプの異常	ランプが点灯しません。電源を入れ直して、ランプが点灯するか確認してください。また、吸気口や排気口がふさがれていないか、エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。空気の流れが悪くなり、本機内部の温度が上昇すると、表示されることがあります。エアフィルターが目詰まりしている場合は、清掃または交換を行ってください。(P181、P182) それでもランプが点灯しない場合は、新しいランプに交換してください。ランプを交換しても同じウォーニングが出る場合は、ランプの駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNING が 3 回点滅を繰り返し、LAMP が点灯	ランプカバーの異常	ランプカバーが開いています。電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けした後、再度電源を入れ直してください。ランプカバーに問題がない場合は、ランプカバー検出スイッチなどの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNING のみが 4 回点滅を繰り返す	冷却ファンの異常	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じウォーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNING のみが 5 回点滅を繰り返す	電源の異常	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じウォーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

LED インジケーターの状態	内容	原因と対処
WARNINGの みが6回点滅 を繰り返す	レンズコネク ターの異常	レンズユニットとプロジェクター本体をつなぐレンズコネク ターが外れています。キヤノンお客様相談センターにご連 絡ください。
WARNINGの みが3回点滅 を繰り返す	フィルター異常	エアフィルターが取り付けられていません。エアフィルター が正しく取り付けられているか確認してください。再度、同 じウォーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センター にご連絡ください。

困ったときのアドバイス

■電源が入らない

原 因	対処のしかた
電源コードが正しく接続さ れていない	電源コードがきちんと接続されていることを確認してください。 (P48)
電源コードを接続した直後 である	電源プラグを接続して [STAND BY] インジケーターが赤く点灯 するまでは、電源を入れることができません。(P48)
ランプカバーが開いている	電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付 けた後、再度電源を入れ直してください。
吸気口または排気口がふさ がれて本機内部の温度が上 昇し、安全装置が作動した	安全装置の作動中は、電源コードを接続しても [STAND BY] イン ジケーターは点灯しません。なお安全装置は安全のため、お客 様が解除できないようになっています。吸気口または排気口をふ さいでるものを取り除き、キヤノンお客様相談センターにご連絡 ください。
レンズコネクターが正しく 接続されていない	レンズユニットとプロジェクター本体をつなぐレンズコネク ターが外れています。キヤノンお客様相談センターにご連絡くだ さい。
エアフィルターが正しく取 り付けられていない	エアフィルターが正しく取り付けられていることを確認してく ださい。(P181)
キーロックが設定されている	本体またはリモコンのキーロック (P112) が設定されているか 確認してください。

■映像が投写されない

原 因	対処のしかた
接続ケーブルが正しく接続 されていない	コンピューターや AV 機器とプロジェクターとが正しく接続され ていることを確認してください。(P44、P51)
電源を入れて 20 秒経過して いない	電源を入れたら、約 20 秒間オープニング画面が表示されます。す ぐに映像を投写する場合は、リモコンまたは本体操作部の【OK】 ボタンを押してください。(P48)

困ったときには

原 因	対処のしかた
AV 機器から映像が送られていない	接続したビデオカメラ、DVD 等で、映像の再生が行われていることを確認してください。
入力端子への接続が正しくない	接続している機器が本機の入力端子へ正しく接続されていることを確認してください。(P39)
接続機器の入力信号が選ばれていない	接続している機器と同じ入力信号が正しく [INPUT] メニューから選ばれていることを確認してください。(P52)
入力信号の形式が合っていない	入力信号の形式が正しく選ばれていることを確認してください。(P86、P206)
【BLANK】になっている	リモコンの【BLANK】ボタンを押してください。(P74)
コンピューター側の問題で映像が送られない	プロジェクター、コンピューターの順で電源を入れなおしてください。
ノート型コンピューター側の外部モニターへの出力が正しく設定されていない	ノート型コンピューターの外部モニターへの出力をオンに設定してください。外部モニターへの出力をオンにするには、コンピューターのキーボードの [Fn] を押しながら、[LCD] や [VGA] または画面のアイコンが表記されたファンクションキーを押します。Windows 7 では Windows ロゴキーを押しながら P キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。(P50) なお、キー操作はノート型コンピューターの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書などを確認してください。
コンピューターの画面と同じ映像が表示されない	コンピューターの画面設定が2画面(マルチディスプレイ)モードになっていないかを確認してください。2画面モードになっている場合は、コンピューター側の操作で出力設定を同時表示モードにしてください。 なお、出力設定の方法はコンピューターによって異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの取扱説明書などを確認してください。

■音声が出ない

原 因	対処のしかた
音声ケーブルが正しく接続されていない	音声ケーブルの接続を確認してください。(P150)
【MUTE】になっている	リモコンの【MUTE】ボタンを押してください。(P75)
音量が最小に調整されている	リモコンの【VOL】ボタンまたは本体操作部の【VOL+】ボタンを押して音量を調整してください。(P75)
抵抗内蔵の音声ケーブルが使用されている	音声ケーブルは、抵抗なしのものを使用してください。
音声入力端子の選択が「切」になっている (WX6000 / SX6000)	適切な音声入力端子の設定に変更してください。(P126)

■映像が鮮明でない

原 因	対処のしかた
フォーカスが合っていない	フォーカスを調整してください。(P64)
スクリーンまでの距離が近すぎる	スクリーンとの距離が適正であるか確認してください。標準ズームレンズで約1.3m以上離れないと、ピントが合いません。(P144)
本機がスクリーンの正面に置かれていない	スクリーンに対して過度に斜め方向から投写していないか確認してください。ある程度の角度であれば、台形ひずみの補正機能で補正できます。(P67)
温度差の激しい場所に移動した	温度の低い場所から温度の高い場所に移動した場合、レンズにくもりが発生する場合があります。しばらくすると、くもりは消え、正常な画面の投写が可能になります。
レンズが汚れている	レンズを清掃してください。(P180)
トラッキングが合っていない	[オートPC]または[トラッキング]でトラッキングを調整してください。(P54、P88)

■映像が正しく表示されない

原 因	対処のしかた
映像が上下、または左右逆に投写される	天吊り / リア投写の設定に誤りがあります。表示設定メニューで[反転表示]の設定内容を確認してください。(P95)
BNCケーブル使用時に、ドットクロックが162MHzを越える信号を入力している	コンピューター側で、信号のドットクロックを162MHz以下に設定してください。
一部のピンが結線されていないVGAケーブルを使用している	全てのピンが結線されたVGAケーブルを使用してください。

■電源が切れてしまう

原 因	対処のしかた
吸気口または排気口がふさがれている	吸気口または排気口がふさがれていないか確認してください。吸気口または排気口がふさがれていると、本機内部の温度が上昇し、本体保護のために自動的に電源が切れるようになっています。（[WARNING] インジケータと[TEMP] インジケータが点灯します。）本機の温度が下がってから、吸気口または排気口をふさがないようにして、再度電源を入れてください。(P24、P48)
エアフィルターが汚れている	エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。 目詰まりしている場合はエアフィルターの清掃または交換を行ってください。(P181)

原 因	対処のしかた
ランプが破損している (またはランプの異常)	ランプが破損していないか確認してください。 ランプが破損している場合は16ページの「ランプについての安全上のご注意」にしたがって対応してください。ランプが破損していない場合でも、ランプの異常が考えられるので、予備のランプをお持ちの場合は交換してお試してください。(P17、P183、P184)
使用環境が適正でない	使用環境が5℃～35℃であることを確認してください。(P18) 海拔2300m以上の高地で使用する場合は、販売店にご相談ください。

■リモコンの操作ができない

原 因	対処のしかた
電池が正しく入っていない / 電池が切れている	電池が正しく入っているか確認してください。電池が入っている場合は、新しい電池と交換してください。(P21)
リモコンの届かない位置から操作している	プロジェクター本体のリモコン受光範囲内で操作しているか確認してください。(P22)
リモコンと本機の間障害物がある	プロジェクター本体のリモコン受光部とリモコンの間の障害物を取り除くか、障害物のない位置でリモコンを操作してください。
リモコンの使用環境が適正でない	プロジェクター本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていないか確認してください。(P22)
リモコンのチャンネル設定が合っていない	リモコンのチャンネル設定を切り換えていないか確認してください。システム設定メニューで「リモコン」の設定を確認できます。(P113)
キーロックでリモコンの操作を禁止している	「キーロック」でリモコンからの操作がロックされていないか確認してください。 システム設定メニューで「キーロック」を「切」に設定してください。(P112)
赤外線を使用する場合、ケーブルがプロジェクター本体またはリモコンのワイヤードリモコン用端子に接続されている (WX6000 / SX6000)	プロジェクター本体またはリモコンのワイヤードリモコン用端子に接続されているケーブルを抜いてください。(P23)
ケーブルで接続して使用する場合、ケーブルがプロジェクター本体またはリモコンのワイヤードリモコン用端子から抜けている (WX6000 / SX6000)	ケーブルが接続されてることをご確認ください。また、ケーブルが断線していないかをご確認ください。(P23)

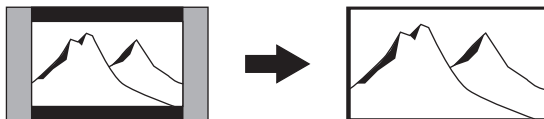
上記に該当する原因が見つからない場合、故障している可能性があります。
すみやかにキャノンお客様相談センターまでご相談ください。

アスペクトとスクリーンアスペクトの関係

スクリーンアスペクト（P55）とアスペクト（P61）の関係を説明します。

スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの横縦比、入力信号の種類などに合わせて、最適なスクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。

- 16:9の映像ソフトが［オート］で正常に投写されない場合は、アスペクトを［16:9］に設定してください。
- 地上波の映画放送などで、16:9の映像の上下に黒枠があるときは、アスペクトで［ズーム］を選ぶことで、16:9の領域を16:9スクリーンいっぱいに投写することができます。

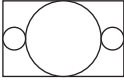
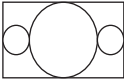
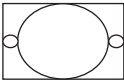


なお［ズーム］は、入力信号や解像度により選択できない場合があります。

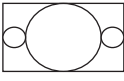
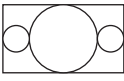
- 台形ひずみの補正（P67）を行うときは、スクリーンアスペクトを［16:10］、［4:3］または［16:9］に設定してください。

WUX5000 / WUX4000 の場合

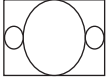
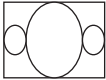
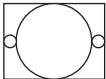
■16 : 10 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16 : 10]	[フル] [オート]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[フル]	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[フル]	

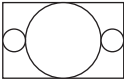
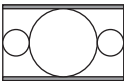
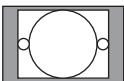
■16 : 9 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16 : 9] [16 : 9 D イメージシフト]	[16 : 9]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16 : 9] [オート]	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[16 : 9]	

■4 : 3 のスクリーンいっぱいに投写するとき

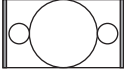
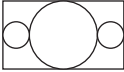
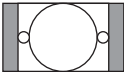
接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[4 : 3] [4 : 3] D イメージシフト]	[4 : 3]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[4 : 3]	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4 : 3] [オート]	

■16 : 10 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

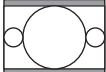
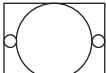
接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16 : 10]	[フル] [オート]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16 : 9] [オート]	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4 : 3] [オート]	

アスペクトとスクリーンアスペクトの関係

■16 : 9 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16 : 9] [16 : 9 D イメージシフト]	[オート]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16 : 9] [オート]	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4 : 3] [オート]	

■4 : 3 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

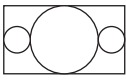
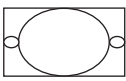
接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[4 : 3] [4 : 3 D イメージシフト]	[オート]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16 : 9] [オート]	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4 : 3] [オート]	

WX6000 の場合

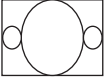
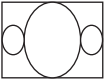
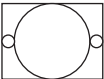
■16 : 10 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16 : 10]	[16 : 10] [オート]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16 : 10]	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[16 : 10]	

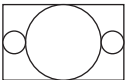
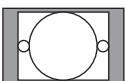
■16 : 9 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16 : 9] [16 : 9 D イメージシフト]	[16 : 9]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16 : 9] [オート]	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[16 : 9]	

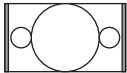
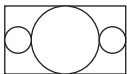
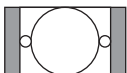
■4：3のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[4：3] [4：3 D イメージシフト]	[4：3]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[4：3]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

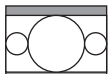
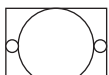
■16：10のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16：10]	[16：10] [オート]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16：9] [オート]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

■16：9のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16：9] [16：9 D イメージシフト]	[16：10] [オート]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16：9] [オート]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

■4：3のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

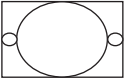
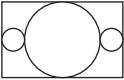
接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[4：3] [4：3 D イメージシフト]	[16：10] [オート]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16：9] [オート]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

SX6000 の場合

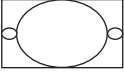
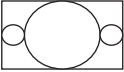
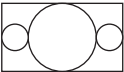
■4 : 3 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480	[4 : 3]	[4 : 3] [オート]	
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800		[4 : 3]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[4 : 3]	

■16 : 10 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480	[16 : 10] [16 : 10 D イメージシフト]	[16 : 10]	
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800		[16 : 10] [オート]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16 : 10]	

■16：9のスクリーンいっばいに投写するとき

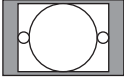
接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480	[16：9] [16：9 D イメージシフト]	[16：9]	
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800		[16：9]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16：9] [オート]	

■4：3のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

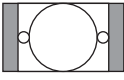
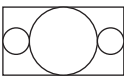
接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480	[4：3]	[4：3] [オート]	
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800		[16：10] [オート]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[10：9] [オート]	

アスペクトとスクリーンアスペクトの関係

■16 : 10のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480	[16 : 10] [16 : 10 D イメージシフト]	[4 : 3] [オート]	
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800		[16 : 10] [オート]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[10 : 9] [オート]	

■16 : 9のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

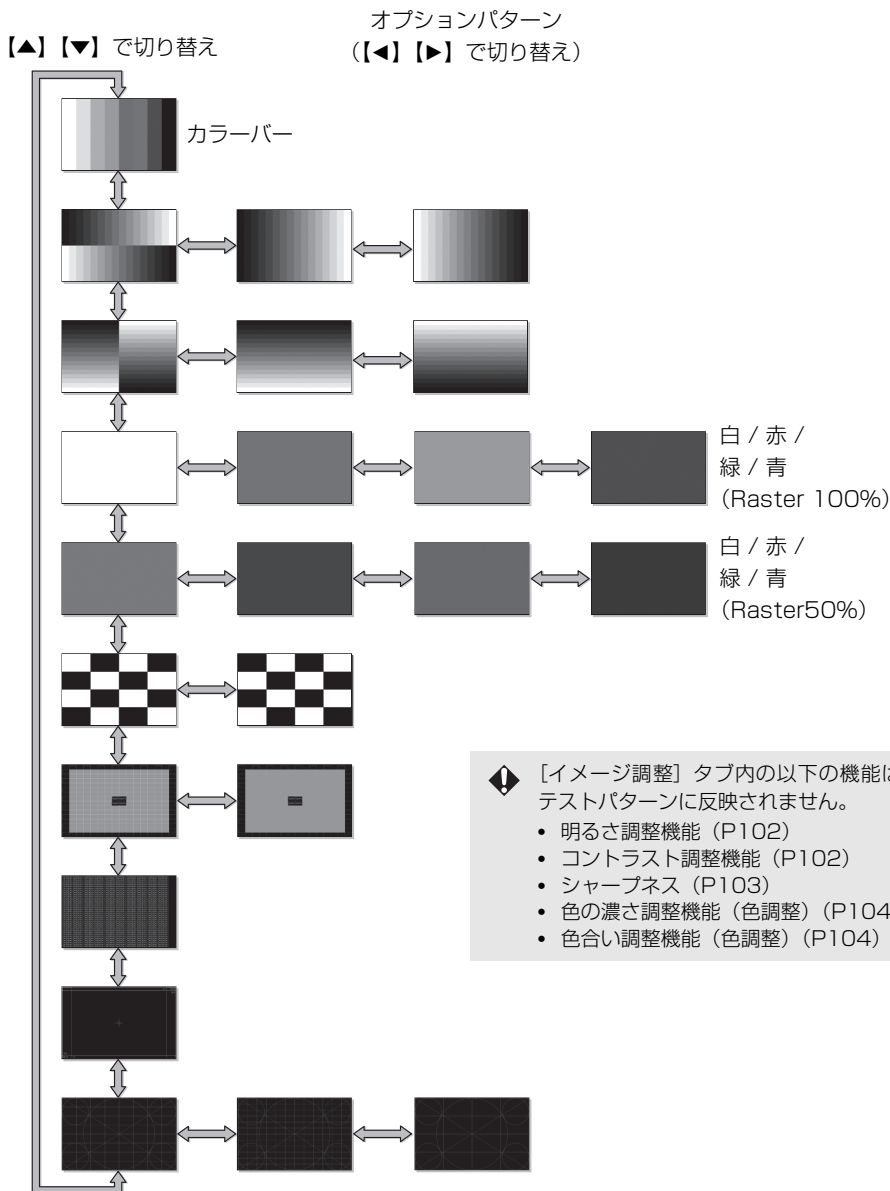
接続機器 のアスペクト比	スクリーンアスペクト の設定 (P55)	アスペクトの設定 (P61)	画面のイメージ
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480	[16 : 9] [16 : 9 D イメージシフト]	[4 : 3] [オート]	
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800		[16 : 10] [オート]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16 : 9] [オート]	

表示できるテストパターンについて

WX6000 / SX6000 をお使いの場合

リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押すと、テストパターンを表示することができます。映像信号がない場合などに使用してください。

テストパターン表示中に【▲】【▼】ボタンを押すと、他のテストパターンに切り替えることができます。また、オプションのパターンがある場合、【◀】【▶】ボタンで切り替えることができます。表示できるテストパターンは、以下のとおりです。



【イメージ調整】タブ内の以下の機能は、テストパターンに反映されません。

- 明るさ調整機能 (P102)
- コントラスト調整機能 (P102)
- シャープネス (P103)
- 色の濃さ調整機能 (色調整) (P104)
- 色合い調整機能 (色調整) (P104)

付録

その他の情報

対応信号

本機には、次の信号形式が用意されています。

コンピューターまたはAV機器が下の表のいずれかに対応していれば、オートPC機能などにより入力信号が自動的に判断され、正しい映像を投写することができます。

アナログRGB

解像度(ドット)	信号形式	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
640 × 480	VGA	31.469	59.940
720 × 480	-	31.469	59.940
720 × 576	-	31.250	50.000
800 × 600	SVGA	37.879	60.317
848 × 480	-	31.020	60.000
1024 × 768	XGA	48.363	60.004
1280 × 720	-	37.500	50.000
		45.000	60.000
		47.776	59.870
1280 × 768	WXGA	47.396	59.995
		49.702	59.810
		49.306	59.910
1280 × 960	MAC	60.000	60.000
1280 × 1024	SXGA	63.981	60.020
1360 × 768	-	47.712	60.015
1366 × 768	-	47.712	59.790
		64.744	59.948
1400 × 1050	SXGA+	65.317	59.978
		55.935	59.887
1440 × 900	WXGA+	55.469	59.901
		75.000	60.000
1600 × 1200	UXGA	64.674	59.883
		65.290	59.954
1680 × 1050	WSXGA+	56.250	50.000
		67.500	60.000
1920 × 1080	-		
1920 × 1200 (WUX5000 / WUX4000)	WUXGA	74.038	59.950

DVI

解像度(ドット)	信号形式	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
640 × 480	D-VGA	31.469	59.940
720 × 480	-	31.469	59.940
720 × 576	-	31.250	50.000
800 × 600	D-SVGA	37.879	60.317
1024 × 768	D-XGA	48.363	60.004
1280 × 720	-	37.500	50.000
		45.000	60.000
		49.702	59.810
1280 × 800	D-WXGA	49.306	59.910
		63.981	60.020
1280 × 1024	D-SXGA	63.981	60.020
1400 × 1050	D-SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
		55.935	59.887
1440 × 900	D-WXGA+	55.469	59.901
		75.000	60.000
1600 × 1200	D-UXGA	64.674	59.883
		65.290	59.954
1680 × 1050	D-WSXGA+	56.250	50.000
		67.500	60.000
1920 × 1080	-		
1920 × 1200 (WUX5000 / WUX4000)	D-WUXGA	74.038	59.950

- ※ 表中の仕様は予告なしに変更する場合があります。
- ※ ドットクロックが 162MHz を越えるコンピューター出力には対応していません。
- ※ VGA ケーブルは全てのピンが結線された(全結線)タイプを使用してください。全結線でないタイプでは、映像が正しく表示されない場合があります。

HDMI

コンピューターと接続時

解像度(ドット)	信号形式	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
640 × 480	VGA	31.469	59.940
800 × 600	SVGA	37.879	60.317
1024 × 768	XGA	48.363	60.004
1280 × 800	WXGA	49.702	59.810
		49.306	59.910
1280 × 1024	SXGA	63.981	60.020
		64.744	59.948
1400 × 1050	SXGA+	65.317	59.978
		55.935	59.887
1440 × 900	WXGA+	55.469	59.901
		75.000	60.000
1600 × 1200	UXGA	64.674	59.883
		65.290	59.954
1680 × 1050	WSXGA+		
1920 × 1200 (WUX5000 / WUX4000)	WUXGA	74.038	59.950

AV 機器と接続時

信号形式	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
480p	31.469	59.940
576p	31.250	50.000
720p	37.500	50.000
	45.000	60.000
1080i	28.125	50.000
	33.750	60.000
1080p	56.250	50.000
	67.500	60.000

コンポーネント

信号形式	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
480i	15.734	59.940
480p	31.469	59.940
576i	15.625	50.000
576p	31.250	50.000
720p	37.500	50.000
720p	45.000	60.000
1080i	28.125	50.000
1080i	33.750	60.000
1080p	56.250	50.000
1080p	67.500	60.000

製品の仕様

■本体

WUX5000 / WUX4000

型名	WUX5000	WUX4000
表示方式	3 原色液晶方式	
光学方式	ダイクロイックミラー、偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式	
表示素子	形式	反射型液晶パネル
	サイズ / アスペクト比	0.71 型 X3 / 16:10
	駆動方式	アクティブマトリックス方式
	画素数 / 総画素数	2,304,000 (1920 × 1200) × 3 枚 / 6,912,000
投写レンズ(1)	ズーム比 / 焦点距離 / F 値	1.5 倍 / f=23.0 ~ 34.5mm / F1.89 ~ F2.65
	ズーム / フォーカス方式	電動 / 電動
	レンズシフト	V : -15% ~ +55%、H : ± 10%
光源	330-NSHA 336W	310-NSHA 300 / 264W (ランプモード 標準 / 静音)
画面サイズ (投写距離) (*1)	40 ~ 600 型 (1.3 ~ 29.0m)	
再現色数	1,677 万色 (フルカラー)	
明るさ (*1)	5,000 ルーメン	4,000 ルーメン (*2)
コントラスト比	1000 : 1 (全白 : 全黒、プレゼンテーションモード)	
周辺照度比 (*1)	88%	
スピーカー	5W・モノラル× 1	
最大入力解像度	1920 × 1200 ドット	
映像信号	アナログ PC 入力	WUXGA / UXGA / WSXGA+ / SXGA+ / WXGA+ / SXGA / WXGA / XGA / SVGA / VGA (走査周波数 : 水平 : 15 ~ 75KHz / 垂直 50 ~ 85Hz)
	デジタル PC 入力	WUXGA / UXGA / WSXGA+ / SXGA+ / WXGA+ / SXGA / WXGA / XGA / SVGA / VGA
	コンポーネント入力	1080p、1080i、720p、576i、576p、480i、480p
	HDMI 入力	1080p、1080i、720p、576p、480p
入力端子	DVI-D IN 端子	デジタル PC (DVI コネクター 24 ピン)
	HDMI IN 端子	HDMI (ディープカラー)
	アナログ PC / COMPONENT IN 端子	アナログ PC、コンポーネント (ミニ D-sub15 ピン)
	CONTROL 端子	RS-232C (D-sub 9 ピン)
	音声入力端子	音声信号 (3.5φ ステレオミニジャック × 2)
音声出力端子	音声信号 (3.5φ ステレオミニジャック)	
LAN 端子	ネットワーク接続 (RJ-45)	
入力信号	デジタル PC	TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)
	アナログ PC	0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75Ω 水平・垂直同期 : TTL レベル、負または正極性 G 信号中のコンポジット同期 : 0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75Ω
	コンポーネントビデオ	コンポーネント : セパレート Y、Cb / Pb Cr / Pr 信号 Y : 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω Cb / Pb : 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω Cr / Pr : 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω
	音声	インピーダンス 47KΩ 以上
騒音	40dB	39 / 36dB (ランプモード 標準 / 静音)
使用温度範囲	5℃ ~ 35℃	
電源	AC100V ~ 240V 50 / 60Hz	
消費電力	450W / 1.7W / 0.35W (投写 / 待機 / 待機 LAN)	410W / 365W / 1.7W / 0.35W (標準 / 静音 / 待機 / 待機 LAN OFF)
本体寸法	幅 380mm × 高さ 150mm × 奥行 430mm (突起部は含まない)	
質量	8.5kg (レンズユニットを除く)	
付属品	リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、コンピューター接続ケーブル、使用説明書 / 設置説明書 (本書)、保証書	

*1 標準ズームレンズ (RS-IL01ST) 使用時。レンズユニットの種類により異なります。

*2 WUX4000 ランプモード標準の場合

※ 液晶パネルの有効画素は 99.99% 以上です。投写中 0.01% 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

※ 長時間・連続使用の際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。

※ 本機は JIS C 61000-3-2 適合品です。

製品の仕様

WX6000 / SX6000

型名	WX6000	SX6000
表示方式	3 原色液晶方式	
光学方式	ダイクロミックミラー、偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式	
表示素子	形式	反射型液晶パネル
	サイズ / アスペクト比	0.70 型 × 3 / 16:10 0.72 型 × 3 / 4:3
	駆動方式	アクティブマトリックス方式
	画素数 / 総画素数	1,296,000 (1440 × 900) × 3 枚 / 3,888,000 1,470,000 (1400 × 1050) × 3 枚 / 4,410,000
投写レンズ(1)	ズーム比 / 焦点距離 / F 値	1.5 倍 / f=23.0 ~ 34.5mm / F1.89 ~ F2.65
	ズーム / フォーカス方式	電動 / 電動
	レンズシフト	V : -15% ~ +55%, H : ± 10% V : -12% ~ +50%, H : ± 10%
光源	330-NSHA 336W	
画面サイズ (投写距離) (*1)	40 ~ 600 型 (1.3 ~ 29.7m)	40 ~ 600 型 (1.3 ~ 28.8m)
再現色数	1,677 万色 (フルカラー)	
明るさ (*1)	5,700 ルーメン	6,000 ルーメン
コントラスト比	1000 : 1 (全白 : 全黒、プレゼンテーションモード)	
周辺照度比 (*1)	88%	
スピーカー	5W・モノラル×1	
最大入力解像度	1440 × 900 ドット	1400 × 1050 ドット
映像信号	アナログ PC 入力	UXGA/WSXGA+ / SXGA+ / WXGA+ / WXGA/SXGA / XGA / SVGA / VGA
	デジタル PC 入力	UXGA / WSXGA+ / SXGA+ / WXGA+ / WXGA / SXGA / XGA / SVGA / VGA
	デジタルビデオ入力	1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p
	コンポーネントビデオ入力	1080p / 1080i / 720p / 576p / 576i / 480p / 480i
入力端子	DVI-I IN 端子	アナログ PC / デジタル PC 入力 (DVI コネクター 24 ピン)
	HDMI IN 端子	デジタル PC / デジタルビデオ入力 (ディープカラー)
	アナログ PC / COMPONENT IN 端子	アナログ PC / コンポーネント (ミニ D-sub15 ピン)
	CONTROL 端子	RS-232C (D-sub 9 ピン)
	REMOTE 端子	ワイヤードリモコン (3.5φ ステレオミニジャック)
	音声入力端子	音声信号 (3.5φ ステレオミニジャック×2)
音声出力端子	音声信号 (3.5φ ステレオミニジャック)	
LAN 端子	ネットワーク接続 (RJ-45)	
入力信号	デジタル PC	TMD5 (Transition Minimized Differential Signaling)
	アナログ PC	0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75Ω 水平・垂直同期 : TTL レベル、負または正極性 G 信号中のコンボジット同期 : 0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75Ω
	コンポーネントビデオ	コンポーネント : セパレート Y Cb / Pb Cr / Pr 信号 Y : 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω Cb / Pb : 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω Cr / Pr : 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω
	音声	インピーダンス 47kΩ 以上
騒音	40 dB	
使用温度範囲	5℃ ~ 35℃	
電源	AC100V ~ 240V 50 / 60Hz	
消費電力 (投写 / 待機 / 待機 LAN OFF)	435W / 1.7W / 0.35W	
本体寸法	幅 380mm × 高さ 150mm × 奥行 430mm (突起部は含まない)	
質量	8.5kg (レンズユニットを除く)	
付属品	リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、コンピューター接続ケーブル、使用説明書 / 設置説明書 (本書)、保証書	

*1 標準ズームレンズ (RS-IL01ST) 使用時。レンズユニットの種類により異なります。

※ 液晶パネルの有効画素は 99.99% 以上です。投写中 0.01% 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

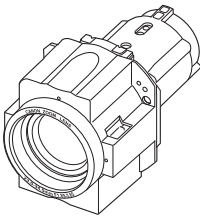
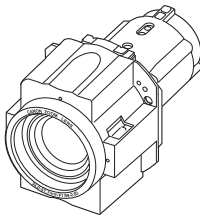
※ 長時間・連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。

※ 本機は JIS C 61000-3-2 適合品です。

■リモコン

型番	RS-RC04	RS-RC05
電源	DC3.0V 単 4 形乾電池 2 本使用	DC3.0V 単 3 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 8m 縦横± 25° (受光部正面)	
本体寸法	幅 43mm × 高さ 23mm × 奥行き 135mm	幅 51mm × 高さ 28mm × 奥行き 176mm
質量	56g	100g

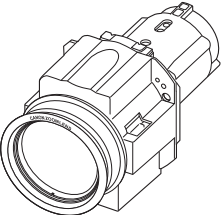
■各レンズユニットの仕様 (別売品)

名称	標準ズームレンズ	長焦点ズームレンズ
型番	RS-IL01ST	RS-IL02LZ
外観		
焦点距離	23.0 ~ 34.5mm	34.0 ~ 57.7mm
Fナンバー	1.89 — 2.65	1.99 — 2.83
投写距離 *1	1.3 ~ 28.8m	1.9 ~ 48.3m
幅	97.4mm	97.4mm
高さ	106.5mm	106.5mm
長さ	173.4mm	173.4mm
質量	550g	755g
ズーム比	1.5 ×	1.7 ×
100 型投写距離 *1	3.2 ~ 4.8m	4.7 ~ 8.0m

* レンズシフト量は 148 ページを参照してください。

*1 WUX5000 / WUX4000 の場合

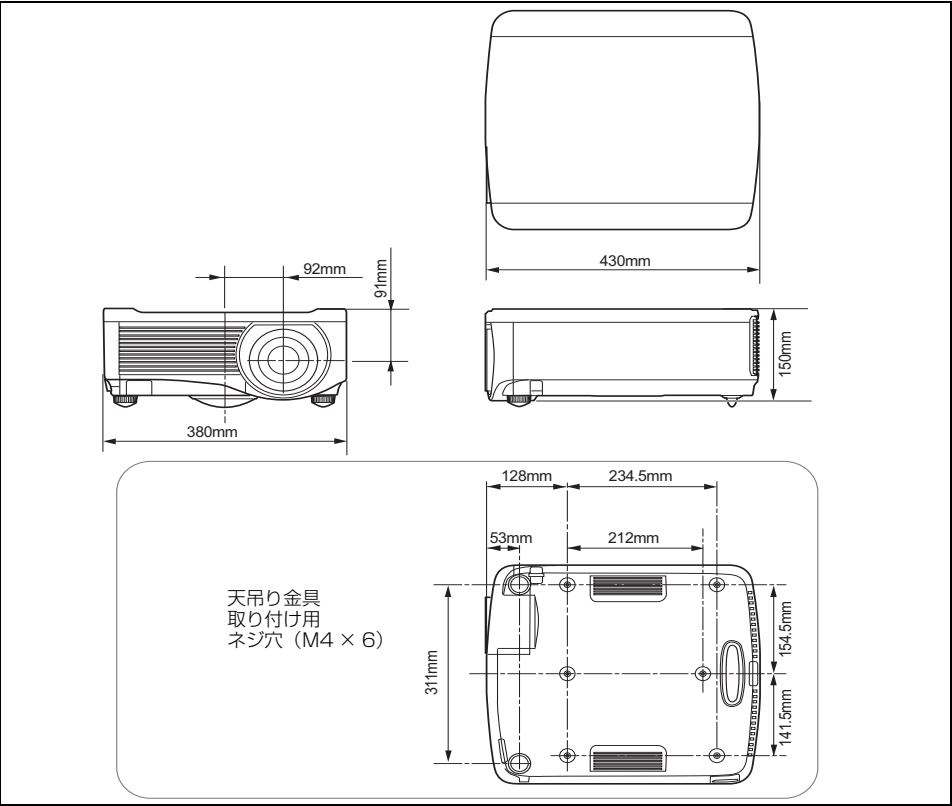
製品の仕様

名称	固定短焦点レンズ	超長焦点ズームレンズ
型番	RS-IL03WF	RS-IL04UL
外観		
焦点距離	12.8mm	53.6 ~ 105.6mm
Fナンバー	2.0	2.34 ~ 2.81
投写距離 * ¹	0.7 ~ 5.2m	4.6 ~ 89.0m
幅	97.4mm	97.4mm
高さ	106.5mm	106.5mm
長さ	175.2mm	184.2mm
質量	910g	940g
ズーム比	—	1.95 ×
100 型投写距離 * ¹	1.7m	7.6 ~ 14.9m

* レンズシフト量は 148 ページを参照してください。

*¹ WUX5000 / WUX4000 の場合

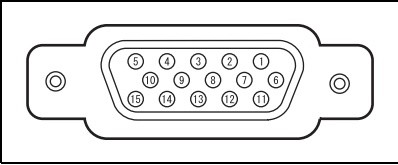
■外觀図



■アナログ PC (WUX5000 / WUX4000)、アナログ PC-1 (WX6000 / SX6000) / COMPONENT IN 端子

コンピューターのアナログ PC 入力、コンポーネント入力端子として動作します。接続には D-sub 用コンピューター接続ケーブルを使用してください。
端子仕様は、アナログ PC 入力、コンポーネント入力とも同一です。

ミニ D-sub 15 ピン

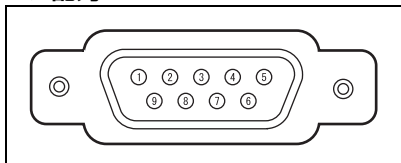


ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	R	9	+ 5V パワー
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	モニター ID0
4	モニター ID2	12	DDC データ
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	DDC クロック
8	接地 (B)		

付録
その他の情報

■サービス用端子 (CONTROL)

ピン配列



ピン番号	信号
1	OPEN
2	RxD
3	TxD
4	OPEN
5	GND
6	OPEN
7	OPEN
8	OPEN
9	OPEN

通信フォーマット

通信方式： RS-232-C 調歩同期 半2重通信
 通信速度： 19200bps
 キャラクタ長： 8ビット
 ストップビット 2ビット
 パリティ： なし
 フロー制御： なし

制御コマンド

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
電源	電源 ON	POWER ON<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 20h 4Fh 4Eh 0Dh
	電源 OFF	POWER OFF<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 20h 4Fh 46h 46h 0Dh
電源状態取得		GET POWER<CR>	47h 45h 54h 20h 50h 4Fh 57h 45h 52h 0Dh
入力ソース (WUX5000 / WUX4000)	DVI-D	INPUT=D-RGB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 0Dh
	HDMI	INPUT=HDMI<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 0Dh
	アナログ PC	INPUT=A-RGB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 0Dh
	コンポーネント	INPUT=COMP<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Dh 50h 0Dh
入力ソース (WX6000 / SX6000)	HDMI	INPUT=HDMI<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 0Dh
	デジタル PC	INPUT=D-RGB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 0Dh
	アナログ PC-1	INPUT=A-RGB1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 31h 0Dh
	アナログ PC-2	INPUT=A-RGB2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 32h 0Dh
	コンポーネント	INPUT=COMP<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Dh 50h 0Dh
入力ソース取得		GET INPUT<CR>	47h 45h 54h 20h 49h 4Eh 50h 55h 54h 0Dh

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
イメージモード	スタンダード	IMAGE=STANDARD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 54h 41h 4Eh 44h 41h 52h 44h 0Dh
	プレゼンテーション	IMAGE=PRESENTATION<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 52h 45h 53h 45h 4Eh 54h 41h 54h 49h 4Fh 4Eh 0Dh
	ビビッド・フォト	IMAGE=VIVID_PHOTO<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 56h 49h 56h 49h 44h 5Fh 50h 48h 4Fh 54h 4Fh 0Dh
	フォト/sRGB	IMAGE=PHOTO_SRGB<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 48h 4Fh 54h 4Fh 5Fh 53h 52h 47h 42h 0Dh
	ダイナミック	IMAGE=DYNAMIC<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 59h 4Eh 41h 4Dh 49h 43h 0Dh
	ビデオ	IMAGE=VIDEO<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
	シネマ	IMAGE=CINEMA<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 43h 49h 4Eh 45h 4Dh 41h 0Dh
イメージモード	ユーザー 1	IMAGE=USER_1<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 31h 0Dh
	ユーザー 2	IMAGE=USER_2<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 32h 0Dh
	ユーザー 3	IMAGE=USER_3<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 33h 0Dh
	ユーザー 4	IMAGE=USER_4<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 34h 0Dh
	ユーザー 5	IMAGE=USER_5<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 35h 0Dh
イメージモード取得		GET IMAGE<CR>	47h 45h 54h 20h 49h 4Dh 41h 47h 45h 0Dh
明るさ	明るさ値設定	BRI=<数値><CR>	42h 52h 49h 3Dh <数字コード> 0Dh
明るさ取得		GET BRI<CR>	47h 45h 54h 20h 42h 52h 49h 0Dh
シャープネス	シャープネス値設定	SHARP=<数値><CR>	53h 48h 41h 52h 50h 3Dh <数字コード> 0Dh
シャープネス取得		GET SHARP<CR>	47h 45h 54h 20h 53h 48h 41h 52h 50h 0Dh
コントラスト	コントラスト値設定	CONT=<数値><CR>	43h 4Fh 4Eh 54h 3Dh <数字コード> 0Dh
コントラスト取得		GET CONT<CR>	47h 45h 54h 20h 43h 4Fh 4Eh 54h 0Dh
アスペクト (WUX5000/WUX4000)	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	4:3	ASPECT=4:3<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 34h 3Ah 33h 0Dh
	16:9	ASPECT=16:9<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 39h 0Dh
	ズーム	ASPECT=ZOOM<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 5Ah 4Fh 4Fh 4Dh 0Dh
	リアル	ASPECT=TRUE<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 54h 52h 55h 45h 0Dh
	フル	ASPECT=FULL<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 46h 55h 4Ch 4Ch 0Dh
アスペクト (WX6000/SX6000)	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	4:3	ASPECT=4:3<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 34h 3Ah 33h 0Dh
	16:9	ASPECT=16:9<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 39h 0Dh
	16:10	ASPECT=16:10<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 31h 30h 0Dh
	ズーム	ASPECT=ZOOM<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 5Ah 4Fh 4Fh 4Dh 0Dh
	リアル	ASPECT=TRUE<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 54h 52h 55h 45h 0Dh
アスペクト値取得		GET ASPECT<CR>	47h 45h 54h 20h 41h 53h 50h 45h 43h 54h 0Dh
ランプモード (WUX4000)	通常	LAMP=NORMAL<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 4Eh 4Fh 52h 4Dh 41h 4Ch 0Dh
	静音	LAMP=SILENT<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 53h 49h 4Ch 45h 4Eh 54h 0Dh
ランプモード値取得 (WUX4000)		GET LAMP<CR>	47h 45h 54h 20h 4Ch 41h 4Dh 50h 0Dh
ブラंक	実行	BLANK=ON<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	解除	BLANK=OFF<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
ブラंक取得		GET BLANK<CR>	47h 45h 54h 20h 42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 0Dh

英数字

6 軸色調整	107
ASPECT	62
AUTO PC	54
BLANK	74
BLANK 時画面	96
D. ZOOM	76
D.SHIFT / KEYSTONE (WUX5000 / WUX4000)	59, 60, 67
DHCP	162
DVI	42, 51, 152
DVI-D IN (WUX5000 / WUX4000) ...	42
DVI-D IN 入力端子 (WUX5000 / WUX4000)	32
DVI-I IN (WX6000 / SX6000)	40, 42
DVI-I IN 入力端子 (WX6000 / SX6000)	33
FOCUS	64
FREEZE	74
HDMI	43, 44, 51, 152
HDMI オーバースキャン	91
HDMI カラーフォーマット	91
HDMI 入力端子	32, 33, 43, 44
HDMI 入力レベル	90
IMAGE	70
INPUT	52
KEYSTONE (WX6000 / SX6000)	67
LAMP (WUX4000)	108
LAN 接続端子	32, 33
LED インジケーター	190
MENU	80, 81
MUTE	75
OK	27, 28
PJLink	161
POWER	48, 71, 110
P-TIMER (WUX5000 / WUX4000) ...	77
TCP / IP 設定	163
VOL	75
WARNING インジケーター	30, 190
ZOOM	63

あ

明るさ	102
アスペクト	55, 61, 85, 195
アナログ PC	39, 41, 51, 152
アナログ PC / コンポーネント入力端子	45
アナログ PC / コンポーネント入力端子 (WUX5000 / WUX4000)	32, 39, 41, 45, 51, 152
アナログ PC-1 / コンポーネント端子 (WX6000 / SX6000)	33, 40, 41, 46, 51, 152
アナログ PC-1 (WX6000 / SX6000)	39, 41
アナログ PC-2 / DVI-I IN 端子 (WX6000 / SX6000)	33, 40, 42, 51, 152
アナログ PC-2 (WX6000 / SX6000) ...	40
アンビエントライト	104

い

イメージ調整	80, 81
イメージモード (画質)	69
イメージモード設定	100
インフォメーション	80, 81, 129

え

エアフィルター	181
映像設定 (WX6000 / SX6000)	81
映像の拡大	76

お

オート PC	54
オート (アスペクト)	61
音声出力端子	32, 33, 43, 47
音声入力端子	32, 33, 39, 42, 45, 126
音量調節	75

か

ガイド	114
外部モニター切り換え (ノート型コンピューターの準備)	50
画質を調整する	100

環境光	104
ガンマ補正	103

き

キーストーン	67
キーロック	112
記憶色補正	106
起動時画面	97

け

言語	114
----------	-----

こ

工場出荷設定	127
コントラスト	102
コンピューターとの接続	39
コンポーネント	45, 51, 152

し

システム設定	80, 81
シャープネス	103
省電力（パワーマネージメント）	49
信号形式	206

す

垂直位置	89
垂直表示ドット数	90
水平位置	88
水平表示ドット数	89
ズーム（アスペクト）	61
スクリーンアスペクト	55, 98, 195
スクリーン色補正	94

せ

接続端子	32
AV 機器との接続	44
コンピューターとの接続	39
設置設定（WX6000 / SX6000）	81
設置ロック（WX6000 / SX6000）	127

そ

総ドット数	87
-------------	----

た

台形ひずみ調整	67
ダイナミックガンマ	106
ダイレクトパワーオン	110

ち

チャンネル設定	113
---------------	-----

て

デジタル PC	42, 51, 152
デジタルイメージシフト	59
テストパターン （WX6000 / SX6000）	126, 205
電子音	111
天吊り	95

と

動作を設定する	109
トラッキング	88

に

入力信号選択	51, 86, 87
--------------	------------

ね

ネットワーク機能	160
ネットワーク設定初期化	163
ネットワーク設定変更	159
ネットワークパスワード設定	160
ネットワークパスワード登録	161
ネットワーク設定	80, 81

の

ノイズリダクション	105
-----------------	-----

は

パスワード設定	116
パスワード登録	117
パワーマネージメント	49
パワーマネージメントモード（設定）	109
反転表示（天吊り / リア投写）	95

ひ

表示解像度（コンピューターの準備）	53
表示言語の選択	49, 114
表示状態を設定する	85
表示設定（WUX5000 / WUX4000）	80
ピント合わせ	64

ふ

プログレッシブ	92
---------------	----

ほ

本体操作部	30
-------------	----

み

ミュート	75
------------	----

め

メニュー	80
メニュー表示位置	93
メニュー表示時間	120

ら

ランプカウンター	123
ランプ交換	123, 183, 184
ランプモード（WUX4000）	108

り

リア投写	95
リアル（アスペクト）	61
リセット	108, 127
リモコン	22, 26, 28, 113

ろ

ロゴを表示	97
-------------	----

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることを確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

なお、保証内容については保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

(ランプはキヤノンホームページからもご購入いただけます。)

■修理を依頼される前に

P190～P194の「困ったときには」にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望

により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名およびシリアル番号
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造切切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

別売品

- | | |
|---|--|
| • 交換ランプ 品番：
RS-LP06 (WUX4000)
RS-LP07 (WUX5000 / WX6000 / SX6000) | • 交換エアフィルター 品番：RS-FL01 |
| • 天吊り金具 品番：RS-CL11 | • 標準ズームレンズ 品番：RS-IL01ST |
| • 天吊りパイプ (400-600mm) 品番：RS-CL08* | • 長焦点ズームレンズ 品番：RS-IL02LZ |
| • 天吊りパイプ (600-1000mm) 品番：RS-CL09* | • 固定短焦点レンズ 品番：RS-IL03WF |
| • 黒天板 品番：RS-TC01 | • 超長焦点ズームレンズ 品番：RS-IL04UL |
| | • リモコン 品番：
RS-RC04 (WUX5000 / WUX4000)
RS-RC05 (WX6000 / SX6000) |

* 高い天井から本機を吊り下げる場合に使用します。詳しくは天吊り金具RS-CL11の組立・設置説明書を参照してください。

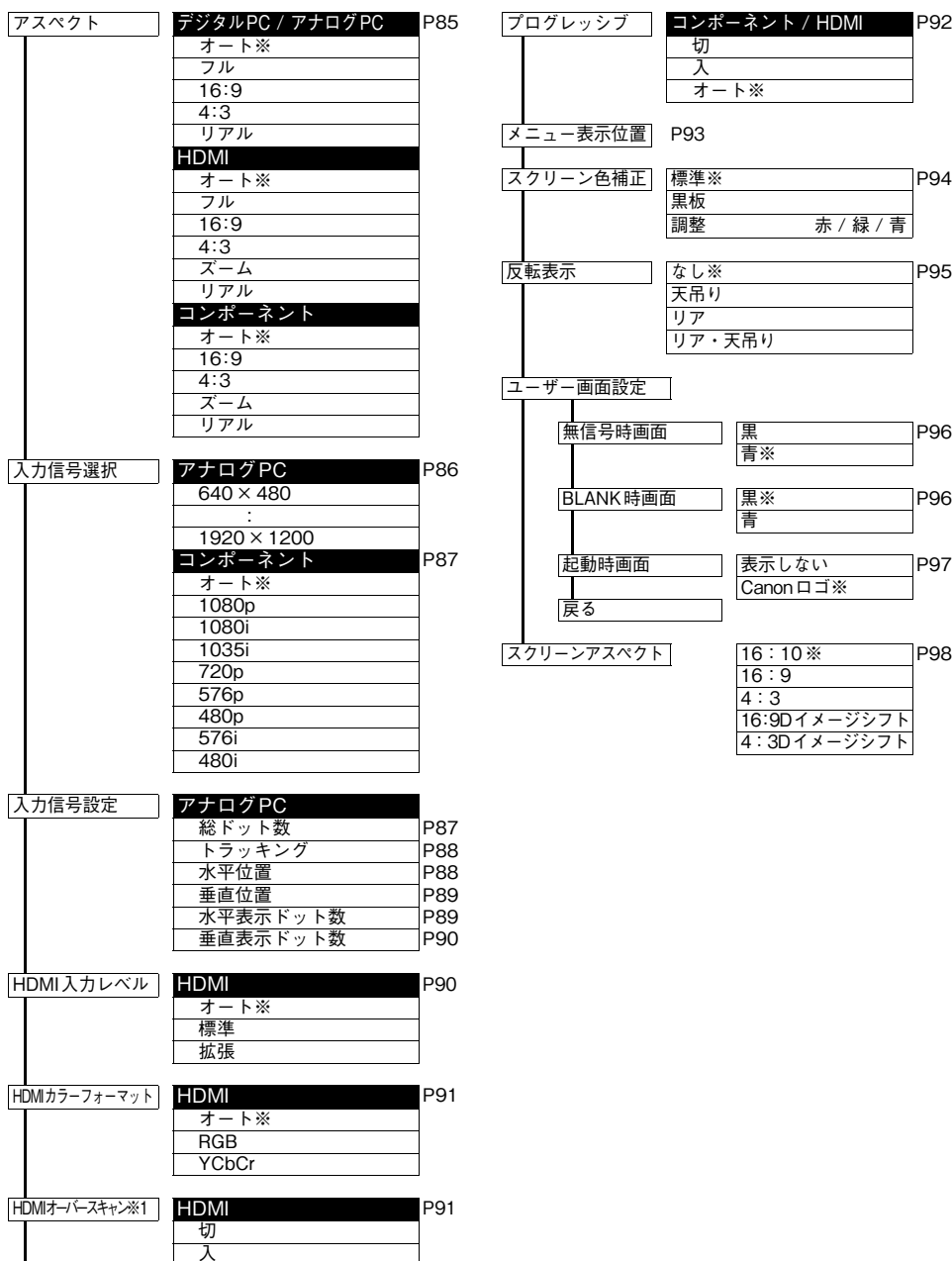
●レンズユニットの交換について

本機はオプションのレンズユニットを交換して使用することができます。レンズユニットの取り付け・交換は、安全のため専門の技術者または販売店にご相談ください。お客様自身での取り付け・交換はしないでください。

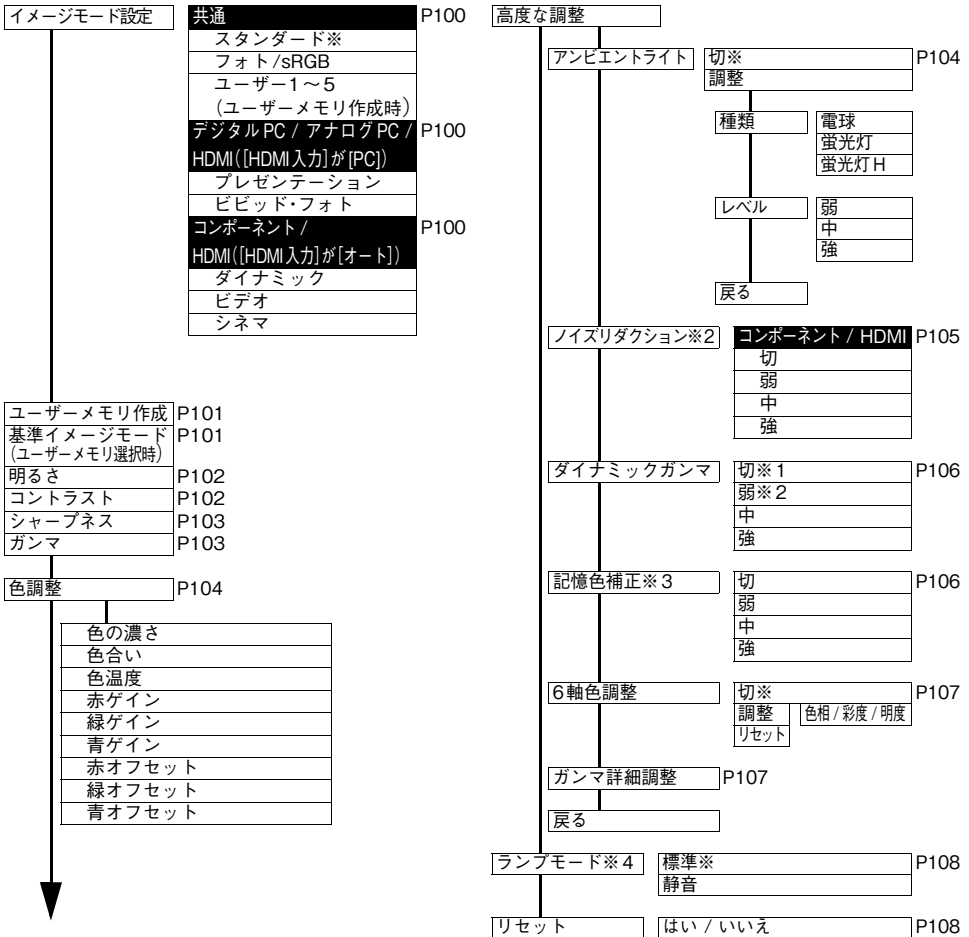
●専門の技術者または販売店の方へ

レンズユニットの取り付け・交換の前にレンズユニットの品番を確認の上、正しいレンズユニットをご使用ください。

表示設定メニュー



イメージ調整メニュー



※1、※2、※3は以下の条件で工場出荷時の設定が決まっています。

- ※1・アナログPC/ デジタルPC/ HDMI
 ([HDMI 入力] が [PC]) の場合は「切」
 ・コンポジット/ HDMI([HDMI入力] が [オート])
 の場合は「入」
- ※2・HDMI([HDMI 入力] が [オート]) の場合は「切」
 ・コンポーネントの場合は「弱」
- ※3・HDMI([HDMI 入力] が [PC])、デジタルPC、
 アナログPC の場合
 イメージモードが [ビビッド・フォト] 以外のと
 きは「切」、イメージモードが [ビビッド・フォト]
 のときは「中」
 ・HDMI([HDMI 入力] が [オート]) のとき、コン
 ポーネントの場合は、イメージモードによらず「弱」
- ※4・WUX4000

システム設定メニュー

パワーマネジメントモード	切※ 待機 終了	P109
ダイレクトパワーオン	切※ 入	P110
電子音	切 入※	P111
キーロック	切※ 本体 リモコン	P112
リモコン	Ch1 Ch2 Ch3 Ch4 オール※	P113
言語	英語 ドイツ語 フランス語 イタリア語 スペイン語 ポルトガル語 スウェーデン語 ロシア語 オランダ語 フィンランド語 ノルウェー語 トルコ語 ポーランド語 ハンガリー語 チェコ語 デンマーク語 アラビア語 中国語（簡体） 中国語（繁体） 韓国語 日本語	P114
ガイド	切 入※	P114
入力状態表示	切 入※	P115
HDMI入力	オート※ PC	P115
その他の設定		
パスワード設定	切※ 入	P116
パスワード登録	パスワード入力	P117
レンズ操作ロック	切※ 入	P118
レンズシフトリセット	レンズシフト位置リセット	P119
メニュー表示時間	標準※ 延長	P120
高温注意表示	切※ 入	P121
デブリッカー	切※ 調整	P122
ランプカウンター	戻る リセット(はい/いいえ)	P123
工場出荷設定	はい / いいえ	P127
戻る		

ネットワーク設定メニュー

ネットワーク設定変更	ロック解除 ロック※	P159
ネットワーク機能	切※ 入	P160
ネットワークパスワード設定	切 入※	P160
ネットワークパスワード登録	パスワード入力	P161
PJLink	切 入※	P161
DHCP	切※ 入	P162
TCP/IP設定	IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス 確定	P163
ネットワーク設定初期化	はい / いいえ	P163

インフォメーション

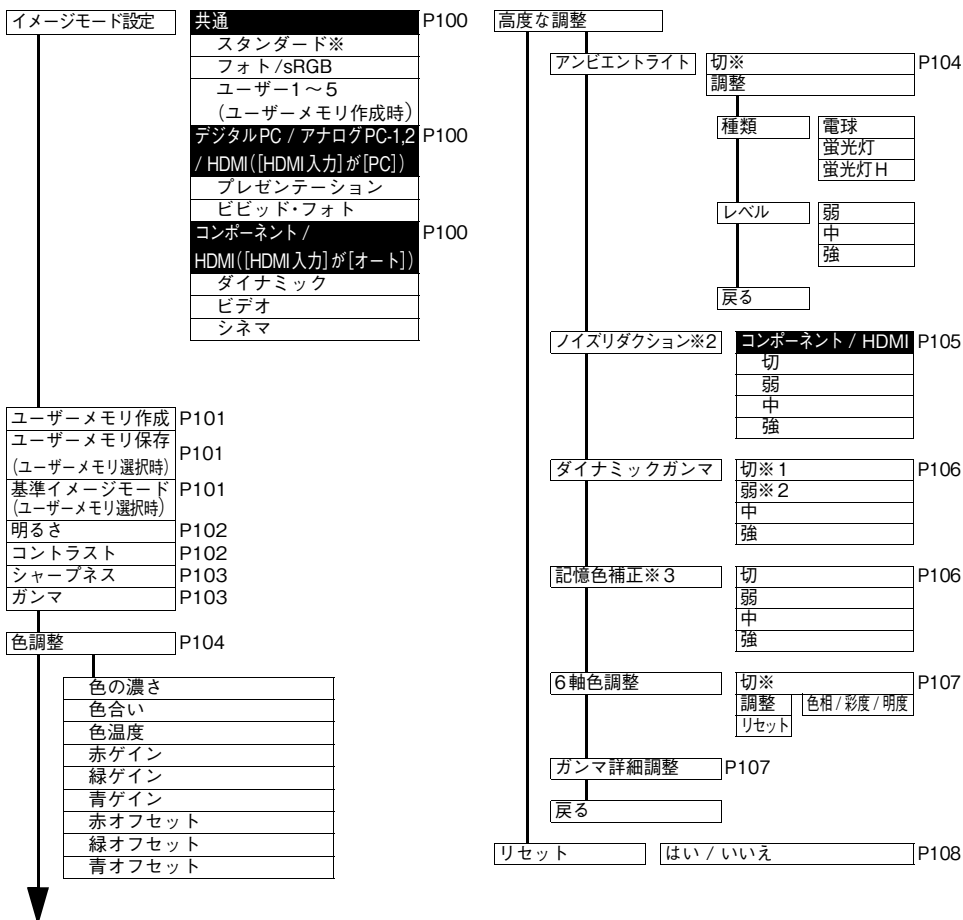
モデル名	P129
入力信号	
ファームバージョン	
シリアルNo.	
IPアドレス	
ゲートウェイアドレス	
メール送信元アドレス	
メール送信先アドレス	
プロジェクター名	
ロケーション	
システム情報ID	

※は工場出荷時（リセット後）の設定です。

映像設定メニュー

アスペクト	デジタル PC / アナログ PC-1,2/ P85 HDMI ([HDMI 入力] が [PC]) オート※ 16:10 16:9 4:3 リアル HDMI ([HDMI 入力] が [オート]) / コンポーネント オート※ 16:10 16:9 4:3 ズーム リアル
オート PC	P86
入力信号選択	アナログ PC-1,2 P86 640 × 480 : 1920 × 1200
入力信号設定	アナログ PC-1,2 総ドット数 P87 トラッキング P88 水平位置 P88 垂直位置 P89 水平表示ドット数 P89 垂直表示ドット数 P90
HDMI 入力レベル	HDMI P90 オート※ 標準 拡張
HDMI カラーフォーマット	HDMI P91 オート※ RGB YCbCr
HDMI オーバースキャン ※1	HDMI P91 切 入
プログレッシブ	コンポーネント / HDMI P92 切 入 オート※

イメージ調整メニュー



設置設定メニュー

設置ロック	切※	P127
	入	

テストパターン	切※	P126
	入	

スクリーンアスペクト	16:10 ※ 5	P98
	16:9	
	4:3 ※ 4	
	16:10 D イメージシフト (SX6000)	
	16:9 D イメージシフト	
	4:3 D イメージシフト (WX6000)	

キーストーン調整	キーストーン調整	P99
----------	----------	-----

デジタルイメージシフト	D イメージシフト調整	P99
-------------	-------------	-----

反転表示	なし※	P95
	天吊り	
	リア	
	リア・天吊り	

レンズシフトリセット	レンズシフト位置リセット	P119
------------	--------------	------

音声入力端子選択	HDMI	切	P126
		オーディオ イン1	
		オーディオ イン2	
		HDMI ※	
	デジタルPC	切	P126
		オーディオ イン1	
		オーディオ イン2※	
	アナログPC-1	切	P126
		オーディオ イン1 ※	
		オーディオ イン2	
	アナログPC-2	切※	P126
		オーディオ イン1	
		オーディオ イン2 ※	
	コンポーネント	切	P126
		オーディオ イン1 ※	
		オーディオ イン2	

スクリーン色補正	標準※	P94
	黒板	
	調整	

オンスクリーン			
メニュー表示位置	P93		
ガイド	切		P114
	入※		
入力状態表示	切		P115
	入※		
高温注意表示	切※		P121
	入		
メニュー表示時間	標準※		P120
	延長		

ランプ交換警告表示	切	P123
	入※	
フィルター清掃警告表示	切	P125
	入※	

※ 1 ～ ※ 5 は以下の条件で工場出荷時の設定が決まっています。

- ※ 1 ・アナログPC-1,2/ デジタルPC/ HDMI ([HDMI 入力] が [PC]) の場合は「切」
・コンポジット/ HDMI ([HDMI 入力] が [オート]) の場合は「入」
- ※ 2 ・HDMI ([HDMI 入力] が [オート]) の場合は「切」
・コンポーネントの場合は「弱」
- ※ 3 ・HDMI ([HDMI 入力] が [PC])、デジタルPC、アナログPC-1,2 の場合
イメージモードが [ビビッド・フォト] 以外の場合は「切」、イメージモードが [ビビッド・フォト] のときは「中」
・HDMI ([HDMI 入力] が [オート]) のとき、コンポーネントの場合は、イメージモードによらず「弱」
- ※ 4 ・SX6000
- ※ 5 ・WX6000

システム設定メニュー

パワーマネジメントモード	切※ 待機 終了	P109
ダイレクトパワーオン	切※ 入	P110
ユーザー画面設定		
無信号時画面	黒 青※	P96
BLANK時画面	黒※ 青	P96
起動時画面	表示しない Canon ロゴ※	P97
電子音	切 入※	P111
キーリピート	切 入※	P111
キーロック	切※ 本体 リモコン (ワイヤレス)	P112
リモコン	Ch1 Ch2 Ch3 Ch4 オール※	P113
HDMI入力	オート※ PC	P115
言語	英語 トルコ語 ドイツ語 ポーランド語 フランス語 ハンガリー語 イタリア語 チェコ語 スペイン語 デンマーク語 ポルトガル語 アラビア語 スウェーデン語 中国語 (簡体) ロシア語 中国語 (繁体) オランダ語 韓国語 フィンランド語 日本語 ノルウェー語	P114
その他の設定		
パスワード設定	切※ 入	P116
パスワード登録	パスワード入力	P117
ガンマリストア	切 調整	P122
ランプカウンター	戻る リセット (はい/いいえ)	P123
フィルターカウンター	戻る リセット (はい/いいえ)	P125
工場出荷設定	はい / いいえ	P127
戻る		

ネットワーク設定メニュー

ネットワーク設定変更	ロック解除 ロック※	P159
ネットワーク機能	切※ 入	P160
ネットワークパスワード設定	切 入※	P160
ネットワークパスワード登録	パスワード入力	P161
PJLink	切 入※	P161
DHCP	切※ 入	P162
TCP/IP設定	IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス 確定	P163
ネットワーク設定初期化	はい / いいえ	P163

インフォメーション

モデル名	P129
入力信号	
ファームバージョン	
シリアル No.	
IP アドレス	
ゲートウェイアドレス	
メール送信元アドレス	
メール送信先アドレス	
プロジェクト名	
ロケーション	
システム情報ID	

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ

品 番	
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター(全国共通番号)

050-555-90071

[受付時間] (平日)9:00～12:00 / 13:00～17:00

(土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



Y T 1 5 3 6 3 0 0 6

YT1-5363-006

© CANON INC. 2010

1112N0.5